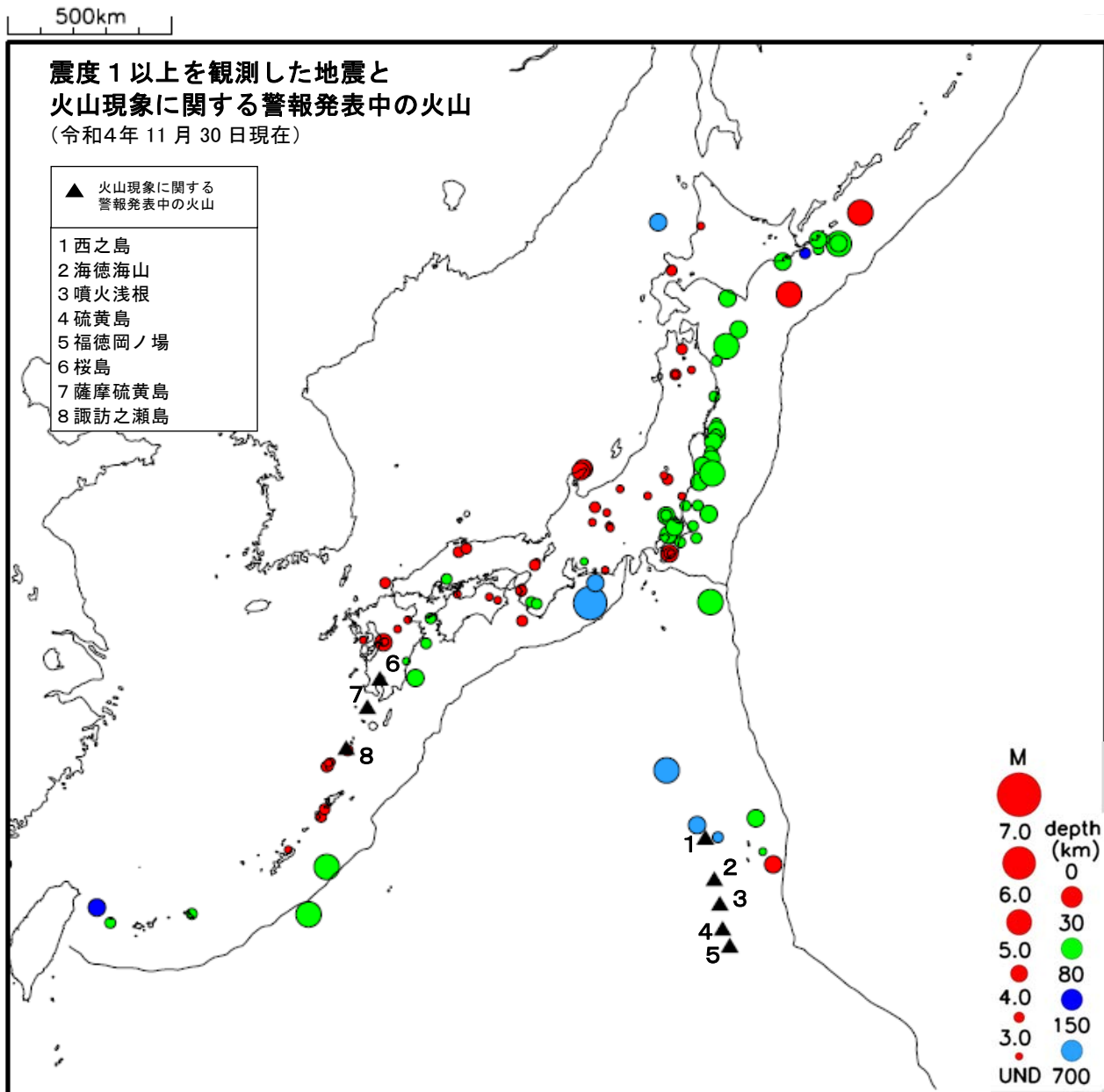


令和4年 11 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

November 2022



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和4年11月30日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注** 令和4年11月30日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成には GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N= xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx, yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイドの深さを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	6
東北地方の地震活動	8
関東・中部地方の地震活動	11
近畿・中国・四国地方の地震活動	18
九州地方の地震活動	19
沖縄地方の地震活動	20
その他の地域の地震活動	21
● 南海トラフ周辺の地殻活動	22
● 日本の主な火山活動	25
北海道地方の火山活動	35
東北地方の火山活動	37
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	39
近畿・中国・四国地方の火山活動	43
九州地方の火山活動	44
沖縄地方の火山活動	48
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	49
● 世界の主な地震	50
● 世界の主な火山活動	54
● 特集 2022 年 11 月 21 日 インドネシア、ジャワの地震	55
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	57
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	82
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	83
4. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	84
5. 緊急地震速報の提供状況	85

● 日本及びその周辺での主な地震活動

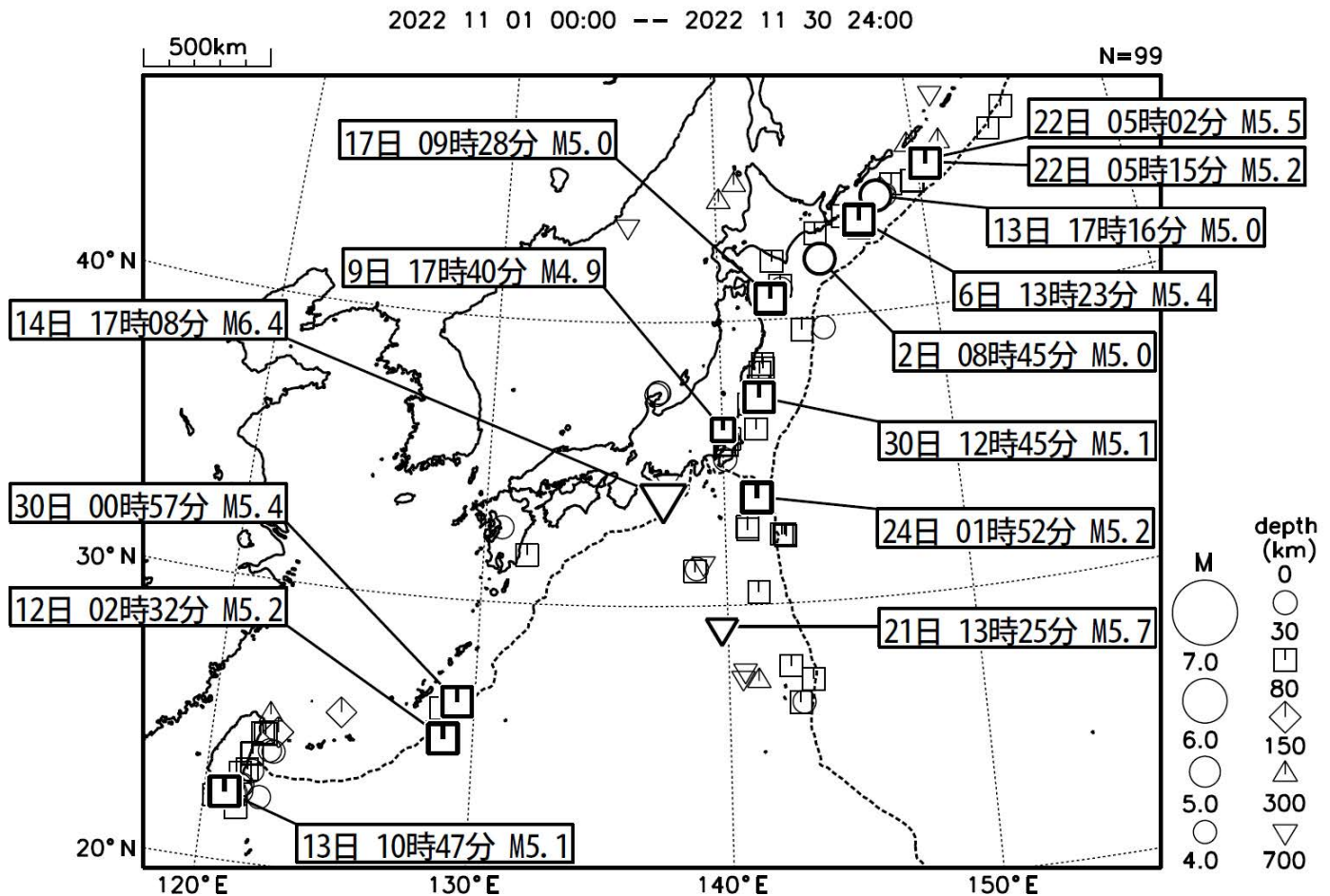


図1 令和4年11月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。）

11月9日17時40分に茨城県南部の深さ51kmでM4.9の地震が発生し、茨城県城里町で震度5強を観測したほか、宮城県、福島県、関東甲信地方、新潟県及び静岡県で震度4～1を観測した。

令和4年（2022年）11月に日本国内で震度4以上を観測した地震は3回（10月は2回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は99回（10月は86回）であった（図1）。

11月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。11月中に震度5弱以上を観測した地震は1回で、津波を観測した地震はなかった（10月は震度5弱以上を観測した地震は2回、津波を観測した地震はなかった）。

表 1 令和 4 年 11 月に日本及びその周辺で発生した主な地震 (注 1) (注 2) (注 3)

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注 4)	M H S T (注 5)	最大震度・被害状況等 (注 6)	掲載 ページ
1	11 3 19 4	千葉県北西部	4.9	4.9	・ ・ ・ ・	3 : 茨城県 坂東市岩井 埼玉県 久喜市下早見 など 1 都 5 県 101 地点	13
2	11 6 13 23	北海道東方沖	5.4	5.3	・ ・ ・ ・	3 : 北海道 根室市落石東 *	7
3	11 9 17 40	茨城県南部	4.9	4.8	・ H S ・	5 強 : 茨城県 城里町小勝 * 被害 : 軽傷 1 人 (11 月 16 日現在、総務省消防庁による)	4、14
4	11 14 17 8	三重県南東沖	6.4	6.1	M ・ S ・	4 : 福島県 双葉町長塚 * 浪江町幾世橋 など 2 県 3 地点	5、15
5	11 14 22 27	石川県能登地方	4.2	—	・ ・ S ・	4 : 石川県 珠洲市正院町 * 緊急地震速報 (警報) を発表 2020 年 12 月から続く石川県能登地方の地震活動 11 月中に震度 1 以上を観測する地震が 25 回 (震度 4 : 1 回、震度 3 : 3 回、震度 2 : 3 回、震度 1 : 18 回) (注 7)	5、12
6	11 17 9 28	青森県東方沖	5.0	4.9	・ ・ ・ ・	3 : 青森県 八戸市湊町 八戸市内丸 * など 2 県 13 地点	9
7	11 30 12 45	福島県沖	5.1	—	・ ・ ・ ・	3 : 福島県 いわき市三和町 大熊町大川原 *	10

(注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

(注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

(注 3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。

(注 4) M_w欄の「—」は M_wが求められていないことを示す。

(注 5) M H S T の各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度 4 以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

(注 6) 最大震度の観測点名にある * 印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

(注 7) 富山湾で発生した地震を 7 回、能登半島沖で発生した地震 3 回を含む。

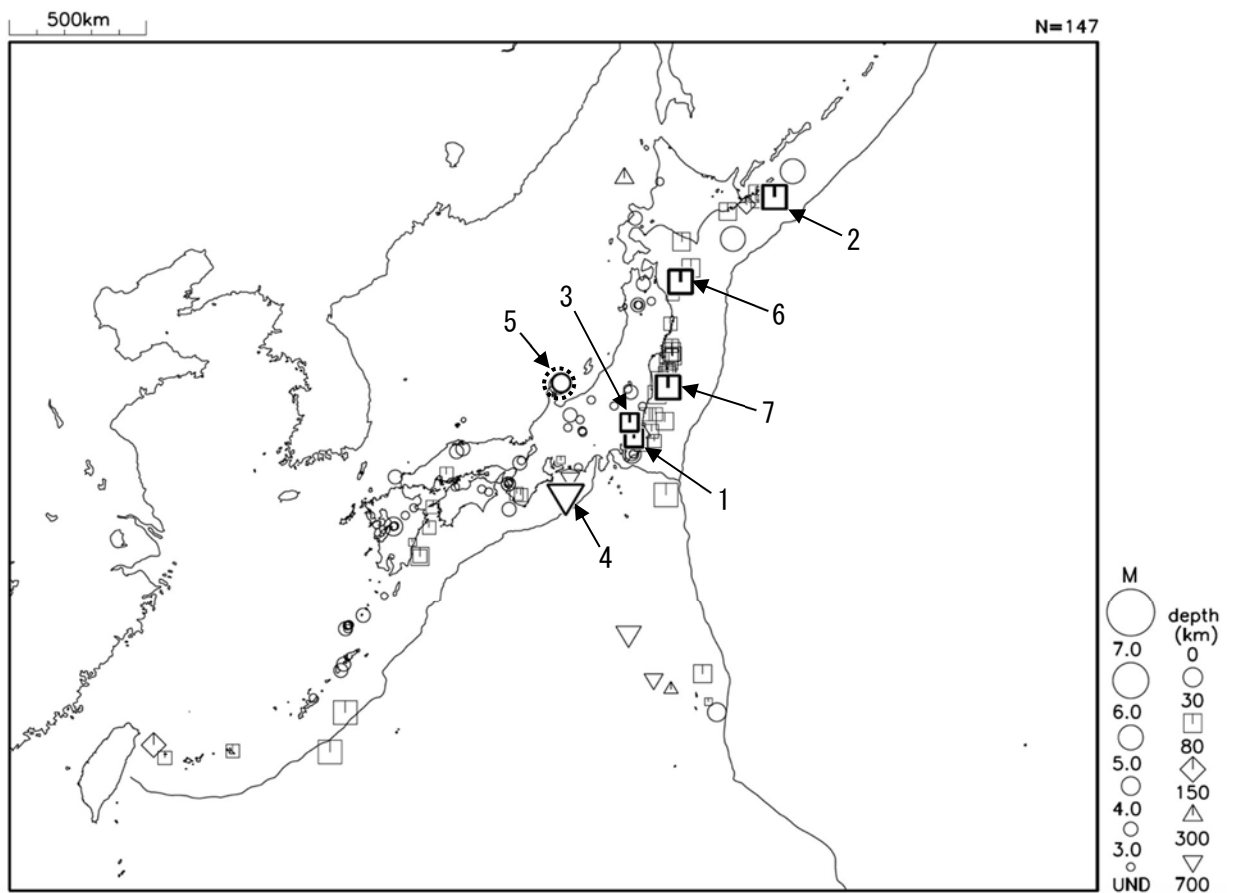


図2 令和4年11月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

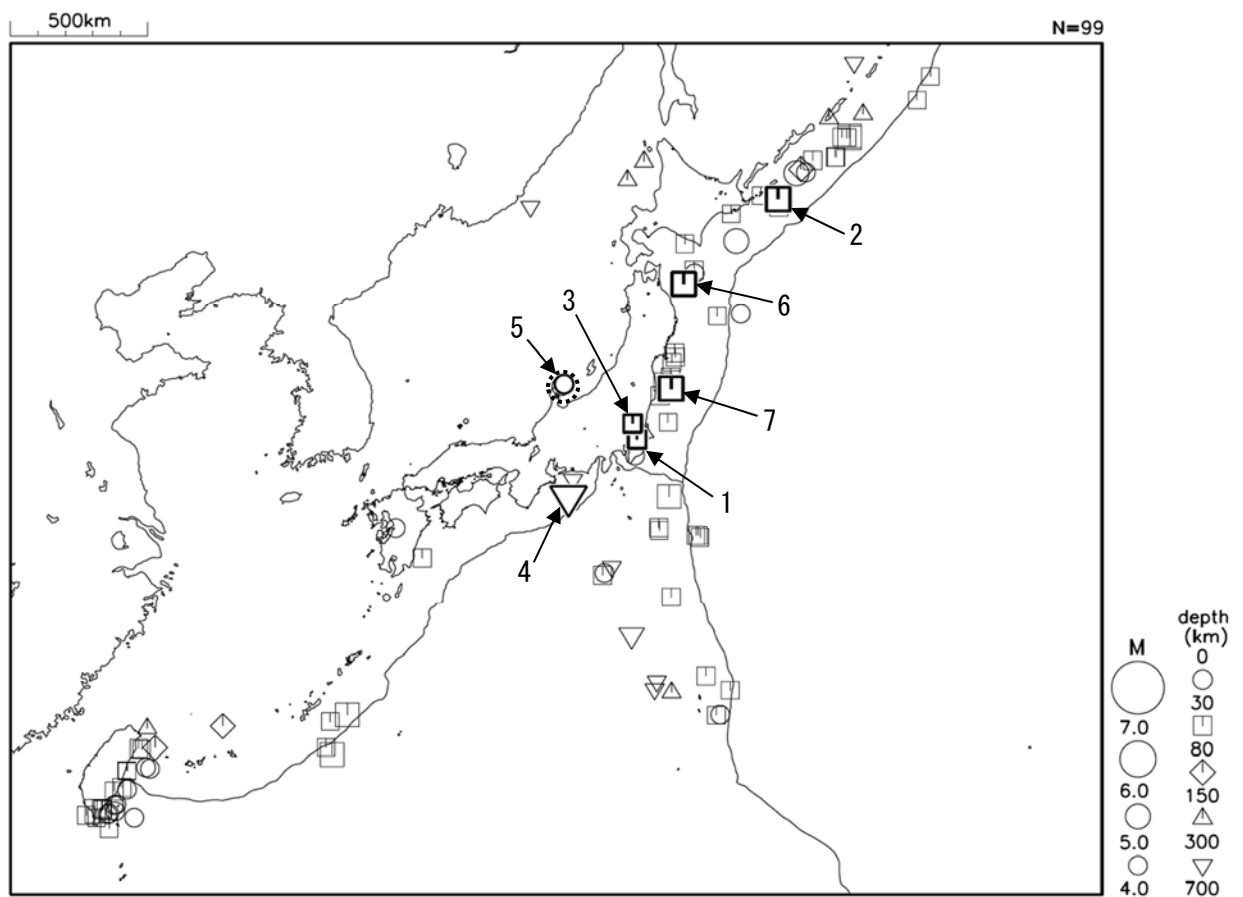
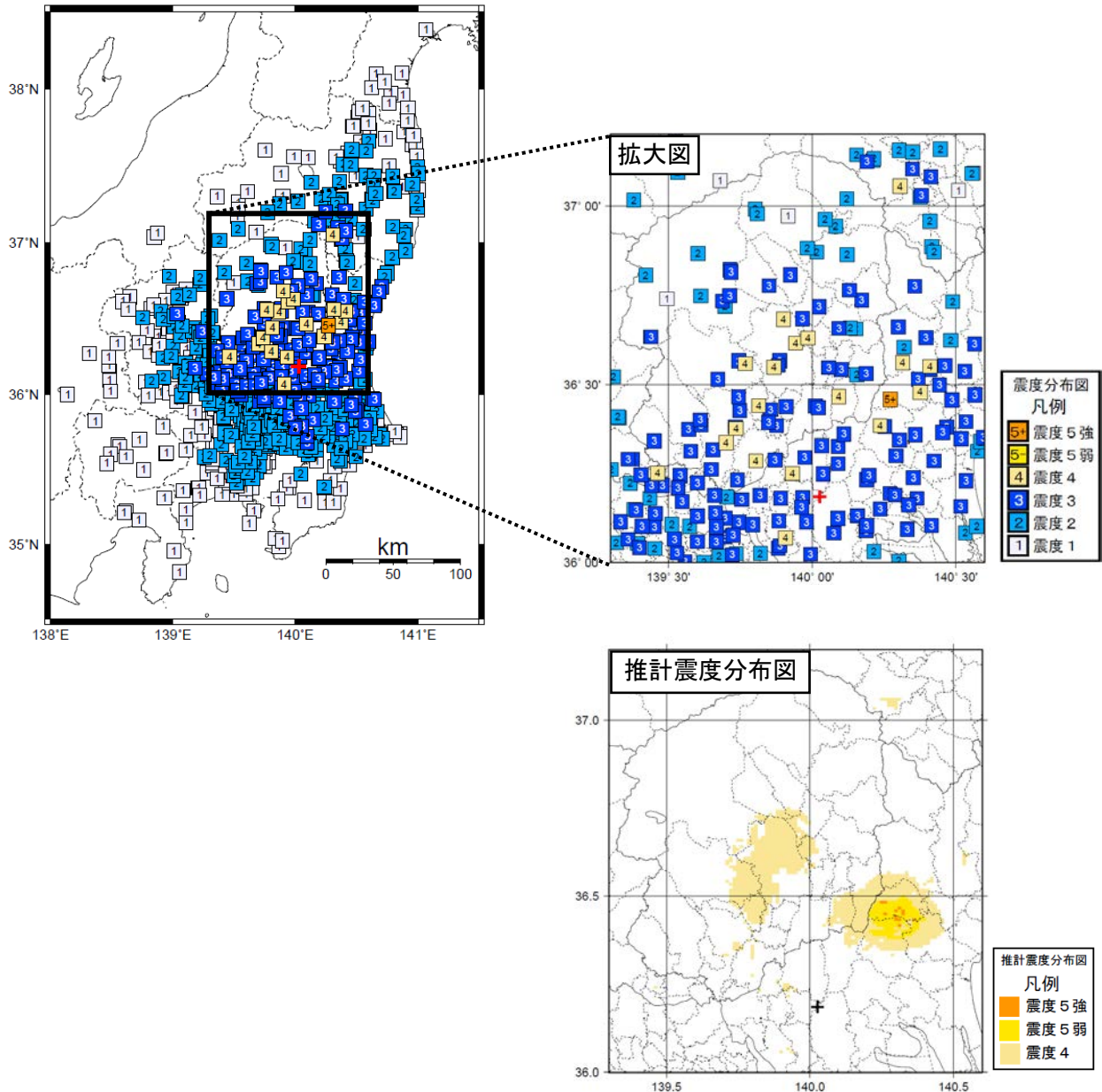


図3 令和4年11月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

3 11月9日17時40分 茨城県南部
(M4.9、深さ51km、最大震度5強)



<推計震度分布図について>

地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。
このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。
なお、この推計震度分布図は震度の精査後に再作成したものであり、地震発生直後に発表したものと一部異なる。

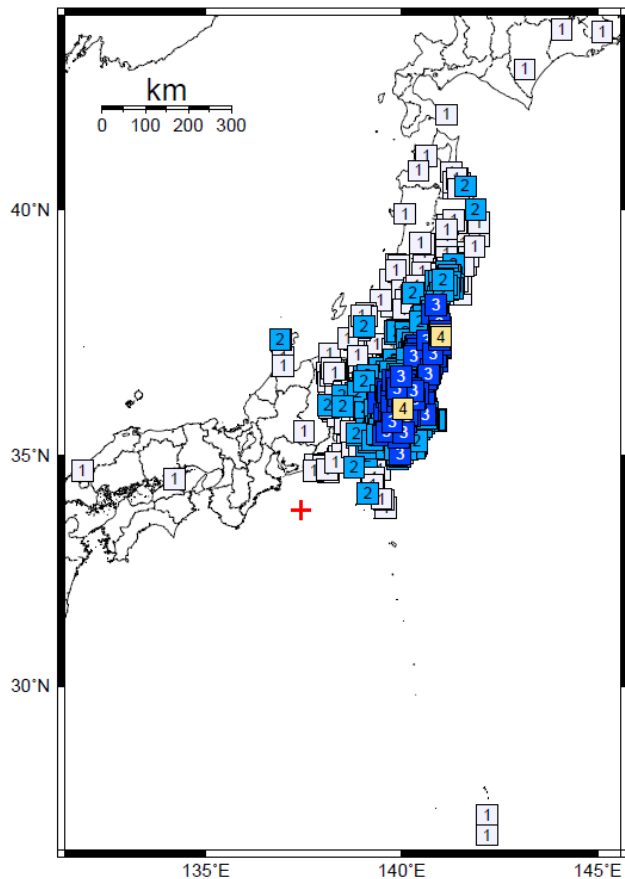
図4 震度分布図（続く）

（各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印又は黒の+印は震央を示す）

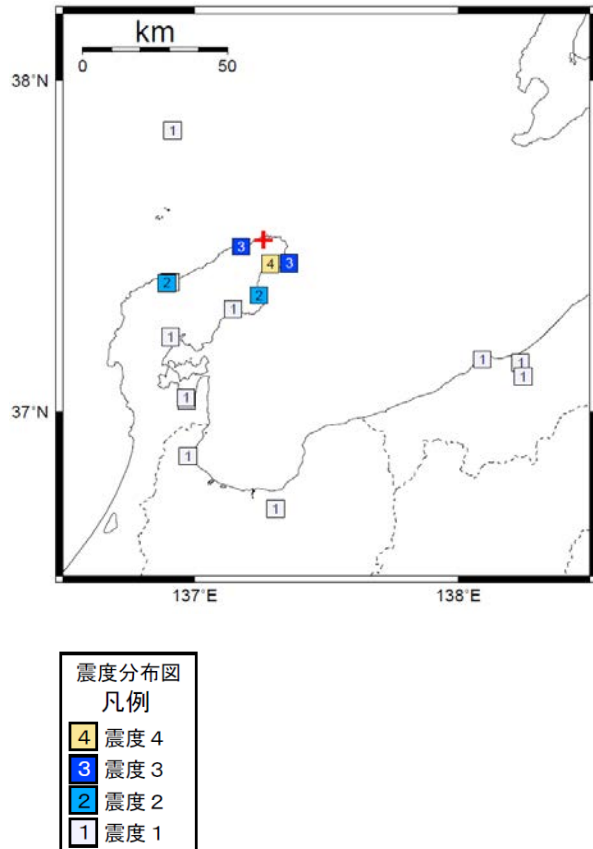
※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

4 11月14日17時08分 三重県南東沖
(M6.4、深さ362km、最大震度4)



5 11月14日22時27分 石川県能登地方
(M4.2、深さ12km、最大震度4)



震度分布図
凡例
4 震度4
3 震度3
2 震度2
1 震度1

図4 震度分布図（続き）

（各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印は震央を示す）

※その他の地震の震度分布図については、気象庁 HP の震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

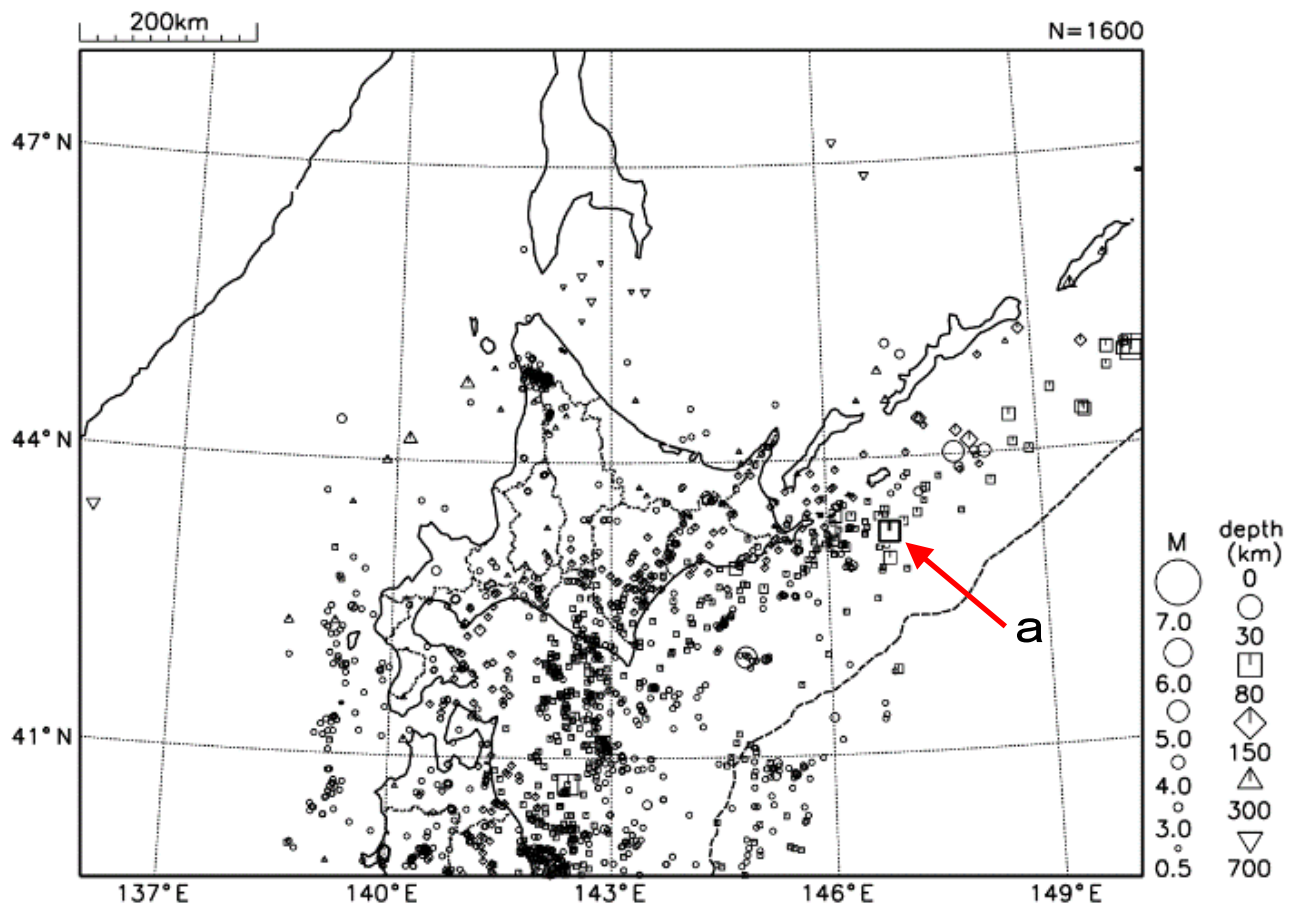


図5 北海道地方の震央分布図（2022年11月1日～11月30日、 $M \geq 0.5$ ）

〔概況〕

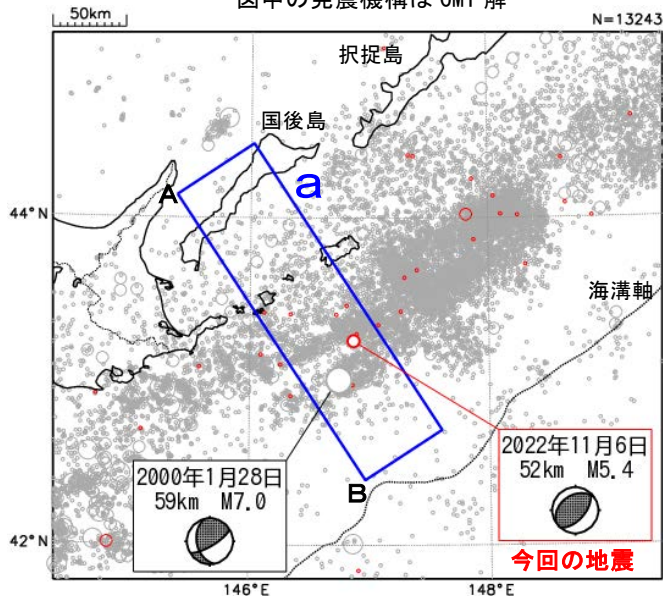
11月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は15回（10月は27回）であった。
11月中の主な地震活動は次のとおりである。

6日13時23分に北海道東方沖の深さ52kmで $M5.4$ の地震（図5中のa）が発生し、北海道根室市で震度3を観測したほか、北海道で震度2～1を観測した（p.7参照）。

11月6日 北海道東方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2022年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
2022年11月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解

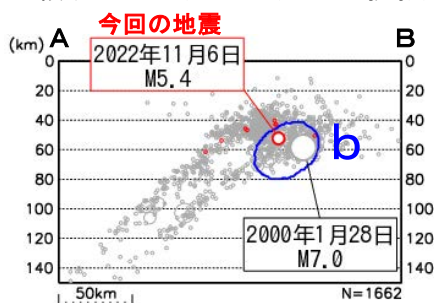


2022年11月6日13時23分に北海道東方沖の深さ52kmでM5.4の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

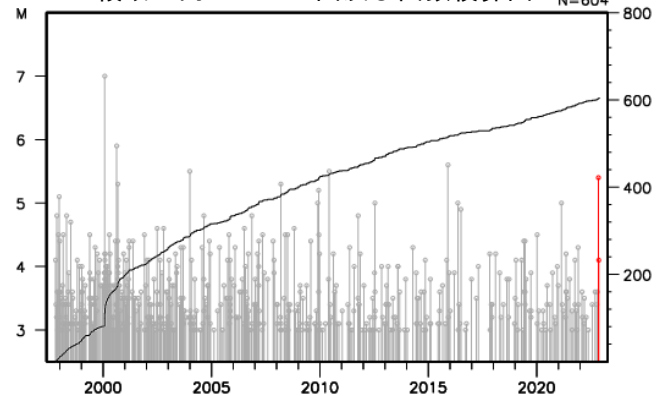
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震が度々発生しており、最大規模の地震は、2000年1月28日に発生したM7.0の地震（最大震度4）で、負傷者2人の被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7.0以上の地震が時々発生しており、M8.0以上の地震が2回発生している。1994年10月4日に発生した「平成6年（1994年）北海道東方沖地震」（M8.2、最大震度6）では、根室市花咲で168cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測するなど、北海道から沖縄県にかけて津波を観測した。この地震により、北海道では負傷者436人、住家被害7,519棟などの被害が生じた（「平成6・7年災害記録（北海道）」による）。

領域a内の断面図（A－B投影）

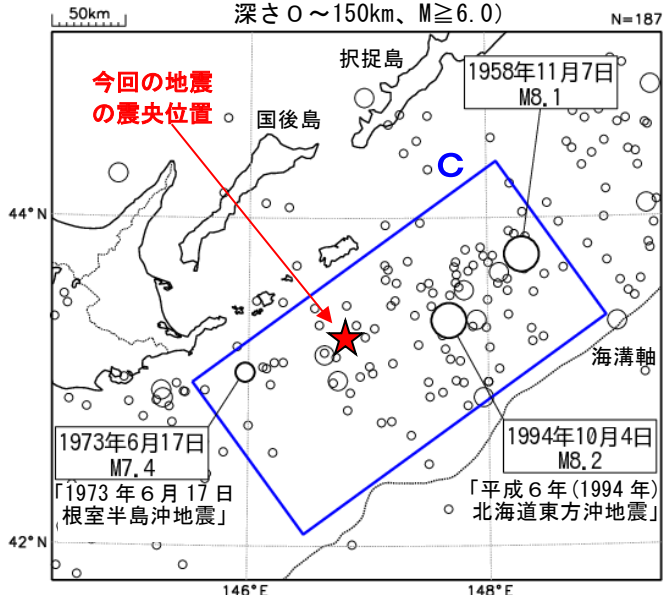


領域b内のM－T図及び回数積算図

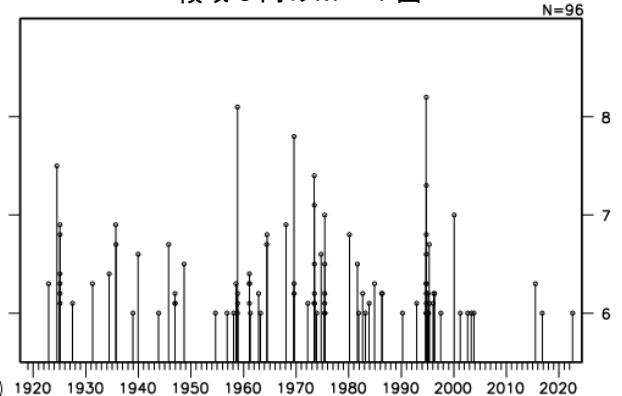


震央分布図

(1919年1月1日～2022年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM－T図



○東北地方の地震活動

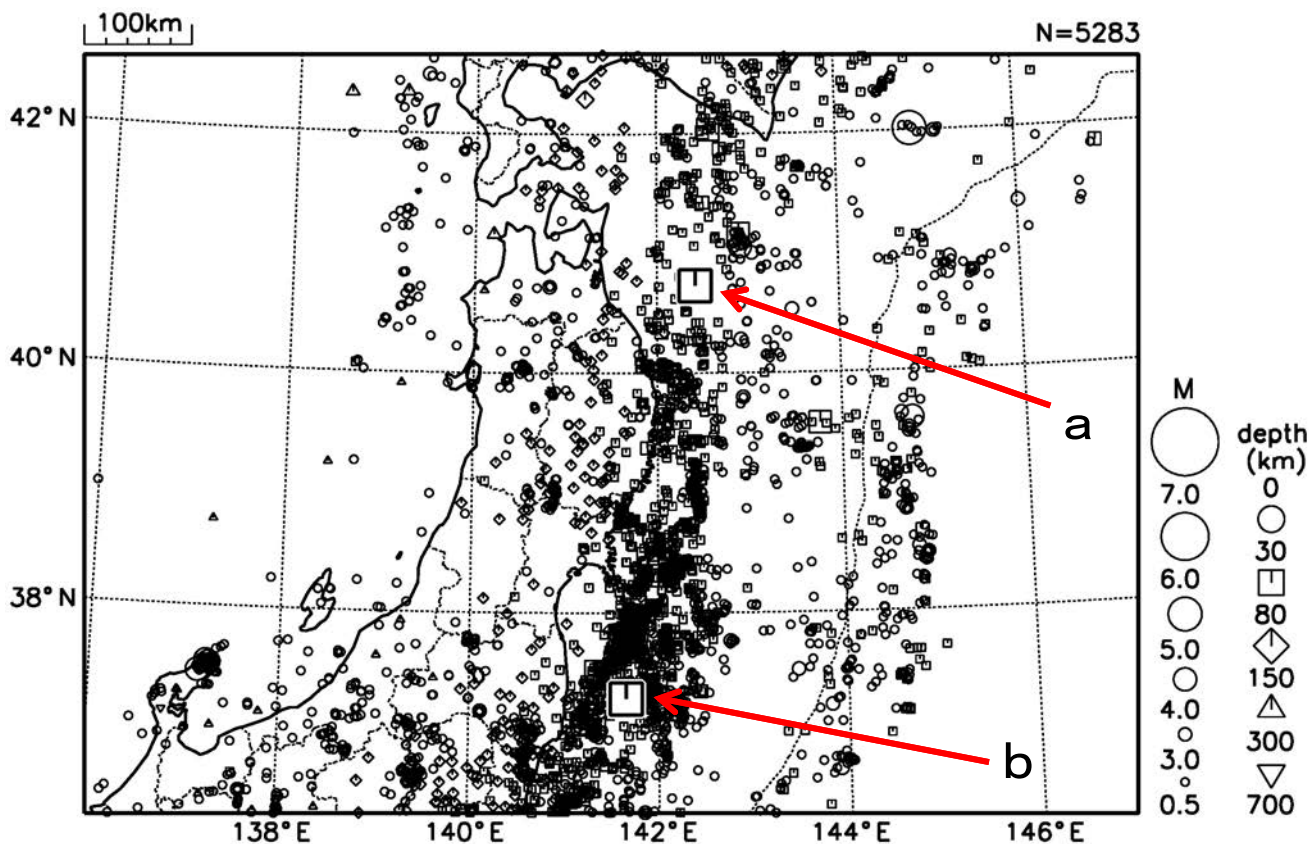


図6 東北地方の震央分布図（2022年11月1日～11月30日、 $M \geq 0.5$ ）

〔概況〕

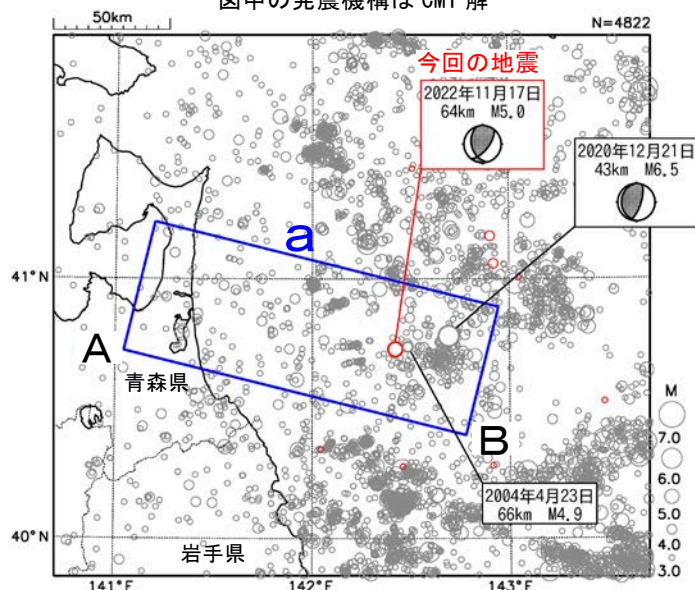
11月に東北地方で震度1以上を観測した地震は31回（10月は35回）であった。
11月中の主な活動は次のとおりである。

17日09時28分に青森県東方沖の深さ64kmでM5.0の地震（図6中のa）が発生し、青森県及び岩手県で震度3を観測したほか、北海道及び東北地方で震度2～1を観測した。（p.9参照）。

30日12時45分に福島県沖の深さ42kmでM5.1の地震（図6中のb）が発生し、福島県いわき市及び大熊町で震度3を観測したほか、東北地方及び関東地方で震度2～1を観測した。（p.10参照）。

11月17日 青森県東方沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2022年11月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2022年11月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解

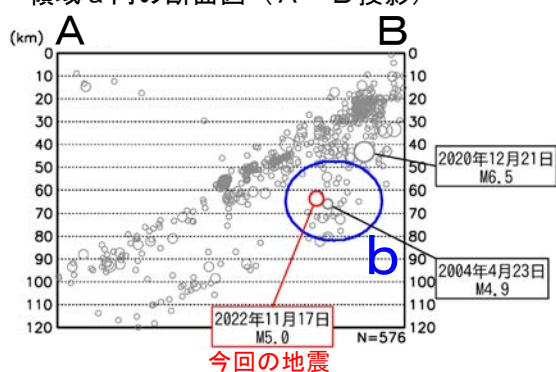


2022年11月17日09時28分に青森県東方沖の深さ64kmで $M 5.0$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。

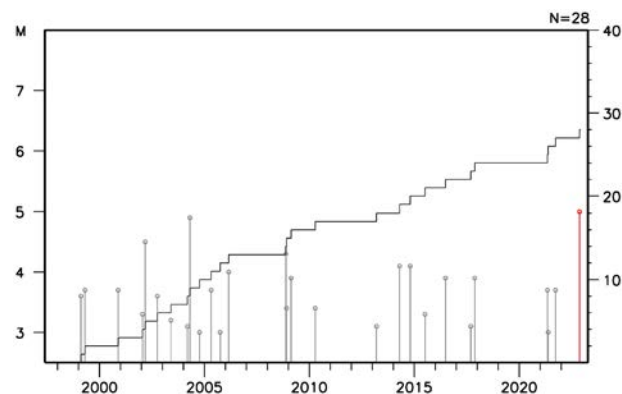
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 4.0$ 以上の地震は時々発生していたが、 $M 5.0$ 以上の地震は今回の地震が初めてである。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1968年5月16日09時48分に「1968年十勝沖地震」 ($M 7.9$ 、最大震度5) が発生した。この地震により、青森県八戸 [火力発電所] で295cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測したほか、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

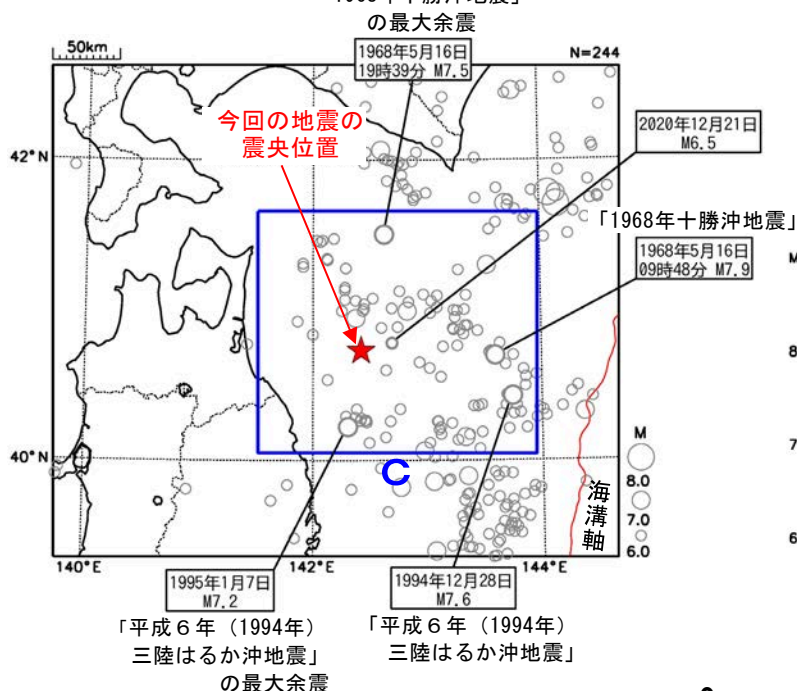
領域a内の断面図 (A-B投影)



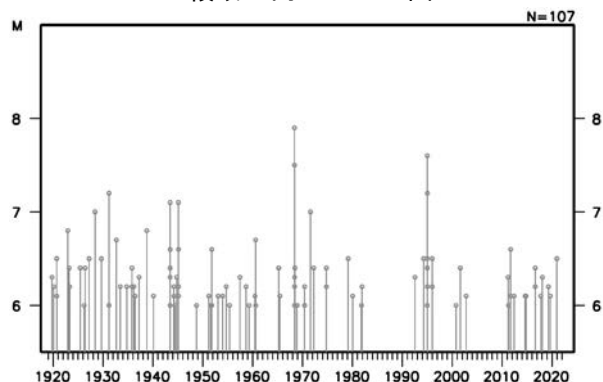
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2022年11月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)
「1968年十勝沖地震」
の最大余震



領域c内のM-T図



11月30日 福島県沖の地震

50km

N=31902

2022年3月16日
57km M7.4
CMT

2022年3月25日
52km M5.2
CMT

2022年3月11日
M9.0
CMT

2016年11月22日
12km※ M7.4
CMT

「東北地方
太平洋沖地震」

2022年4月4日
44km M5.4
CMT

2022年11月30日
12時45分 42km
M5.1

2022年11月30日
12時46分 37km
M4.5

今回の地震

M
8.0
7.0
6.0
5.0
4.0
3.0

太平洋

140°E 141°E 142°E 143°E

40°N 42°N 44°N 46°N 48°N

「1978年宮城県沖地震」

50km

39°N

2021年2月13日
M7.3

1978年6月12日
M7.4

2022年3月16日
23時36分 M7.4

2022年3月16日
23時34分 M6.1

2011年3月11日
M9.0

「東北地方
太平洋沖地震」

38°N

1938年11月5日
19時56分 M7.3

2016年11月22日
M7.4

37°N

今回の地震の震央位置

140°E

141°E

142°E

143°E

海溝軸

M

8.0

7.0

6.0

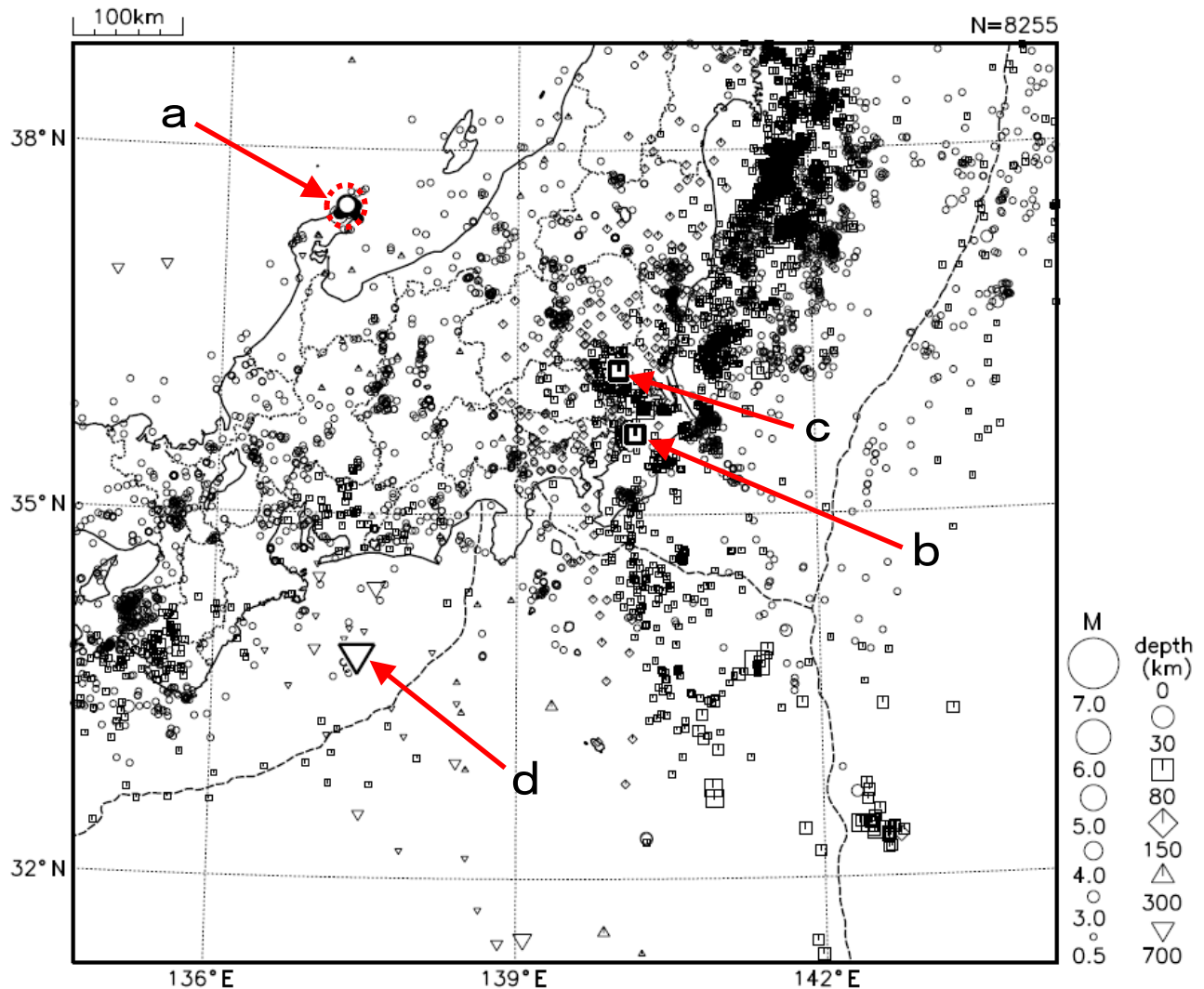
1938年11月6日
M7.4

1938年11月5日
17時43分 M7.5

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域d）では、「東北地方太平洋沖地震」の発生前からM7.0以上の地震が時々発生しており、1938年11月5日17時43分にはM7.5の地震（最大震度5）が発生し、宮城県花湊で113cm（全振幅）の津波を観測した。

Month	Reads (M)
Nov	1.8
Dec	1.5
Jan	1.8
Feb	1.5
Mar	1.8
Apr	1.5
May	1.8
Jun	1.5
Jul	1.8
Aug	1.5
Sep	1.8
Oct	5.2
Nov	1.8

○関東・中部地方の地震活動

図7 関東・中部地方の震央分布図（2022年11月1日～11月30日、M $\geq$ 0.5）

[概況]

11月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は68回（10月は48回）であった。11月中の主な活動は次の通りである。

14日22時27分に石川県能登地方の深さ12kmで発生したM4.2の地震により、石川県珠洲市で震度4を観測したほか、新潟県、富山県及び石川県で震度3～1を観測した。石川県能登地方では11月中に震度1以上を観測した地震が25回（震度4：1回、震度3：3回、震度2：3回、震度1：18回、富山湾で発生した地震を7回、能登半島沖で発生した地震を3回含む）発生した（図7中のa）。このうち最大規模の地震は、30日17時07分に深さ14kmで発生したM4.4の地震で、石川県珠洲市で震度3を観測したほか、北陸地方で震度2～1を観測した（p.5、12参照）。

9日17時40分に茨城県南部の深さ51kmでM4.9の地震（図7中のc）が発生し、茨城県城里町で震度5強を観測したほか、宮城県、福島県、関東甲信地方、新潟県及び静岡県で震度4～1を観測した（p.4、14参照）。

14日17時08分に三重県南東沖の深さ362kmでM6.4の地震（図7中のd）が発生し、福島県双葉町、浪江町及び茨城県つくばみらい市で震度4を観測したほか、北海道から中国・四国地方にかけて震度3～1を観測した（p.5、15参照）。

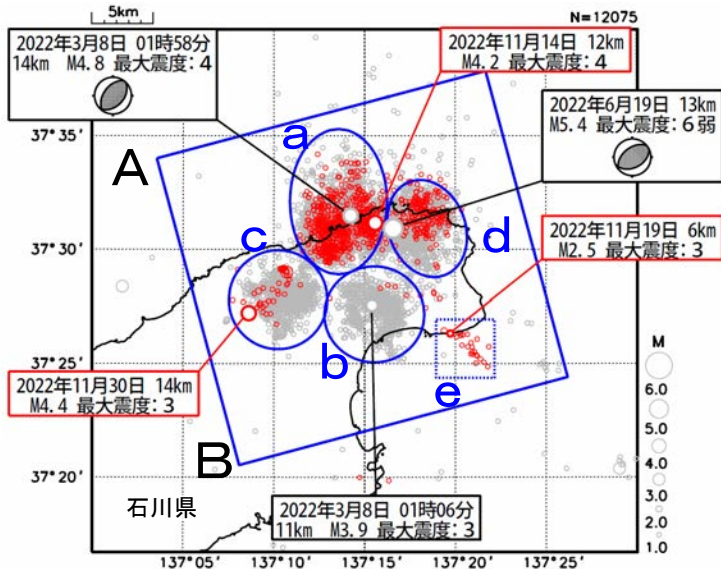
3日19時04分に千葉県北西部の深さ68kmでM4.9の地震（図7中のb）が発生し、関東地方及び静岡県で震度3を観測したほか、福島県、関東甲信地方、新潟県及び静岡県で震度2～1を観測した（p.13参照）。

石川県能登地方の地震活動

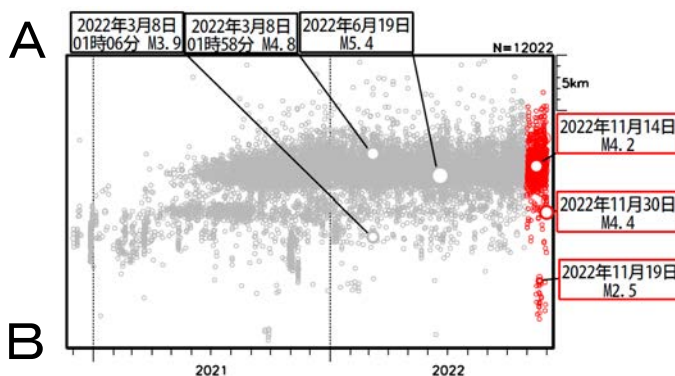
震央分布図

(2020年12月1日～2022年11月30日、
深さ0～25km、M≥1.0)

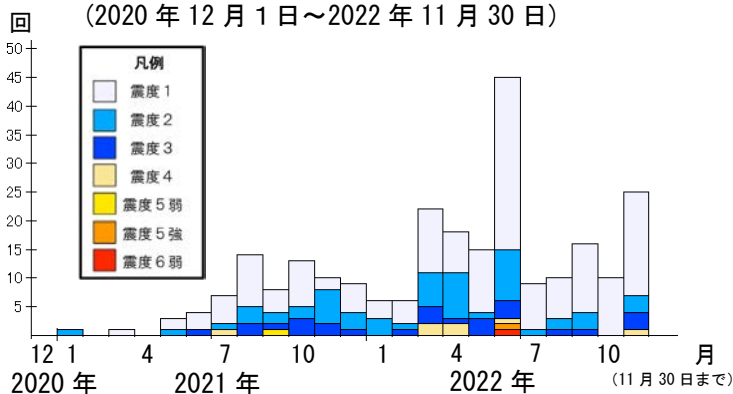
- 2022年11月の地震を**赤色**で表示、図中の発震機構はCMT解
- ・黒色の吹き出し：領域a、b、dの各領域内で最大規模の地震
- ・赤色の吹き出し：矩形内で2022年11月中の最大規模の地震、2022年11月中に震度4以上を観測した地震、及び領域c、eの最大規模の地震



上図矩形内の時空間分布図 (A-B投影)



矩形内の地震の月別震度別発生回数
(2020年12月1日～2022年11月30日)



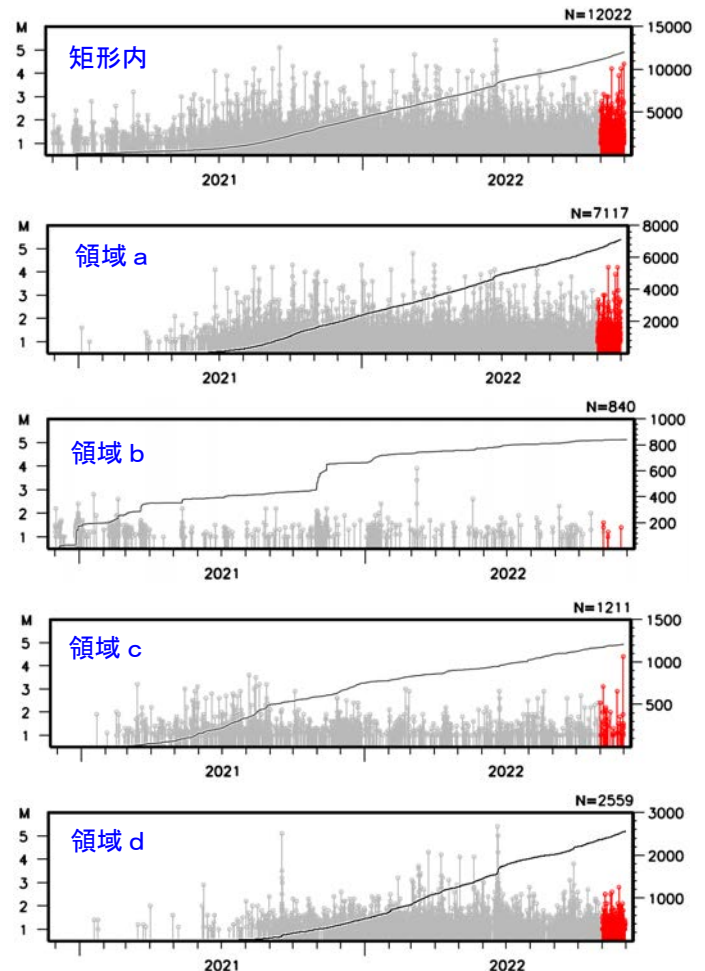
期間別・震度別の地震発生回数表

期間	最大震度別回数							計
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	
2020年12月1日 ～2022年10月31日	142	53	23	6	1	1	1	227
2022年11月1日～30日	18	3	3	1	0	0	0	25
計	160	56	26	7	1	1	1	252

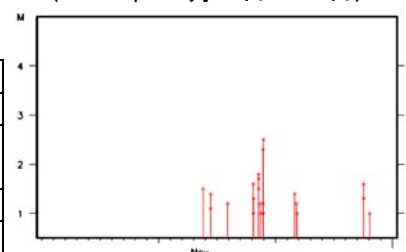
石川県能登地方 (矩形内) では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になっている。2022年11月中もその傾向は継続している。2022年11月中の最大規模の地震は、30日に発生したM4.4の地震 (最大震度3) である。また、14日にはM4.2の地震 (最大震度4) が発生した。なお、活動の全期間を通じて最大規模の地震は、2022年6月19日に発生したM5.4の地震 (最大震度6弱) である。また、2022年11月には、石川県能登地方 (矩形内) の南東側 (領域e) でもややまとまった地震活動があり、震度1以上を観測した地震が7回 (震度3: 1回、震度2: 1回、震度1: 5回) 発生した。矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は期間別・震度別の地震発生回数表のとおり。

左図矩形内及び領域a～d内の
M-T図及び回数積算図

(2020年12月1日～2022年11月30日)



左上図領域e内のM-T図
(2022年11月1日～30日)

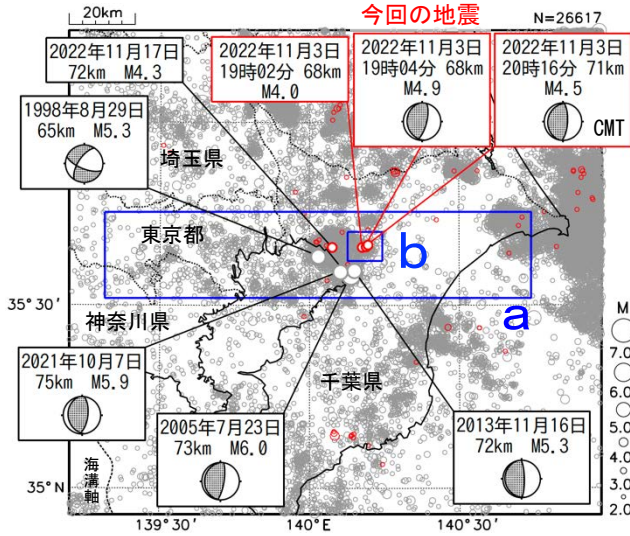


11月3日 千葉県北西部の地震

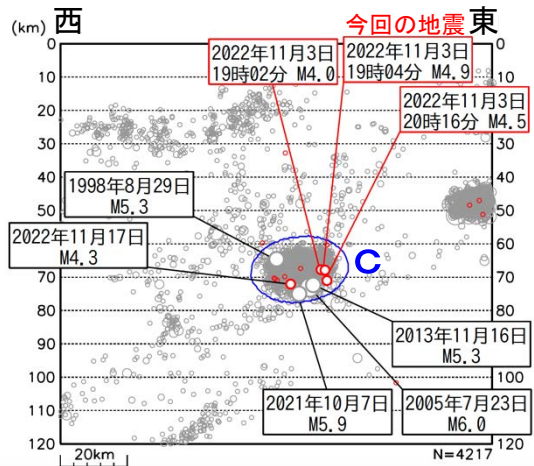
震央分布図

(1997年10月1日～2022年11月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$)

2022年11月の地震を赤色で表示



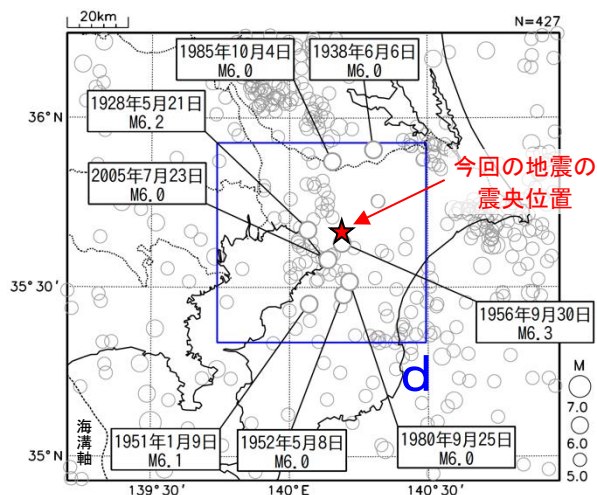
領域a内の断面図（東西投影）



震央分布図

(1919年1月1日～2022年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

2022年11月の地震を赤色で表示

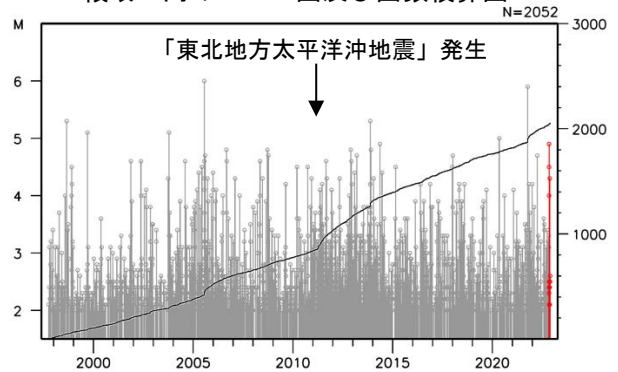


2022年11月3日19時04分に千葉県北西部の深さ68kmで $M4.9$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。また、この地震の震源付近では、同日19時02分に深さ68kmで $M4.0$ の地震（最大震度2）、20時16分に深さ71kmで $M4.5$ の地震（最大震度2）が発生した。

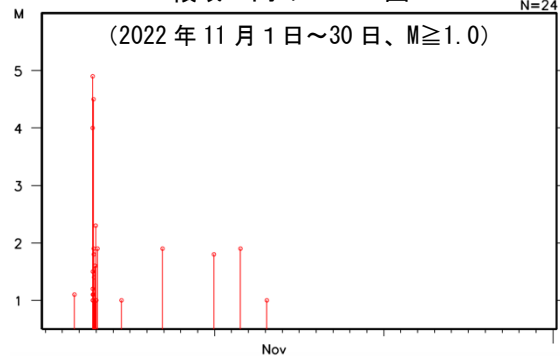
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域c）は、地震活動が活発な領域であり、2005年7月23日に $M6.0$ の地震（最大震度5強）、2021年10月7日に $M5.9$ の地震（最大震度5強）が発生するなど、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生している。また、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以降、地震活動が一時的に活発になったが、徐々に落ち着いてきている。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域d）では、 $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。1956年9月30日に発生した $M6.3$ の地震では、負傷者4人などの被害を生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

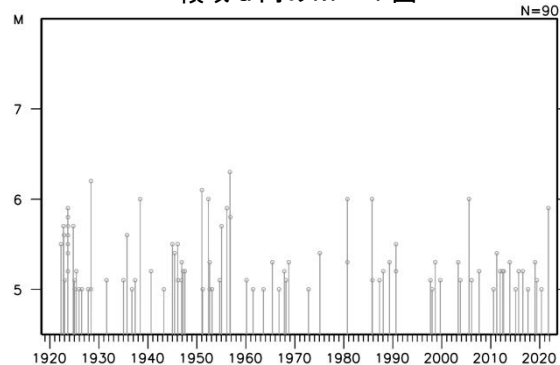
領域c内のM-T図及び回数積算図



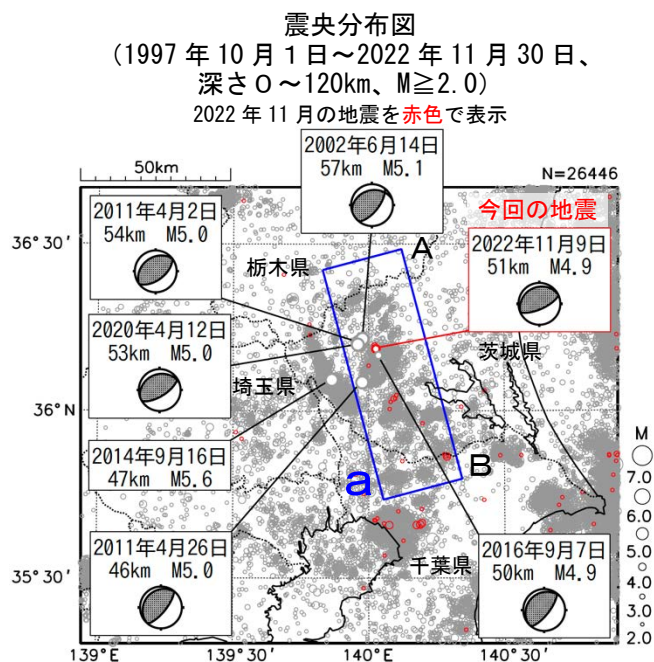
領域b内のM-T図



領域d内のM-T図



11月9日 茨城県南部の地震

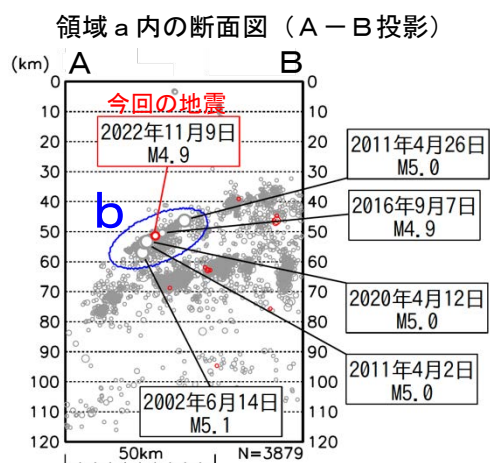


2022年11月9日17時40分に茨城県南部の深さ51kmで $M4.9$ の地震（最大震度5強）が発生した。この地震は、発震機構が北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、この地震の震源付近では、11月11日にも $M3.7$ の地震（最大震度3）が発生した。

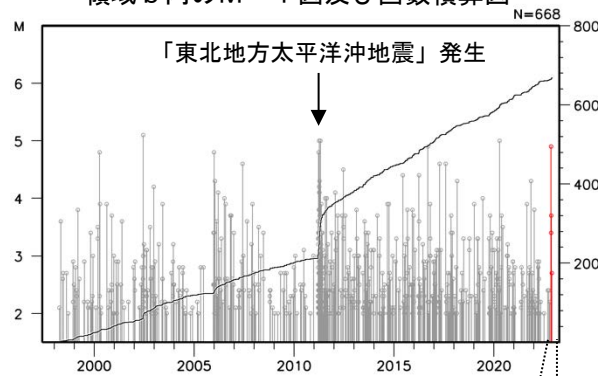
今回の地震により、軽傷1人の被害が生じた（11月16日17時00分現在、総務省消防庁による）。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は、地震活動が活発な領域であり、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以降、地震活動がより活発になっている。この領域では、 $M5.0$ 程度の地震が時々発生しており、最近では2020年4月12日に $M5.0$ の地震（最大震度4）が発生している。

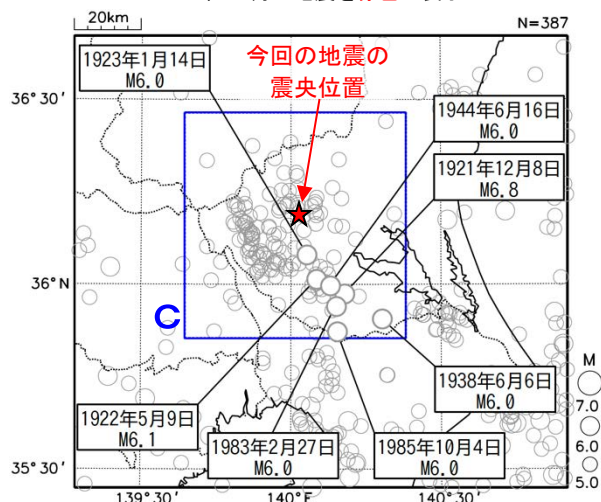
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。1923年1月14日に発生した $M6.0$ の地震では、負傷者1人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。



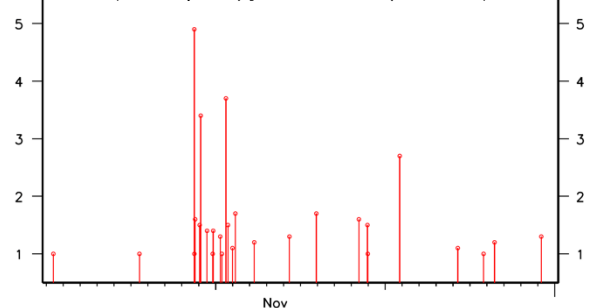
領域b内のM－T図及び回数積算図



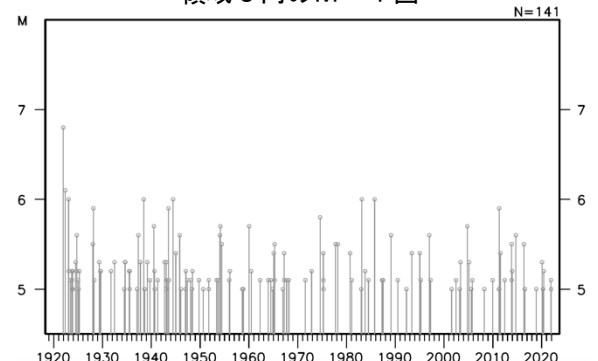
震央分布図
(1919年1月1日～2022年11月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)
2022年11月の地震を赤色で表示



(2022年11月1日～30日、 $M \geq 1.0$)



領域c内のM－T図



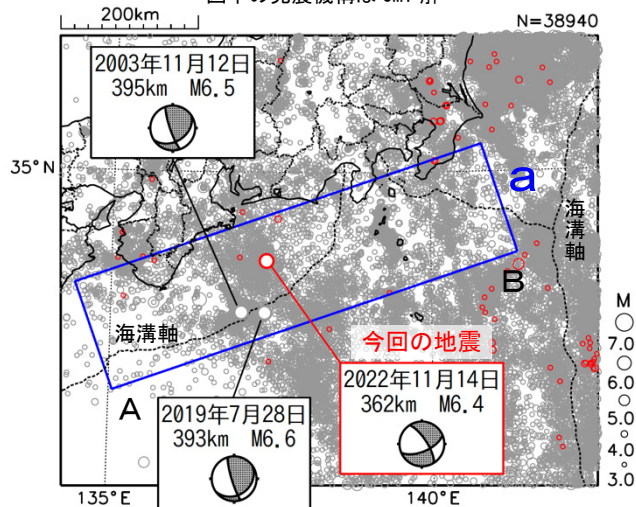
11月14日 三重県南東沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2022年11月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 3.0$)

2022年11月の地震を赤色で表示

図中の発震機構はCMT解

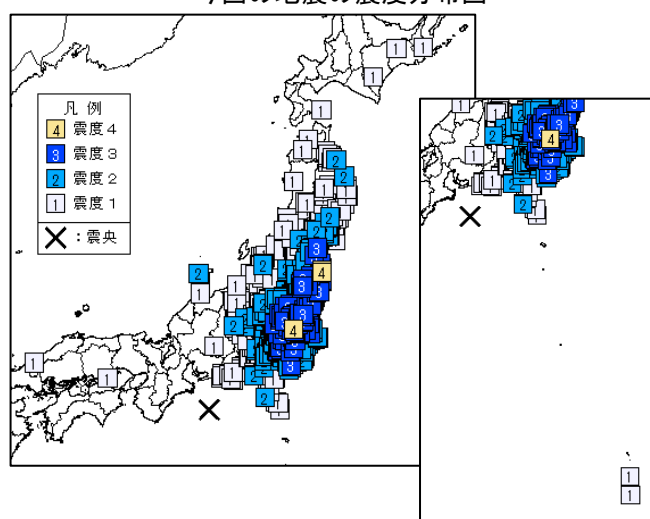


2022年11月14日17時08分に三重県南東沖の深さ362kmで $M 6.4$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。今回の地震では、震央から離れた東北地方及び関東地方で強い揺れを観測しており、この現象は「異常震域」と呼ばれている。

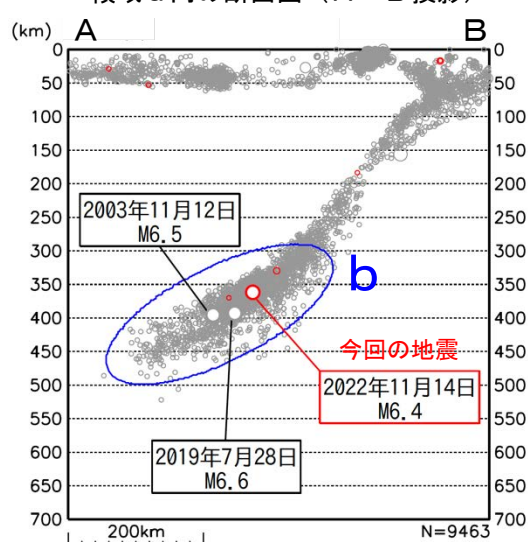
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生しており、2003年11月12日に $M 6.5$ の地震、2019年7月28日に $M 6.6$ の地震（ともに最大震度4）が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近から小笠原諸島西方沖にかけて、 $M 7.0$ 以上の深い地震が時々発生している。

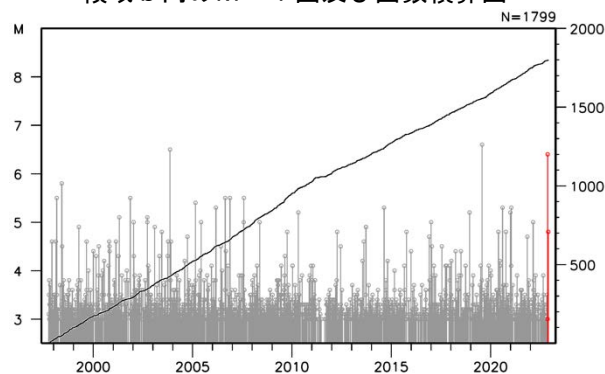
今回の地震の震度分布図



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図

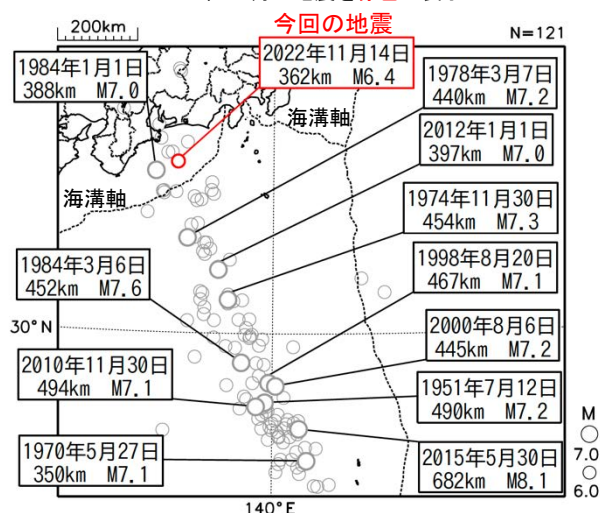


震央分布図

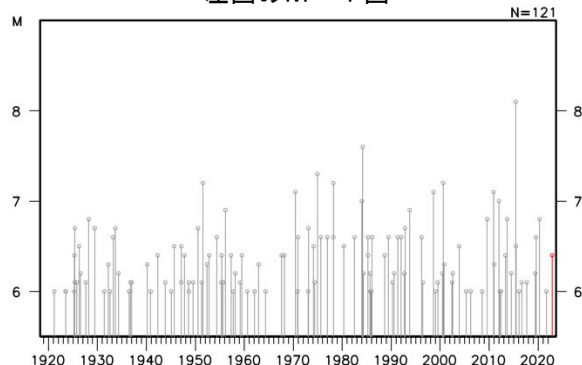
(1919年1月1日～2022年11月30日、
深さ200～700km、 $M \geq 6.0$)

2022年11月の地震を赤色で表示

今回の地震



左図のM-T図



【参考】震央付近の場所よりも震央から離れた場所で大きな震度を観測する地震について

震源が非常に深い場合、震源の真上ではほとんど揺れないのに、震源から遠くはなれた場所で揺れを感じることがあります（次ページ参照）。この現象は、「異常震域」という名称で知られています。原因は、地球内部の岩盤の性質の違いによるものです。

プレートがぶつかり合うようなところでは、陸のプレートの地下深くまで海洋プレートが潜り込んで（沈み込んで）います。通常、地震波は震源から遠くになるほど減衰するものですが、この海洋プレートは地震波をあまり減衰せずに伝えやすい性質を持っています。このため、沈み込んだ海洋プレートのかなり深い場所で地震が発生すると（深発地震）、真上には地震波があまり伝わらないにもかかわらず、海洋プレートでは地震波はあまり減衰せずに遠くの場所まで伝わります（下図）。その結果、震源直上の地表での揺れ（震度）が小さくとも、震源から遠く離れた場所で震度が大きくなる場合があります。

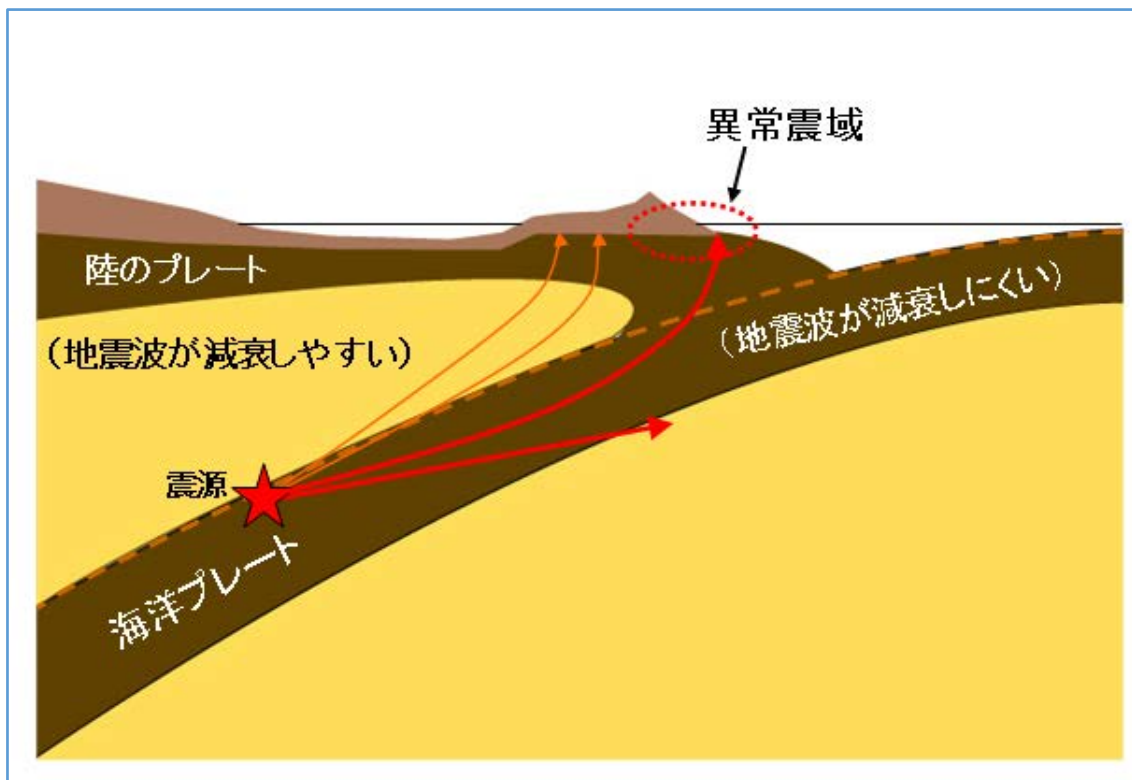
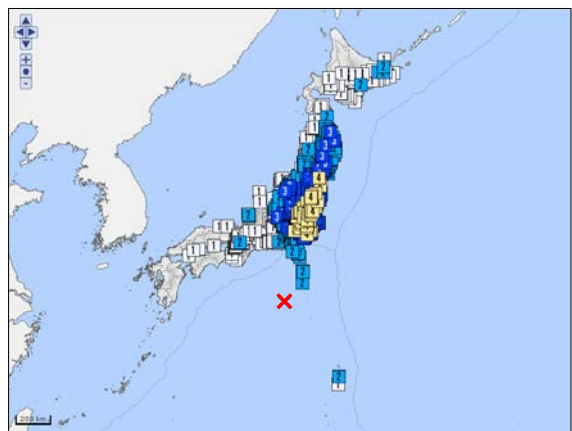


図 深発地震と異常震域

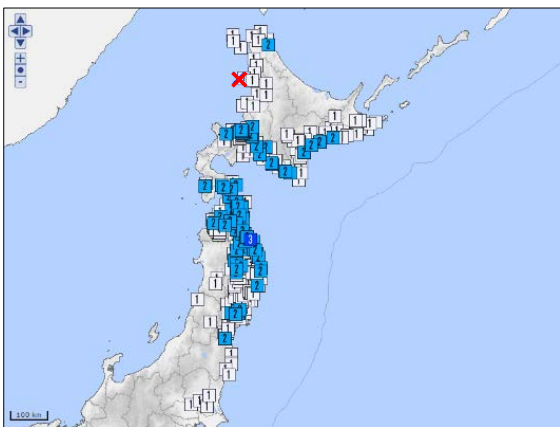
◇ 異常震域のあった過去の地震の震度分布図の例



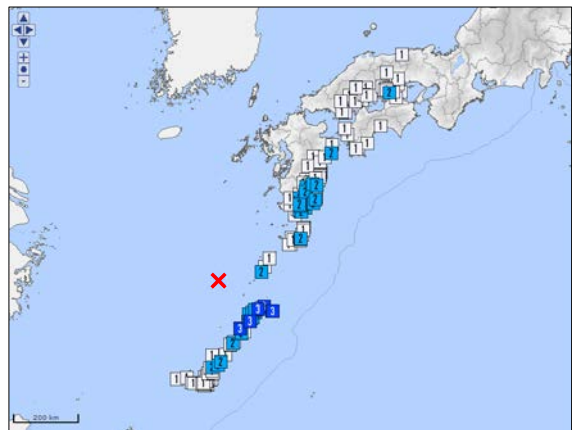
2007年7月16日の京都府沖の地震
(M6.7、震源の深さ374km)



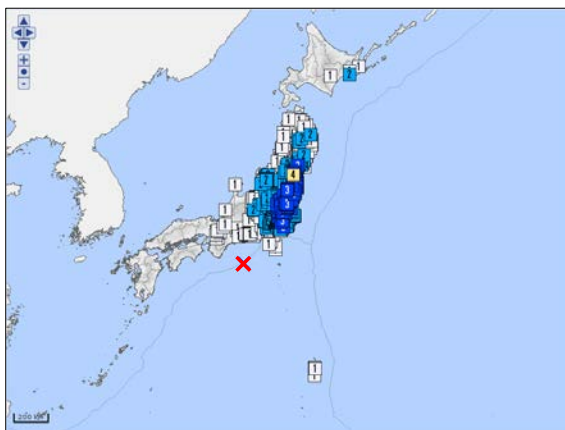
2012年1月1日の鳥島近海の地震
(M7.0、震源の深さ397km)



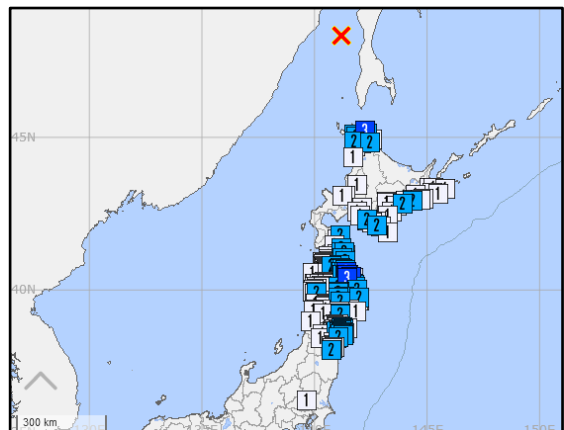
2016年1月12日の北海道北西沖の地震
(M6.2、震源の深さ265km)



2019年7月13日の奄美大島北西沖の地震
(M6.0、震源の深さ256km)



2019年7月28日の三重県南東沖の地震
(M6.6、震源の深さ393km)



2020年12月1日のサハリン西方沖の地震
(M6.7、震源の深さ619km)

※震度分布図は気象庁の震度データベース検索

(気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/>)にて検索したものを使用。

※震度分布図の地図に国土交通省国土数値情報のデータを使用している。

○近畿・中国・四国地方の地震活動

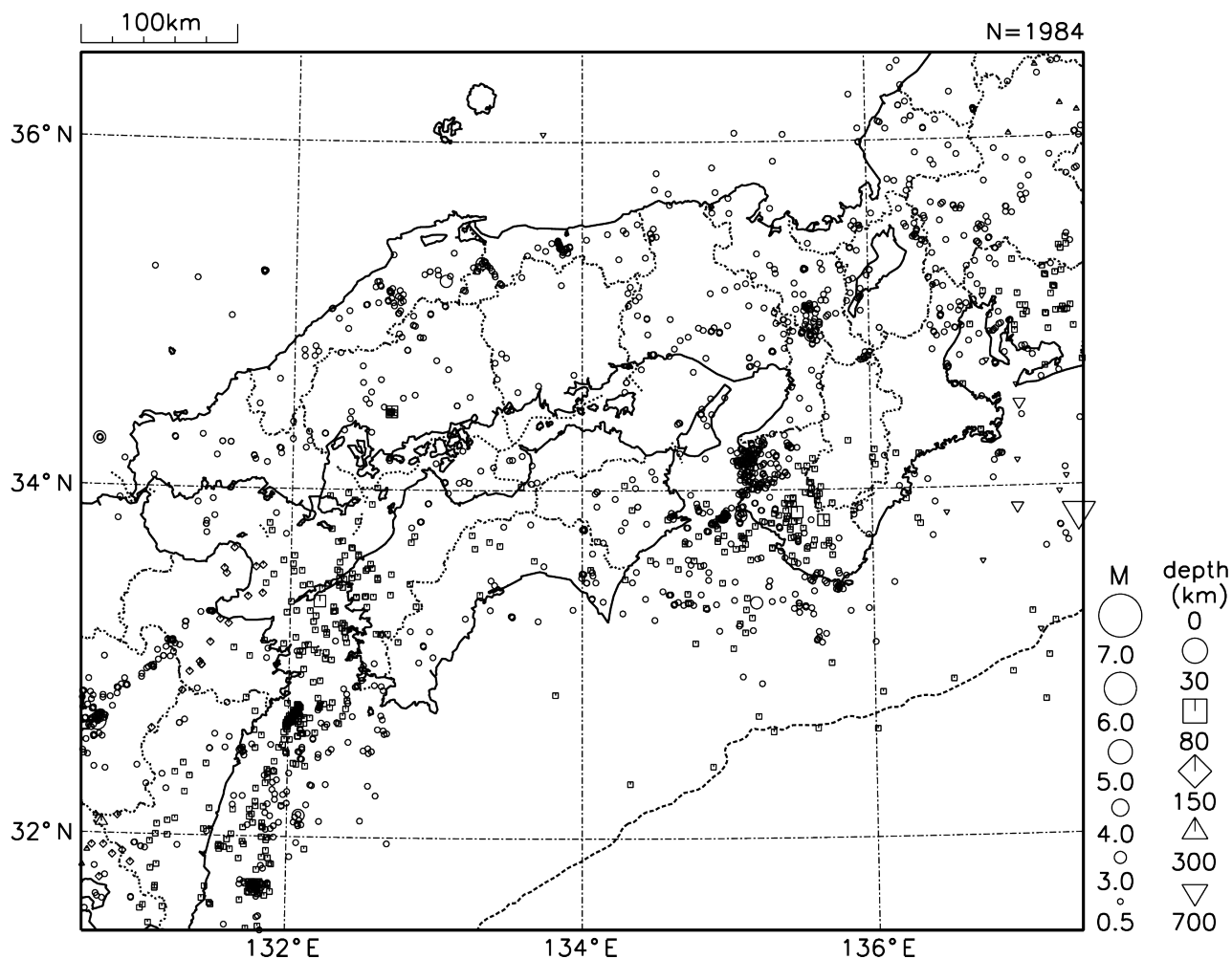


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2022年11月1日～11月30日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

11月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は20回（10月は13回）であった。
11月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

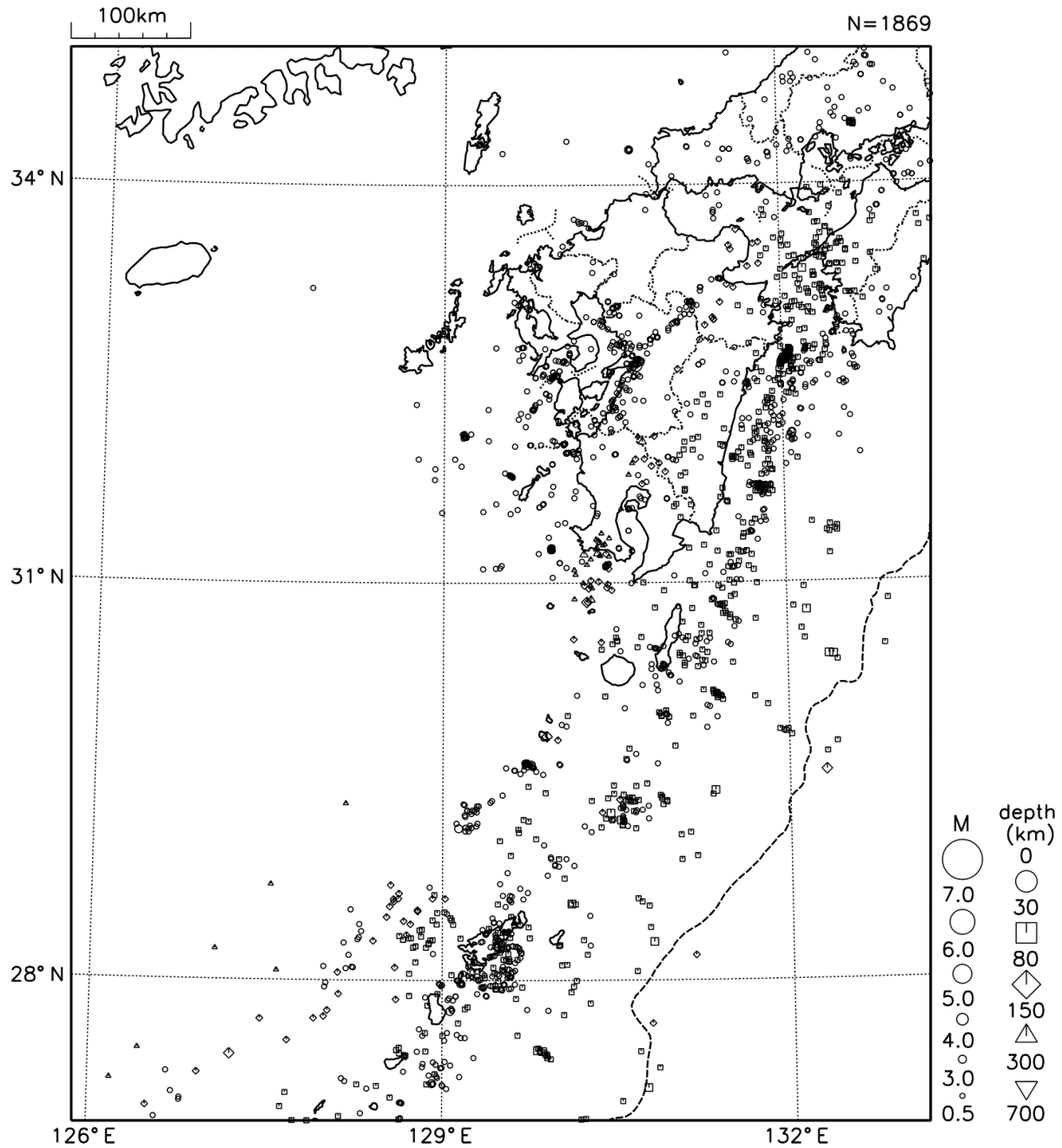


図9 九州地方の震央分布図（2022年11月1日～11月30日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

11月に九州地方で震度1以上を観測した地震は23回（10月は25回）であった。
11月中、特に目立った活動はなかった。

○沖縄地方の地震活動

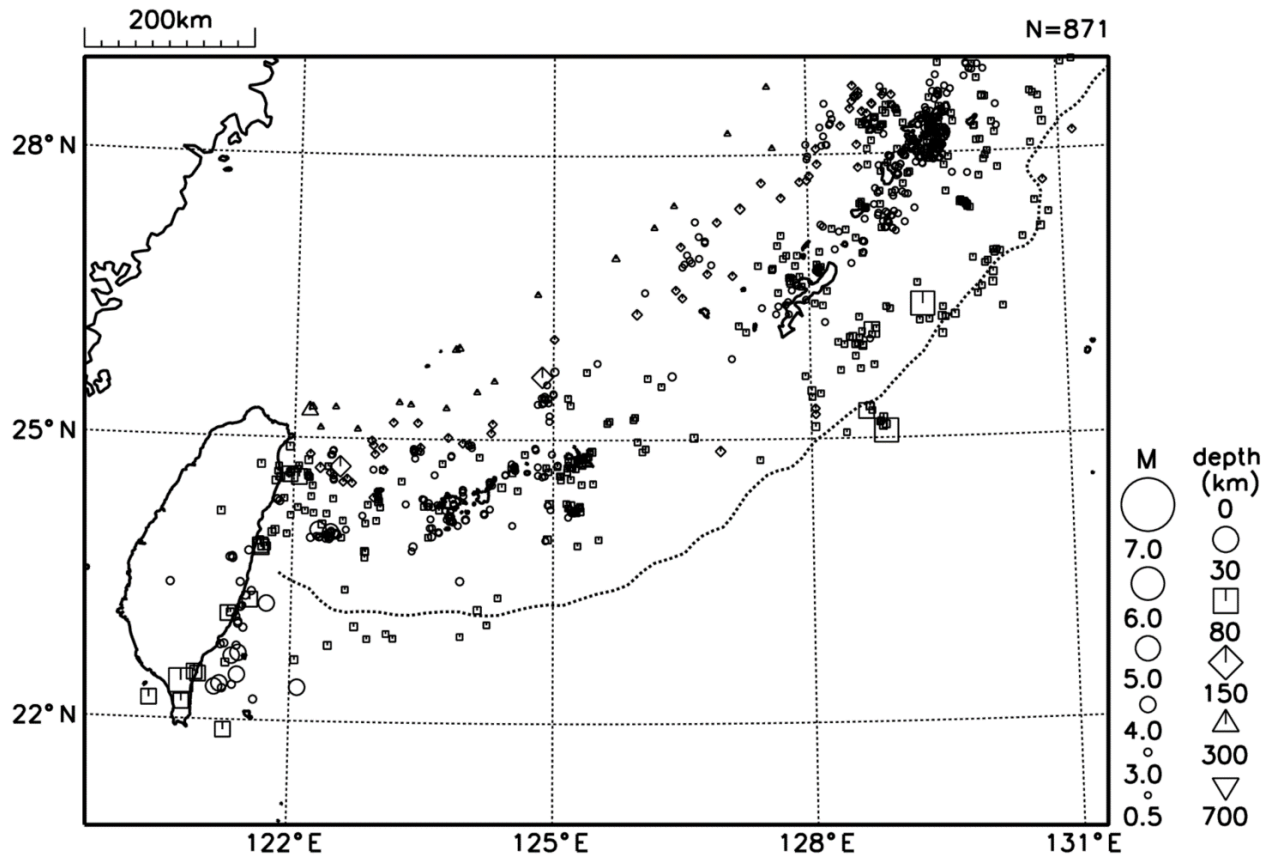


図10 沖縄地方の震央分布図（2022年11月1日～11月30日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

11月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は6回（10月は6回）であった。
11月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

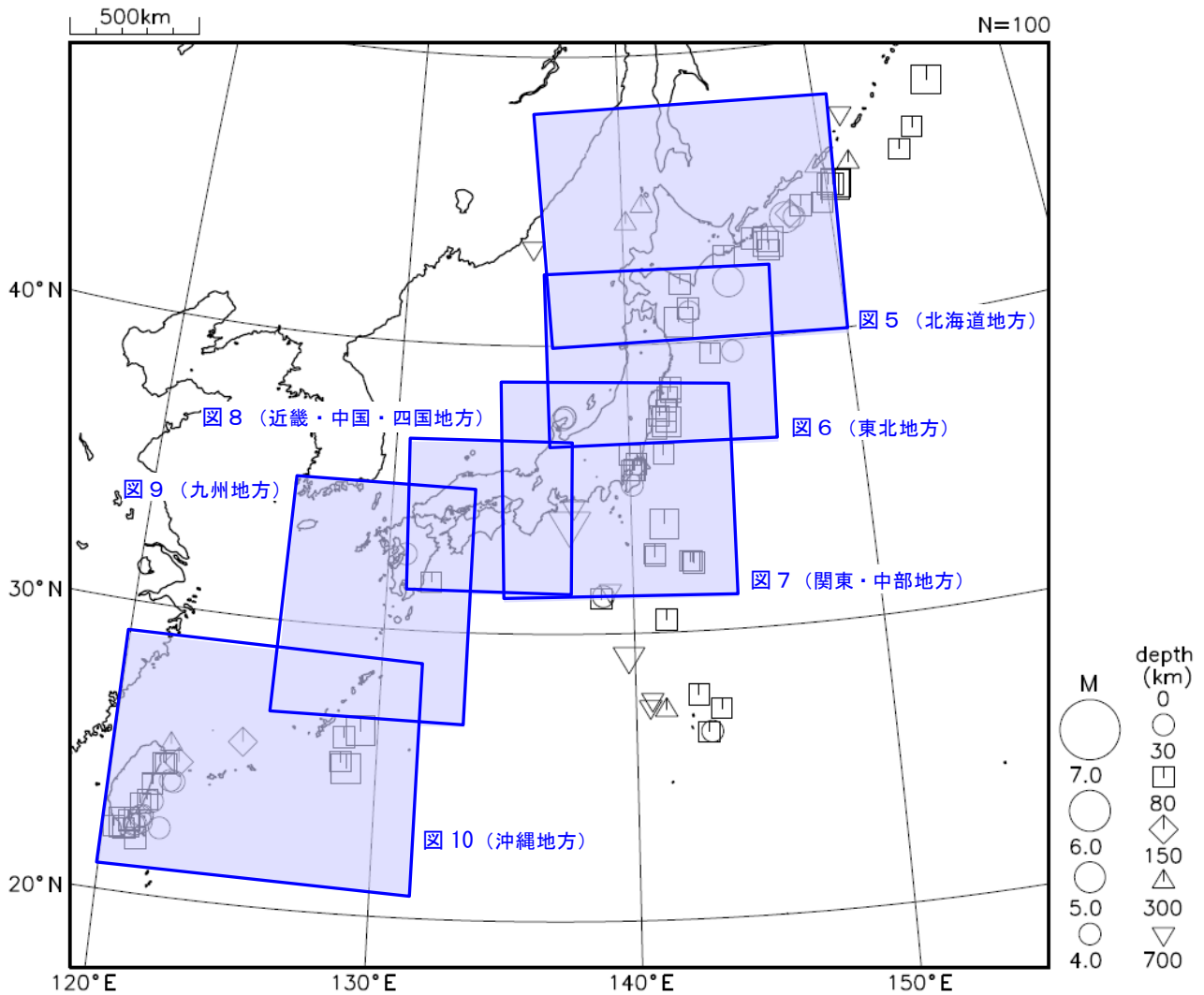


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2022年11月1日～11月30日、 $M \geq 4.0$ ）

〔概況〕

11月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は1回であった（10月はなし）。

11月中に図5～10の領域外で目立った活動はなかった。

● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第62回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第440回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、令和4年12月7日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^{（注）}。これに関連する概要資料をp.24に掲載する。

（注）<https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^{（注）}と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80％であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から既に70年以上が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

- （1）東海：11月1日から12日
- （2）紀伊半島中部：11月8日から11日
- （3）四国西部：11月16日から30日

2. 地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（3）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。周辺の傾斜データ及びGNSS観測でも、わずかな変化が見られています。

GNSS観測によると、2019年春頃から四国中部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。

（長期的な地殻変動）

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（3）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動は、四国中部周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊され则认为られている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3 km 以内で、相互の発生時間差が7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生し、前回は2013 年はじめ頃から2017 年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約 30km～40km で発生する、通常地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P 波やS 波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

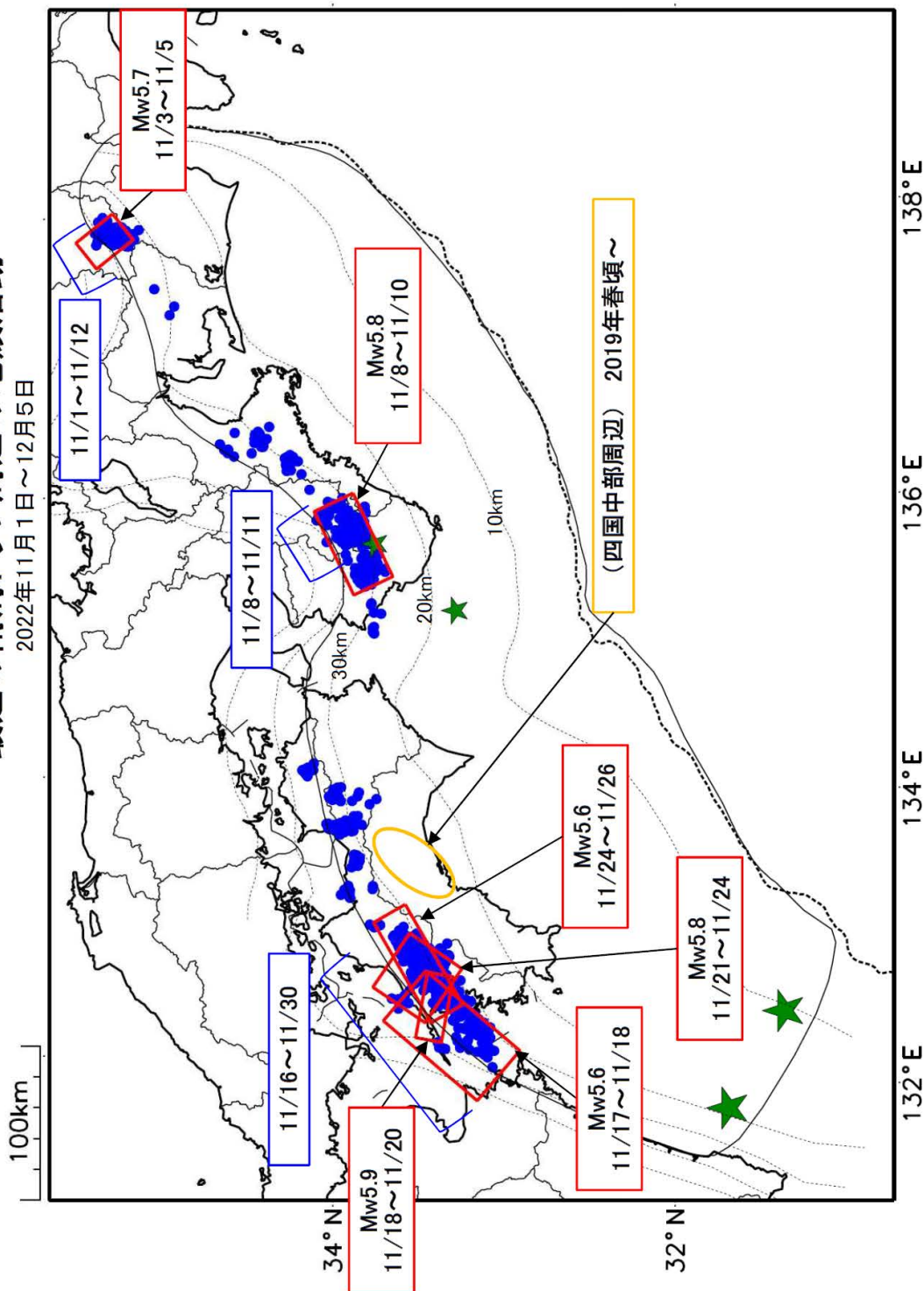
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1 年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2022年11月1日～12月5日



- 緑(★)
通常の地震(最大震度
3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●)
深部低周波地震(微動)
- 赤(□)
短期的ゆっくりすべり
- 黄(○)
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、
Hirose et al.(2008), Baba
et al.(2002)によるフィリ
ピンプレート上面の深さを
示す。

※M5.0以上の地震に吹き
出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)……………気象庁の解析結果による。
深部低周波地震(微動)……………(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり……………【東海】気象庁の解析結果を示す。【紀伊半島中部、四国西部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり……………【四国中部周辺】国土地理院の解析結果を元におよその場所を表示している。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和4年11月）

警報・予報事項に変更のあった火山はありません（令和4年12月8日14時現在）。

表1 令和4年12月8日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、諏訪之瀬島
	入山危険	西之島※
	レベル2 （火口周辺規制）	薩摩硫黄島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	海徳海山※、噴火浅根※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山である ことに留意）	アトサヌブリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、浅間山、新湯焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳・九重山、雲仙岳、阿蘇山、霧島山（御鉢）、霧島山（新燃岳）、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、口永良部島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横ヶ岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孺婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（11月1日～30日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

西之島【火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報】

山頂火口内に噴気が認められており、火山活動は継続しています。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火は認められないものの、引き続き、変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

噴火浅根【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、気象衛星ひまわりでは噴火は認められていません。

引き続き、噴火浅根の周辺海域では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、硫黄島及びその周辺海域で噴火は観測されなかったものの、今年7月上旬から8月上旬にかけてと10月前半に、翁浜沖でマグマ噴出によると推定される小規模な噴火が観測されました。

島全体の隆起を示す地殻変動は長期的に継続しており、このような中でマグマ噴出が初めて観測されたことから、今後、火山活動が高まる可能性もあり、活動の推移に注意が必要です。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、変色水域が確認されています。

福德岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられます。しかし、最近でも変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性ががあります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、活発な噴火活動がみられました。今期間は噴火¹⁾が17回発生し、このうち5回が爆発³⁾でした。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で7合目まで達し、噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上2,200mまで上がりました。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられ、火山ガス放出量は概ね多い状態であることから、現在、噴火活動がみられている南岳山頂火口を中心に、今後も活発な噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的には継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が継続しています。

地殻変動観測では、島の西側やや深部において、マグマの蓄積量のわずかな増加と推定される変動がみられていましたが、11月頃からその変動は停滞しています。また、島の西側で発生していると推定される火山性地震も11月頃から減少しています。

御岳火口中心から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

（1）主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2022年5月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月12日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替 2022年6月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	海德海山	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年8月23日噴火警報（周辺海域警戒）
	噴火浅根	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・ 南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制）

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳) (つづき)		2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年8月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年5月25日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月29日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年9月17日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年7月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）

注）特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（*印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

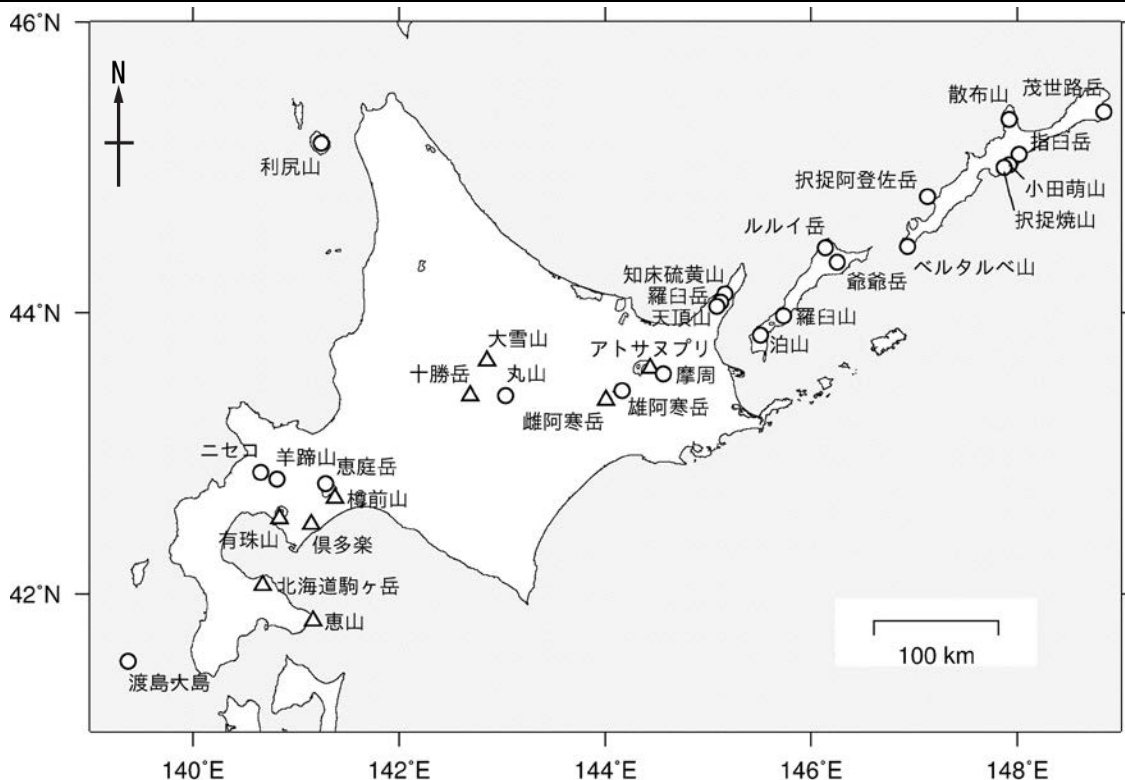
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和4年11月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（11月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡 例

噴火警戒レベル対象火山

▲：噴火警報発表中

△：噴火予報発表中

噴火警戒レベル対象外の火山

●：噴火警報発表中

○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（11月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測では、2022 年8月頃から山体の浅部及び深部の膨張を示すと考えられるわずかな地殻変動がみられています。ポンマチネシリ 96-1 火口付近浅部では8月頃から地下の熱活動の高まりを示すと考えられる全磁力変化が観測されており、火山性地震の一時的な増加も時々みられています。各火口の噴煙・噴気活動には特段の変化はみられていませんが、今後の火山活動の推移には注意が必要です。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2021 年頃から GNSS 観測点で山体浅部の収縮を示すと考えられる地殻変動が観測されており、62-2 火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では噴煙・噴気の量が増加した状態が続いています。浅部の熱活動は引き続き活発な状態ですので、今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和4年11月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（11月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（11月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測及び干渉 SAR 解析では、2020 年中頃から八幡平・秋田焼山周辺で膨張性の地盤変動がみられ、その推移に留意する必要がありますが、秋田焼山の地震活動や地熱域等の表面現象に特段の変化はみられません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、2017年9月以降、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しています。そのうち
めだけ
女岳付近では地熱活動も継続的に認められますので、中長期的な火山活動の活発化に留意してください。



鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

大穴火口浅部の緩やかな膨張を示す変化は、8月下旬頃から停滞しており、顕著な火山活動の活発化は認められませんが、今期間は火山性地震がやや多い状態で経過し、また大穴火口周辺地下の温度上昇を示唆する変化等が引き続きみられますので、今後の火山活動の推移に留意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、主に山頂付近を震源とする火山性地震がやや多い状態で経過しましたが、地震活動以外の火山活動に特段の変化は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

管内月間火山概況（令和4年11月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（11月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	海德海山※、噴火浅根※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（11月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2021年1月下旬以降、低調な状態で推移していた地震活動は、2022年4月以降さらなる低下がみられます。また、最近では湯釜付近浅部の明瞭な地殻変動及び温度上昇も認められません。これらのことから火山活動は、短期的には静穏な状況であると考えられます。しかし、湯釜付近の浅部の熱水活動は継続していることから、中長期的には再活発化も考えられます。今後も火山活動の推移に十分注意が必要です。

湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震、噴煙量及び火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね少ない状態で経過しています。深部からのマグマ上昇と考えられる浅間山の西側での膨張を示す地殻変動は認められません。

浅間山の火山活動は低下した状態ですが、今後も火口から500mの範囲に影響を及ぼす程度のごく小規模な噴火の可能性がありますので、地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。突発的な火山灰噴出や火山ガス等に注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動もみられませんが、立山地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

焼岳では、山頂付近の微小な地震は、少ない状態で推移しています。山頂付近の噴気の状況に変化は認められません。

ただし、GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張の可能性のある変化は継続しており、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきている可能性がありますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

今期間、地震活動は低調に経過しました。地殻変動も停滞しており、火山活動は静穏な状態に戻る傾向が続いています。

ただし、地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に引き続き注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に従い、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されていません。

ただし、大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる長期的な島全体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

三宅島では、GNSS連続観測で山体深部の膨張を示す伸びが続いています。2019年4月頃からみられる、山体浅部の膨張を示すと考えられる伸びの傾向は2022年に入り停滞傾向に変化していますが、火山活動は依然として徐々に高まりつつあると考えられます。

現在も、主火孔の噴煙活動は弱いながらも続いており、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があります。山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

山頂火口内に噴気が認められており、火山活動は継続しています。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、引き続き、変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

噴火浅根〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、気象衛星ひまわりでは噴火は認められていません。

引き続き、噴火浅根の周辺海域では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、硫黄島及びその周辺海域で噴火は観測されなかったものの、今年7月上旬から8月上旬にかけてと10月前半に、翁浜沖でマグマ噴出によると推定される小規模な噴火が観測されました。

島全体の隆起を示す地殻変動は長期的に継続しており、このような中でマグマ噴出が初めて観測されたことから、今後、火山活動が高まる可能性もあり、活動の推移に注意が必要です。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、変色水域が確認されています。

福徳岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられます。しかし、最近でも変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

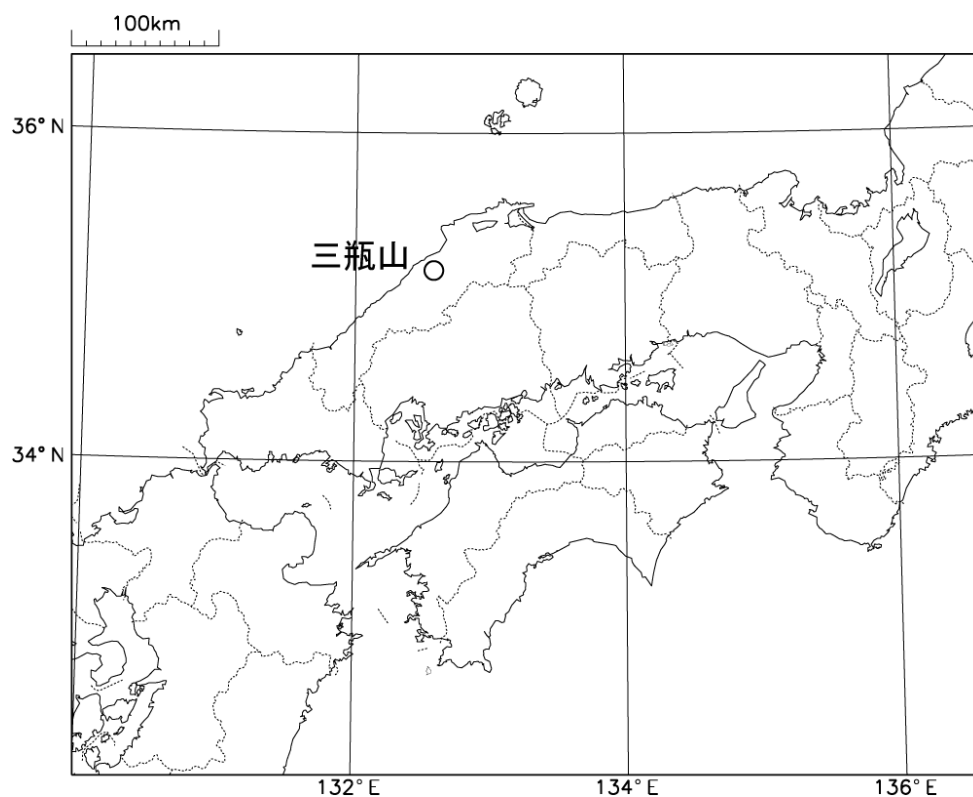
管内月間火山概況（令和4年11月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

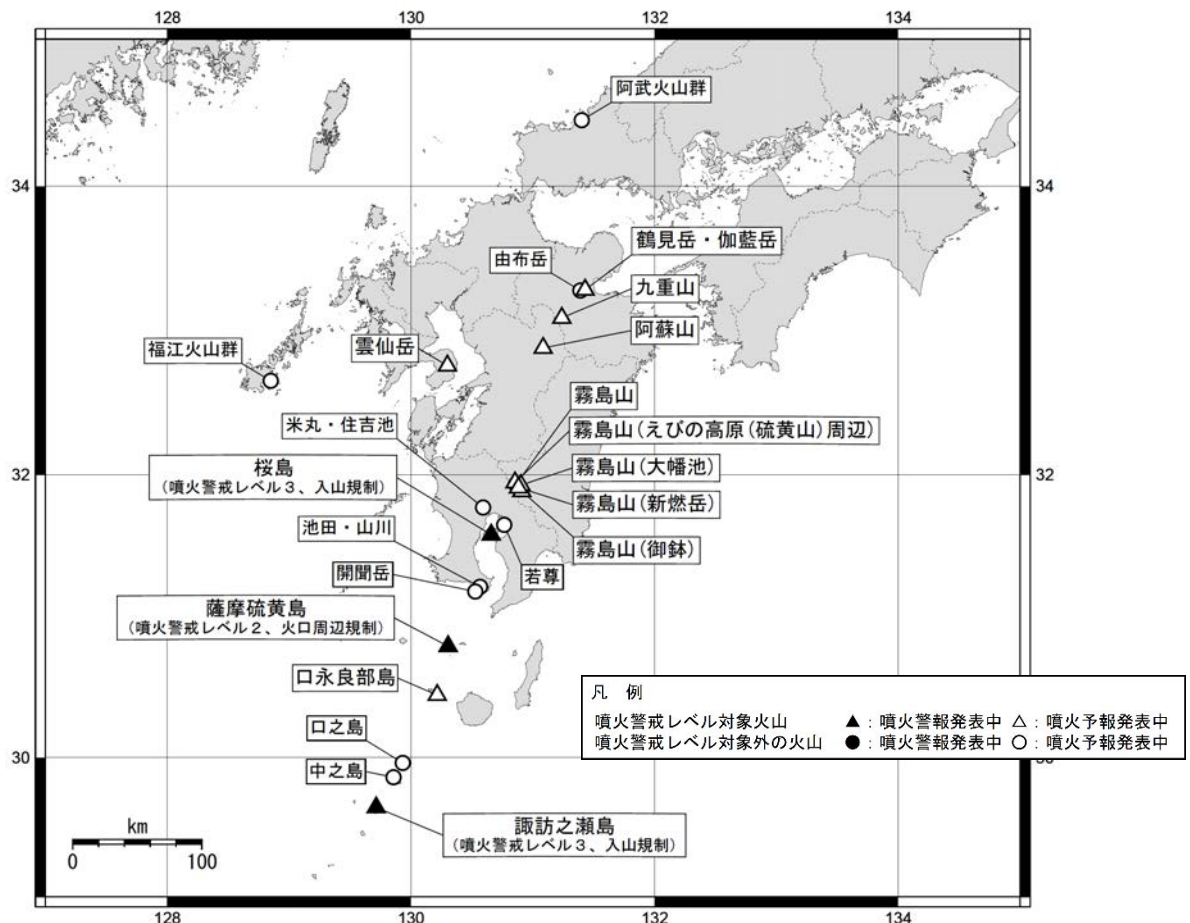
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和4年11月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和4年11月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、諏訪之瀬島
	レベル2（火口周辺規制）	薩摩硫黄島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、口永良部島
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（11月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

つるみだけ がらんだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、B型地震¹⁾が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

くじゅうさん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態であり、噴気地帯の状況にも特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化がみられています。今後の火山活動に留意してください。

あそさん 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

阿蘇山では、火山活動は低下した状態で推移しています。

火山性微動の振幅は小さい状態で経過しました。また火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない状態でした。

GNSS 連続観測では、9月頃から広域の基線で縮みの傾向がみられており、深部のマグマだまりへのマグマの蓄積は進行していないものと考えられます。

火口内では、土砂や火山灰を噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2km付近を震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

きりしまやま こうげん いおうやま しゅうへん 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では活発な噴気活動が続いていますが、11月中旬頃から噴気活動に高まりがみられます。火山性地震は少ない状態で経過していますが、11月以降わずかな増加傾向が認められます。なお、GNSS 連続観測では、硫黄山近傍の基線長には特段の変化はみられていません。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

きりしまやま おおはたいけ 霧島山（大幡池） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

きりしまやま しんもえだけ 霧島山（新燃岳） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。

GNSS 連続観測では、霧島山を挟む基線において、2021年12月頃から、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる伸びが認められましたが、7月頃から停滞しています。

火山活動は低下した状態であり噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、新燃岳火口内、火口縁及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

きりしまやま おはち
霧島山（御鉢）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

さくらじま
桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、活発な噴火活動がみられました。今期間は噴火²⁾が17回発生し、このうち5回が爆発³⁾でした。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で7合目まで達し、噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上2,200mまで上がりました。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられ、火山ガス放出量は概ね多い状態であることから、現在、噴火活動がみられている南岳山頂火口を中心に、今後も活発な噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつまいおうじま
薩摩 硫黄島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的には継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

くちのえらぶじま
口永良部島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震は1日数回程度と概ね少ない状態で経過しており、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も少ない状態が続いています。また、GNSS連続観測では、2021年5月以降、特段の変化は認められません。

口永良部島では、火山活動は低下しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低いと考えられます。

活火山であることから、新岳火口内、西側割れ目付近では、高温の噴気や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま
諏訪之瀬島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が継続しています。

地殻変動観測では、島の西側やや深部において、マグマの蓄積量のわずかな増加と推定される変動がみられていましたが、11月頃からその変動は停滞しています。また、島の西側で発生していると推定される火山性地震も11月頃から減少しています。

御岳火口中心から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和4年11月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

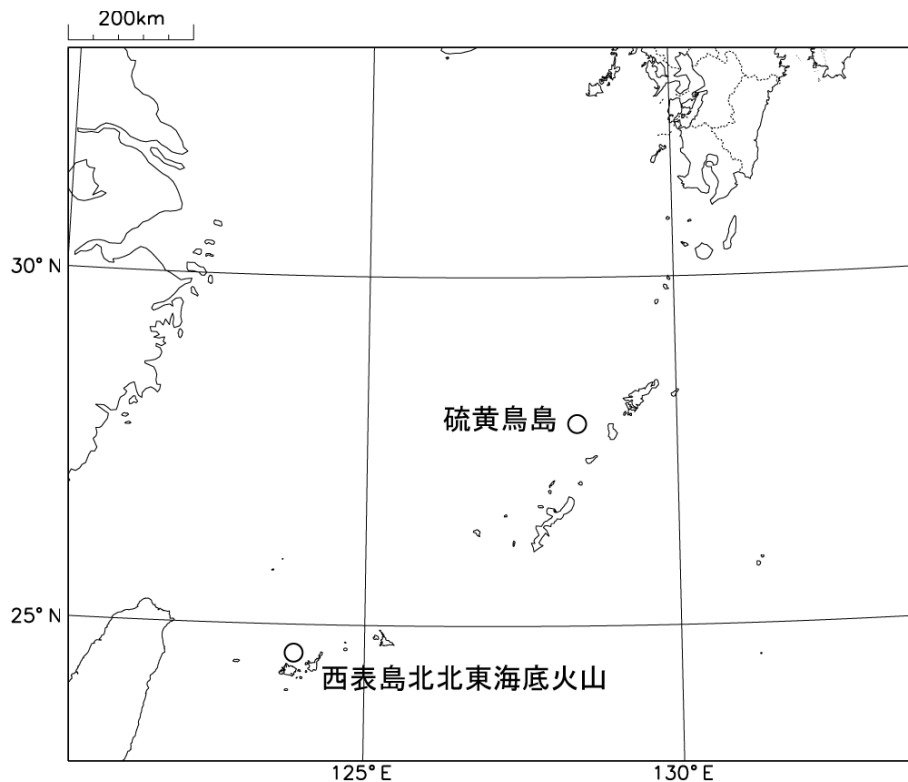
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表 令和4年11月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第98号～105号	4日、7日、11日、14日、18日、21日、25日、28日 16時00分	噴火活動が継続。南岳山頂火口の噴火、爆発の発生、噴煙、火映、大きな噴石飛散の状況。現地調査による火山ガス(二酸化硫黄)放出量。火山性地震、微動の発生状況。始良カルデラ地下のマグマ蓄積の状況。
		降灰予報(速報)	20日 20時11分 21日 13時45分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	20日 20時26分 21日 13時55分	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第97号～104号	4日、7日、11日、14日、18日、21日、25日、28日 16時00分	噴火活動が継続。噴煙、火映、大きな噴石飛散、降灰の状況。火山性地震、微動の発生状況。島の西側深部のマグマの蓄積の状況。
		降灰予報(速報)	4日 01時51分 17日 04時44分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	1日 09時56分 3日 16時00分 4日 02時02分 17日 04時56分	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第45号～48号	7日、14日、21日、28日 16時00分	噴煙、火映、火山性地震、地殻変動等の火山活動の状況。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。

● 世界の主な地震

令和4年（2022年）11月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

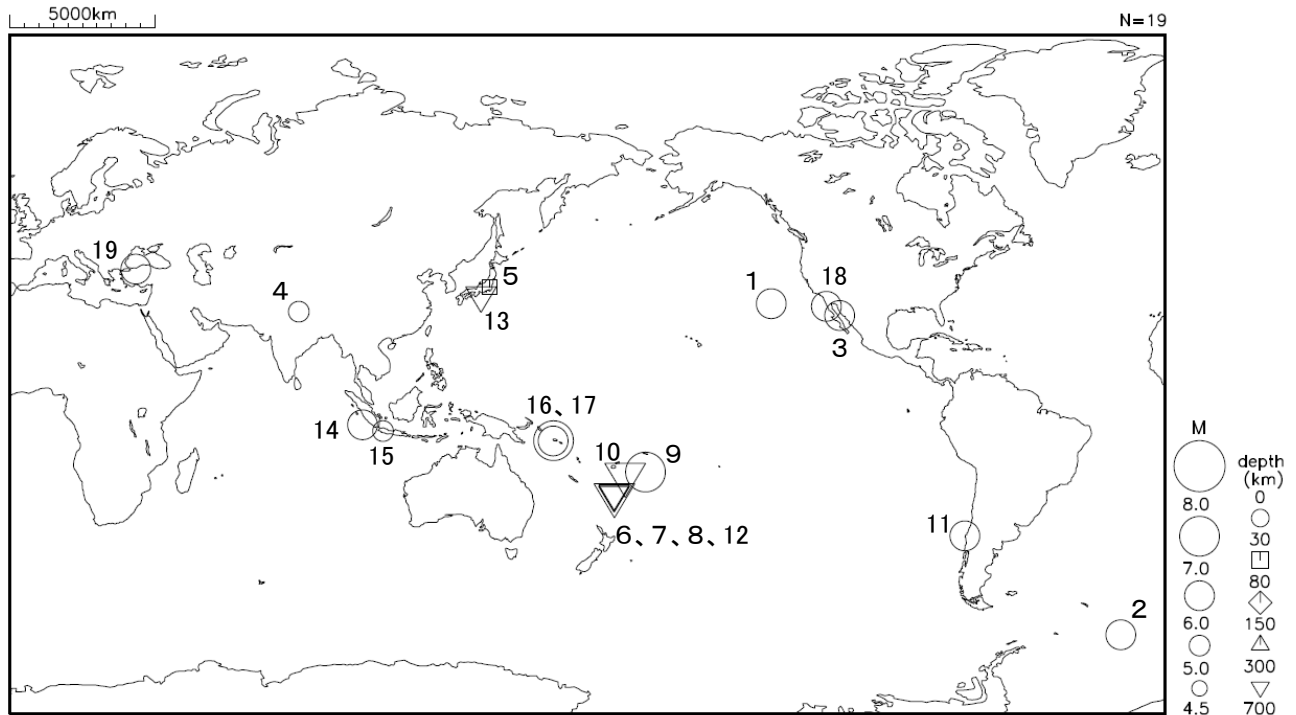


図1 令和4年（2022年）11月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和4年（2022年）11月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	11月02日13時53分	N31° 30.7′	W133° 21.8′	10			6.0	北太平洋			
2	11月02日23時17分	S60° 47.0′	W 25° 46.6′	25			6.1	サウスサンドウィッチ諸島			
3	11月04日19時02分	N28° 09.5′	W112° 18.3′	10			6.1	メキシコ、カリフォルニア湾			
4	11月09日05時27分	N29° 17.7′	E 81° 09.8′	15			5.7	ネパール	死者6人、負傷者8人		
5	11月09日17時40分	N36° 11.2′	E140° 01.6′	51		4.9	(4.8)	茨城県南部	軽傷1人		
6	11月09日18時38分	S26° 00.4′	E178° 16.6′	630			6.8 _g	フィジー諸島南方			
7	11月09日18時51分	S26° 05.4′	E178° 20.5′	660			7.0 _g	フィジー諸島南方			○
8	11月09日19時14分	S25° 34.6′	E178° 15.6′	624			6.6 _g	フィジー諸島南方			
9	11月11日19時48分	S19° 19.0′	W172° 06.0′	25			(7.3)	トンガ諸島	津波観測0.12m（バゴバゴ）		○
10	11月12日16時09分	S20° 05.5′	W178° 20.5′	587			(6.9)	フィジー諸島			
11	11月13日11時24分	S37° 27.3′	W 73° 44.5′	18			6.2	チリ中部沿岸			
12	11月14日14時04分	S26° 02.5′	E178° 13.5′	627			6.0 _g	フィジー諸島南方			
13	11月14日17時08分	N33° 50.4′	E137° 25.4′	362		6.4	(6.1)	三重県南東沖			
14	11月18日22時37分	S 4° 54.2′	E100° 47.1′	25			6.9	インドネシア、スマトラ南西方			
15	11月21日15時21分	S 4° 51.1′	E107° 56.7′	10			5.6 _g	インドネシア、ジャワ	少なくとも死者334人など		
16	11月22日11時03分	S 9° 48.5′	E159° 35.6′	14			(7.0)	ブーゲンビル-ソロモン諸島	津波観測0.03m（ホニアラ）	○	○
17	11月22日11時37分	S 9° 53.6′	E159° 28.2′	10			6.0	ブーゲンビル-ソロモン諸島			
18	11月23日01時39分	N30° 47.0′	W116° 23.3′	10			6.2	メキシコ、バハカリフォルニア州			
19	11月23日10時08分	N40° 50.1′	E 30° 58.9′	10			6.1	トルコ	負傷者80人など		

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2022年12月7日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による (12日16時09分のフィジー諸島の地震については速報値)。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- 被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2022年12月6日現在)、国内は総務省消防庁による。
- 地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。
- 津波の観測値は、米国海洋大気庁 (NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration) による。

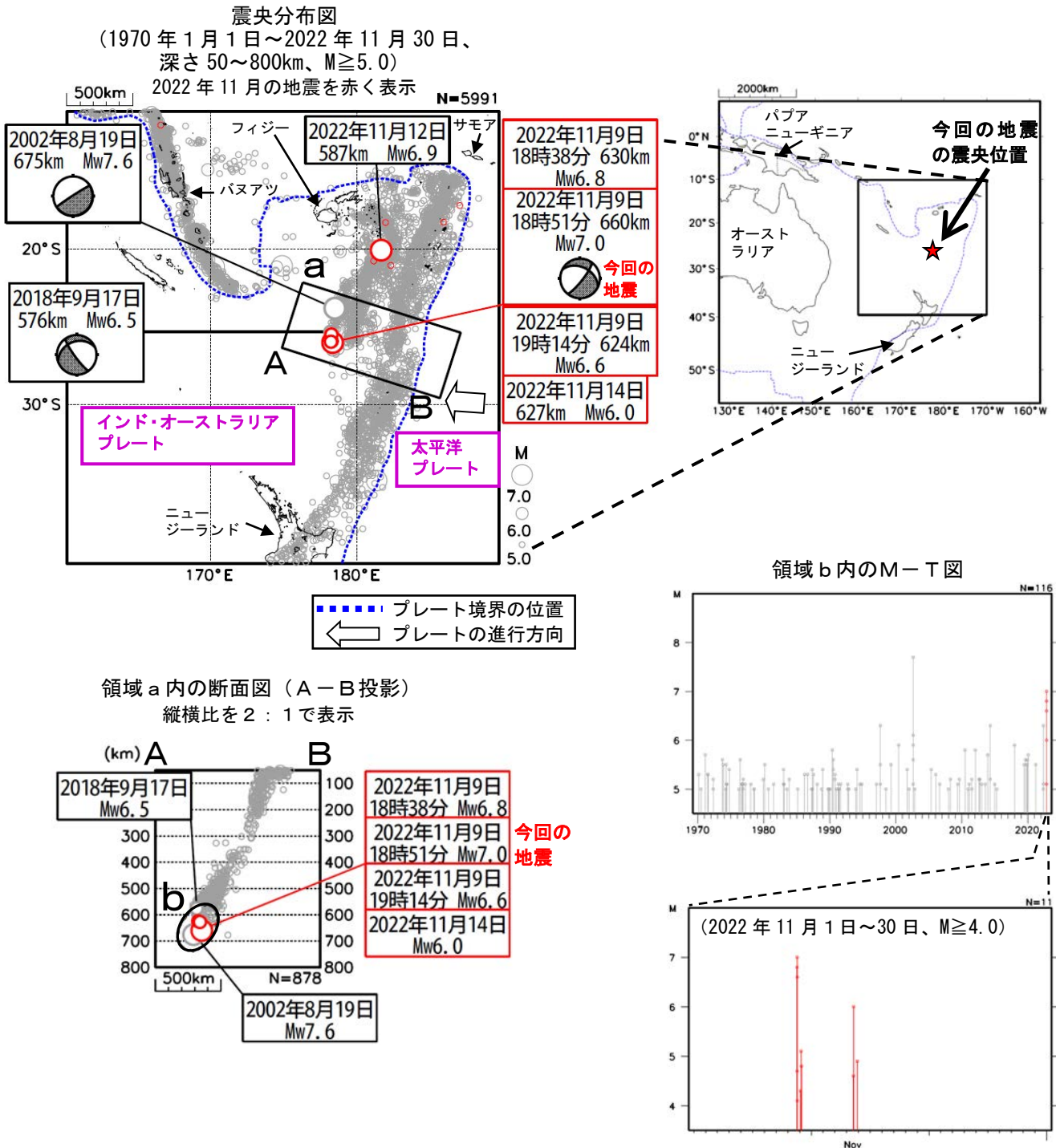
11月9日 フィジー諸島南方の地震

2022年11月9日18時51分（日本時間、以下同じ）にフィジー諸島南方の深さ660kmでMw7.0（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震は太平洋プレート内部の深いところで発生した。この地震の発震機構（Global CMTによるCMT解）は、太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

気象庁は、この地震に対して同日19時20分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

今回の地震の震源付近（領域b）では、今回の地震の発生前後で活発な地震活動があり、同日18時38分にはMw6.8、同日19時14分にはMw6.6、14日14時04分にはMw6.0の地震が発生するなど、M6.0以上の地震が4回発生した。

1970年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、今回の地震活動が発生するまでにM6.0以上の地震は6回発生している。2002年8月19日にはMw7.6の地震が発生した。



※震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2022年12月7日現在）。ただし、発震機構及びMwは、2022年11月12日の地震は気象庁（速報値）、その他の地震はGlobal CMTによる。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

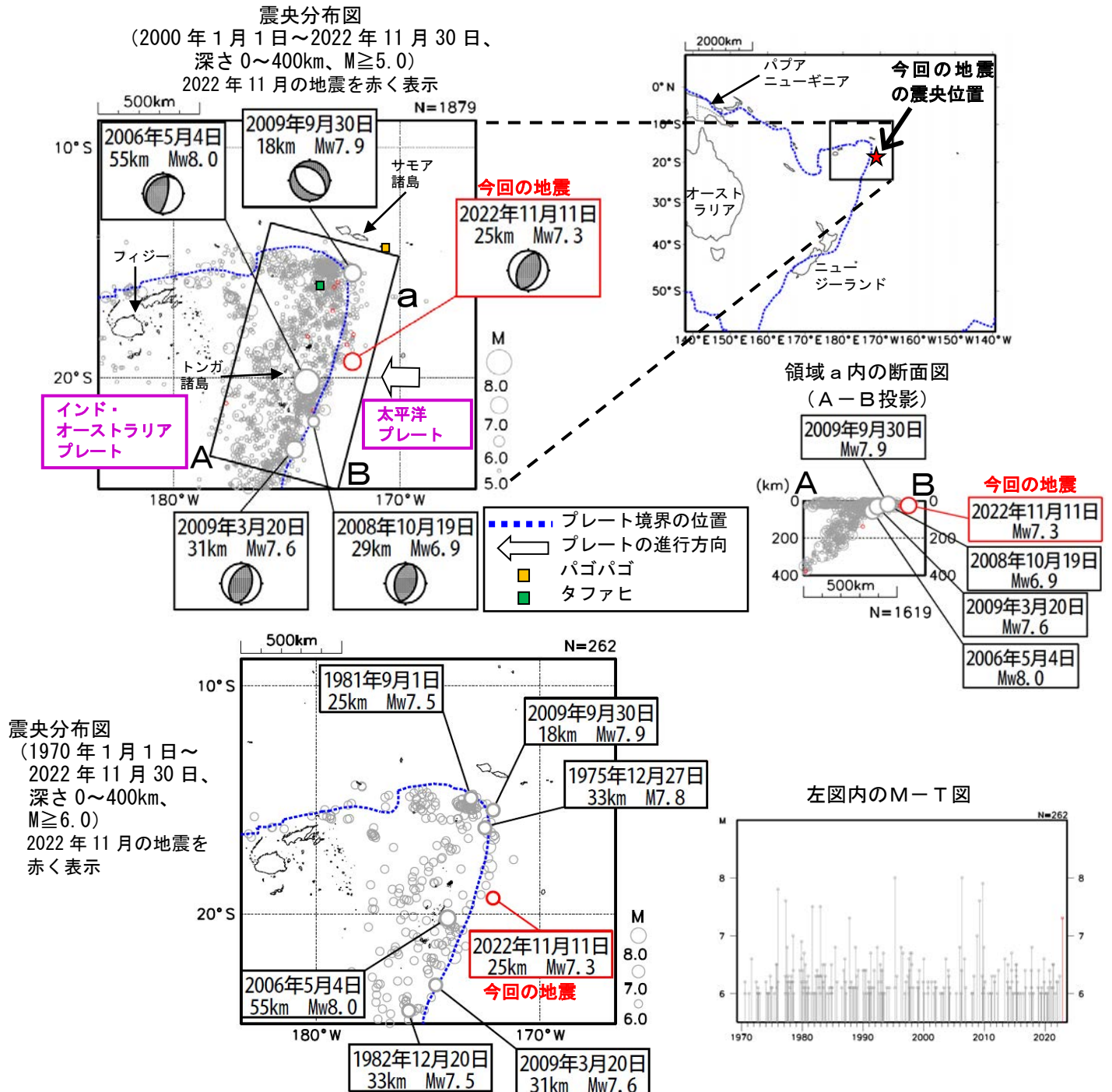
11月11日 トンガ諸島の地震

2022年11月11日19時48分（日本時間、以下同じ）にトンガ諸島の深さ25kmでMw7.3（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。今回の地震の震央付近（領域a）では、太平洋プレートがインド・オーストラリアプレートの下に沈み込んでいる。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレート内部で発生した地震であると考えられる。

気象庁は、この地震に対して、同日20時37分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、米国領サモアのパゴパゴで0.12mなどの津波を観測した。

2000年以降の活動をみると、今回の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が度々発生している。2009年9月30日にはMw7.9の地震が発生し、死者192人以上などの被害を生じた。また、日本を含む太平洋広域で津波を観測し、トンガ諸島のタファヒでは最大22.35m（遡上高）を観測した。

1970年以降の活動をみると、今回の震央周辺では、M7.0以上の地震が時々生じている。



※震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2022年12月7日現在）。ただし、発震機構とMwは、今回及び2009年9月30日の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）より引用。2009年9月30日の地震の被害は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」、津波の観測値は米国海洋大気庁（NOAA）による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

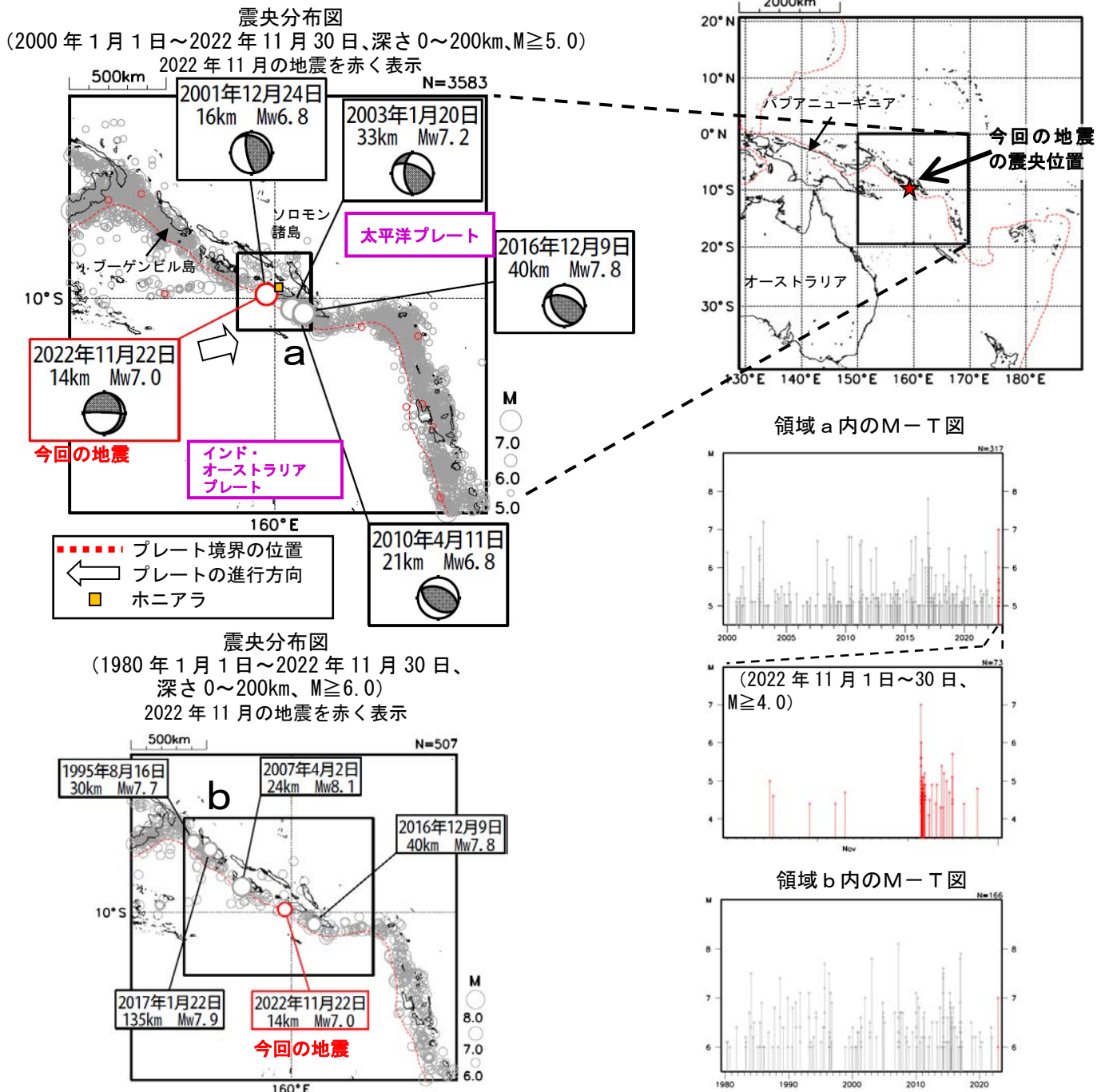
11月22日 ブーゲンビルーソロモン諸島の地震

2022年11月22日11時03分（日本時間、以下同じ）にブーゲンビルーソロモン諸島の深さ14kmでMw7.0（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、北北東－南南西方向に圧力軸を持つ型である。この地震の発生後、同日11時37分にはMw6.0の地震が発生するなど、地震活動が活発になった。

気象庁は、この地震に対して、同日11時23分に北西太平洋津波情報を、同日11時29分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、ソロモン諸島のホニアラで0.03mの津波を観測した。

2000年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、インド・オーストラリアプレートの沈み込みに伴い、地震活動が活発である。2016年12月9日にはMw7.8の地震が発生し、死者1人の被害を生じたほか、ニューカレドニア島のヤンゲンで0.43mの津波を観測した。

1980年以降の活動をみると、今回の震源付近（領域b）では、M7.0以上の地震が度々発生している。2007年4月2日にはMw8.1の地震が発生し、津波が発生したほか、死者54人などの被害を生じた。



※震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2022年12月7日現在）。ただし、発震機構とMwは、2010年4月11日、2016年12月9日、2017年1月22日及び今回の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。2016年12月9日の地震及び今回の地震の津波の観測値は米国海洋大気庁（NOAA）、被害はOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）による。2007年4月2日の地震の被害は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

令和4年（2022年）11月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和4年（2022年）11月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。

●特集. 2022年11月21日 インドネシア、ジャワの地震

（1）概要及び最近の地震活動（注1）

2022年11月21日15時21分（日本時間、以下同じ）にインドネシア、ジャワの深さ10kmでMw5.6の地震（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（Global CMTによる）は、北東－南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

今回の地震により、インドネシアで少なくとも死者334人などの被害が生じた。

今回の地震の震央周辺（図1-1の領域a）では、北東側のユーラシアプレートに対して、南西側にあるインド・オーストラリアプレートが北北東方向に移動して沈み込んでおり、地震活動が非常に活発である（図1-1、図1-2）。今回の地震の震央付近（図1-1の領域b）では、M5程度の地震が時々発生している（図1-3）。

2000年以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（図1-1の領域a）ではM6.0以上の地震が時々発生しており、2006年5月27日にはMw6.4の地震が発生し、死者5,749人、負傷者38,568人などの被害が生じた。また、2006年7月17日もMw7.7の地震が発生し、死者665人、負傷者9,275人などの被害を生じた。

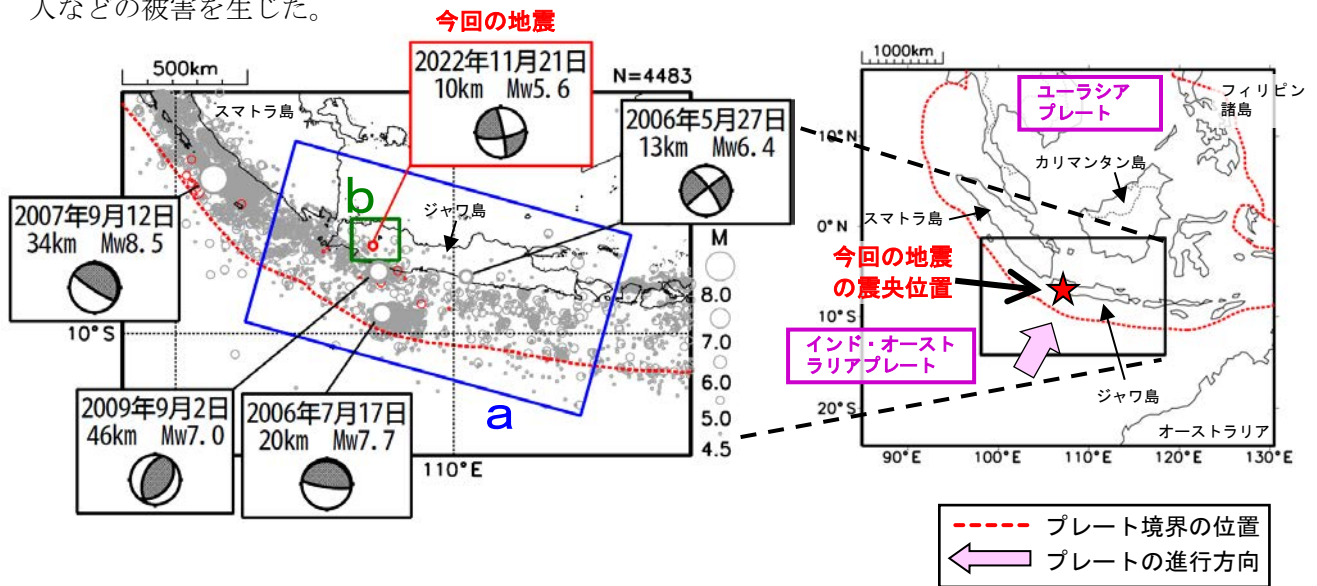


図1-1 震央分布図（2000年1月1日～2022年11月30日、深さ0～100km、 $M \geq 6.0$ ）
2022年11月の地震を赤く表示。

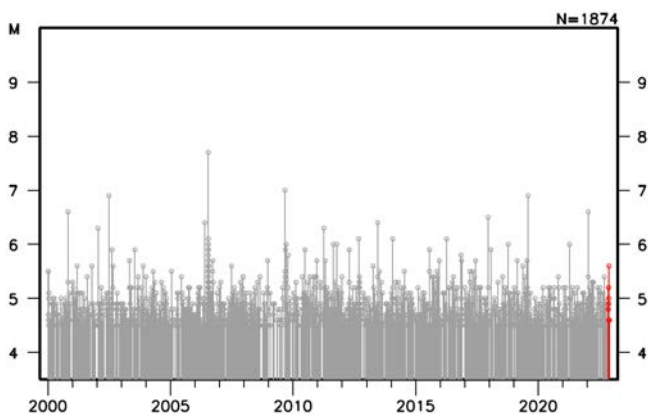


図1-2 図1-1の領域a内のM-T図

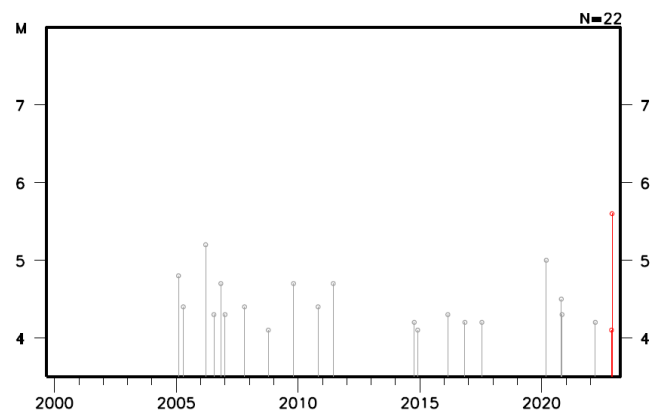


図1-3 図1-1の領域b内のM-T図
（深さ0～30km、 $M \geq 4.0$ ）

（注1）震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2022年12月7日現在）。ただし、発震機構とMwは、2009年9月2日の地震は気象庁、それ以外の地震はGlobal CMTによる。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2022年12月6日現在）、その他の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

（2）今回の地震の発震機構（注2）

今回の地震の震央周辺の発震機構の分布をみると、インド・オーストラリアプレートの沈み込みに伴い、逆断層型の地震が多く発生している（図2-1）。また、ジャワ島内陸部で発生する地震を含めて、概ね北北東-南南西方向に圧力軸を持つ型が多い（図2-2）。今回の地震の発震機構の圧力軸の向きは北東-南西方向であり、その傾向と調和的である。

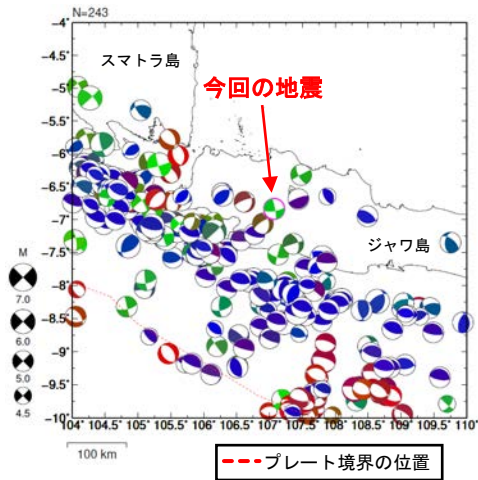


図2-1 図1-1の発震機構分布図
（1980年1月1日～2022年
11月30日、深さ0～100km、
 $M \geq 4.5$ ）

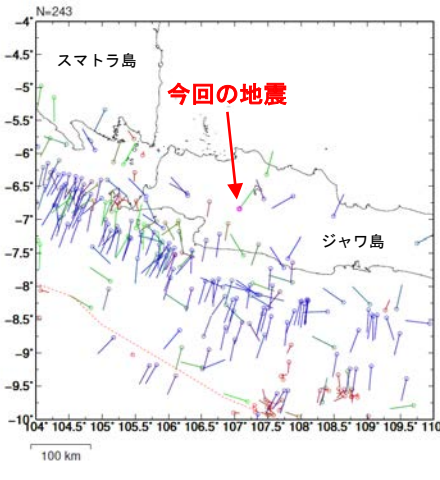


図2-2 図2-1の発震機構の
圧力軸の向きの分布

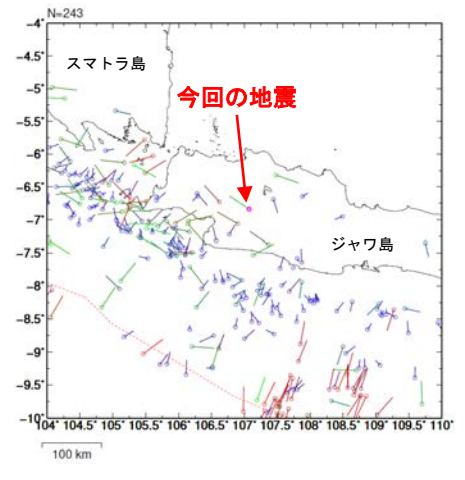


図2-3 図2-1の発震機構の
張力軸の向きの分布

（3）過去に発生した主な地震（注3）

1904年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、 $M7.0$ 以上の地震が度々発生しており、死者1,000人以上となるような大きな被害をもたらす地震が多く発生している（図3-1、図3-2）。

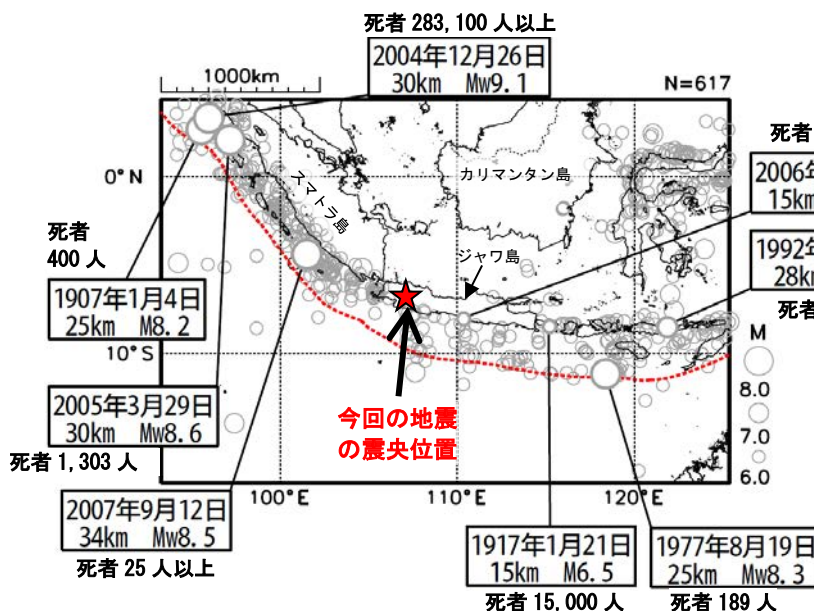


図3-1 震央分布図（1904年1月1日～2022年11月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$ ）
2022年11月の地震を濃く表示。吹き出しは $Mw8.0$ 以上
または被害が死者1,000人以上の地震。

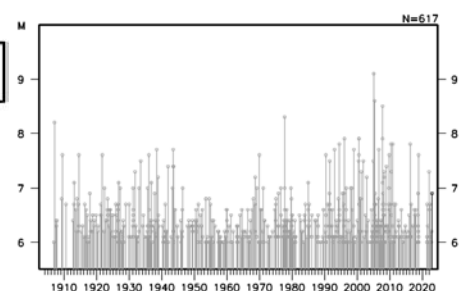


図3-2 図3-1のM-T図

（注2）震源要素及び発震機構はGlobal CMTによる。震源の位置はセントロイドの位置。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）より引用。

（注3）震源要素は、2018年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 9.1（1904-2018）、2019年以降は米国地質調査所（USGS）による（2022年12月7日現在）。ただし吹き出しを付けた地震の Mw は、2004年12月26日の地震はUSGS、それ以外の地震はGlobal CMTによるモーメントマグニチュード。地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和4年11月中に震度1以上を観測した地震は147回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成25年12月 地震・火山月報（防災編）の付録2参照）を記す。なお、*のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 00 55	京都府南部 京都府	34° 57.4' N	135° 39.4' E	8km	M: 2.6 1 京都西京区大枝*=1.2 宇治市宇治琵琶=0.9 亀岡市安町=0.7 久御山町田井*=0.7
2	1 03 20	宮城県沖 岩手県	38° 38.4' N	141° 54.3' E	47km	M: 3.4 1 一関市千厩町*=0.5
3	1 05 52	秋田県内陸北部 秋田県	40° 01.6' N	140° 35.8' E	6km	M: 2.9 1 北秋田市新田目*=0.5
4	1 14 18	島根県東部 鳥取県 島根県 広島県	35° 12.0' N	133° 02.8' E	8km	M: 3.4 2 日南町生山*=1.6 1 日南町霞*=1.2 江府町江尾*=0.9 鳥取日野町根雨*=0.8 2 奥出雲町三成*=2.1 雲南市吉田町吉田*=1.5 雲南市大東町大東=1.5 1 奥出雲町横田*=1.4 飯南町頓原*=1.2 雲南市掛合町掛合*=1.1 雲南市木次町里方*=0.7 雲南市加茂町加茂中*=0.6 1 庄原市高野町*=0.9 庄原市西城町大佐*=0.8 神石高原町油木*=0.6
5	1 17 30	与那国島近海 沖縄県	24° 41.9' N	122° 32.0' E	106km	M: 4.7 1 与那国町久部良=1.0
6	2 03 30	石川県能登地方 石川県	37° 30.1' N	137° 13.2' E	11km	M: 2.8 1 珠洲市正院町*=0.8
7	2 06 05	和歌山県北部 和歌山県	34° 12.4' N	135° 10.1' E	5km	M: 1.7 1 和歌山市一番丁*=0.5
8	2 08 45	釧路沖 北海道	42° 00.7' N	144° 50.2' E	15km	M: 5.0 1 厚岸町真栄*=1.1 白糠町西1条*=0.9 標茶町塘路*=0.5
9	2 13 08	和歌山県北部 和歌山県	34° 15.4' N	135° 10.4' E	7km	M: 2.4 1 和歌山市一番丁*=0.5
10	2 17 31	福岡県北西沖 山口県	34° 15.9' N	130° 39.4' E	13km	M: 3.4 1 下関市豊浦町浄水場*=0.5
11	2 22 11	石川県能登地方 石川県	37° 30.0' N	137° 13.4' E	13km	M: 2.6 1 珠洲市正院町*=0.8
12	3 02 32	福島県中通り 福島県 栃木県 茨城県	37° 10.5' N	140° 07.1' E	7km	M: 3.6 3 白河市新白河*=2.6 白河市大信*=2.6 2 白河市郭内=2.1 西郷村熊倉*=2.1 天栄村湯本支所*=1.6 1 白河市東*=1.3 白河市八幡小路*=1.3 郡山市湖南町*=1.2 泉崎村泉崎*=1.2 玉川村小高*=1.1 鏡石町不時沼*=1.0 石川町長久保*=0.9 須賀川市八幡山*=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.8 浅川町浅川*=0.6 下郷町高降*=0.5 下郷町塩生*=0.5 2 那須町寺子*=1.8 1 栃木那珂川町馬頭*=1.0 栃木那珂川町小川*=0.8 芳賀町祖母井*=0.6 1 笠間市石井*=1.1 大子町池田*=0.8 常陸大宮市山方*=0.8 笠間市笠間*=0.6 土浦市常名=0.5
13	3 05 21	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 18.9' N	141° 55.1' E	45km	M: 3.8 1 一関市千厩町*=0.6 一関市室根町*=0.6 1 石巻市北上町*=1.0 登米市豊里町*=0.9 気仙沼市笹が陣*=0.6 石巻市雄勝町*=0.6
14	3 19 02	千葉県北西部 神奈川県 埼玉県	35° 39.5' N	140° 10.5' E	68km	M: 4.0 2 横浜神奈川区神大寺*=1.5 1 横浜神奈川区広台太田町*=1.2 横浜中区山手町=1.2 横浜中区山下町*=1.2 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.0 横浜磯子区洋光台*=0.9 横浜港南区野庭町*=0.9 横浜旭区今宿東町*=0.9 横浜瀬谷区中屋敷*=0.9 横浜金沢区釜利谷南*=0.8 横浜鶴見区末広町*=0.8 川崎中原区小杉町*=0.8 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.8 横浜緑区十日市場町*=0.7 横浜港北区日吉本町*=0.7 横浜戸塚区平戸町*=0.7 横須賀市光の丘=0.6 大和市下鶴間*=0.6 相模原中央区上溝*=0.5 1 草加市中央*=0.6

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
15	3 19 04	千葉県	35° 39.6' N	140° 11.3' E	68km	M: 4.9
		東京都				
		静岡県				
		千葉県北西部 茨城県				
		埼玉県				
		千葉県				

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
		野田市東宝珠花＊=2.0 成田国際空港=2.0 成田市名古屋=2.0 鴨川市横渚＊=1.9 香取市岩部＊=1.9 成田市役所＊=1.9 成田市猿山＊=1.9 旭市南堀之内＊=1.9 南房総市富浦町青木＊=1.9 南房総市谷向＊=1.9 我孫子市我孫子＊=1.9 香取市佐原平田=1.9 いすみ市大原＊=1.8 成田市松子＊=1.8 柏市大島田＊=1.8 香取市仁良＊=1.8 館山市長須賀=1.8 匝瑳市今泉＊=1.7 香取市佐原諏訪台＊=1.7 酒々井町中央＊=1.7 勝浦市墨名=1.6 鴨川市八色=1.6 旭市高生＊=1.6 旭市萩園＊=1.5 旭市ニ＊=1.5 1 匝瑳市八日市場＊=1.4 勝浦市新官＊=1.4 東庄町笹川＊=1.3 南房総市上堀=1.3 御宿町須賀＊=1.1 南房総市和田町＊=1.1 南房総市千倉町瀬戸＊=1.1 鴨川市内浦=1.0 南房総市久枝＊=0.9 銚子市小畑新町=0.8 銚子市川口町=0.7 3 東京足立区神明南＊=3.2 東京葛飾区金町＊=3.2 東京練馬区豊玉北＊=3.1 東京江戸川区鹿骨＊=3.0 東京葛飾区立石＊=2.9 東京江戸川区中央=2.9 東京中央区勝どき＊=2.9 東京江戸川区船堀＊=2.8 町田市本町田＊=2.8 東京世田谷区三軒茶屋＊=2.8 東京荒川区東尾久＊=2.8 八王子市堀之内＊=2.7 東京渋谷区本町＊=2.7 東京杉並区桃井＊=2.7 東京北区赤羽南＊=2.7 調布市西つつじヶ丘＊=2.6 小平市小川町＊=2.6 東京北区西ヶ原＊=2.6 東京江東区森下＊=2.6 東京文京区大塚＊=2.5 東京台東区千束＊=2.5 東京墨田区東向島＊=2.5 東京江東区越中島＊=2.5 東京国際空港=2.5 東京世田谷区成城＊=2.5 東京中野区中野＊=2.5 東京荒川区荒川＊=2.5 東京板橋区相生町＊=2.5 東京足立区伊興＊=2.5 東京千代田区大手町=2.5 東京新宿区上落合＊=2.5 2 東京墨田区吾妻橋＊=2.4 東京大田区本羽田＊=2.4 東京足立区千住中居町＊=2.4 町田市森野＊=2.4 東京中央区築地＊=2.3 東京文京区スポーツセンタ＊=2.3 東京文京区本郷＊=2.3 東京江東区東陽＊=2.3 東京品川区平塚＊=2.3 東京杉並区高井戸＊=2.3 東京板橋区板橋＊=2.3 西東京市中町＊=2.2 東京港区海岸=2.2 東京台東区東上野＊=2.2 東京江東区枝川＊=2.2 東京品川区北品川＊=2.2 東京目黒区中央町＊=2.2 東京大田区多摩川＊=2.2 東京世田谷区世田谷＊=2.2 東京豊島区南池袋＊=2.2 東京新宿区百人町＊=2.1 東京墨田区横川=2.1 東京江東区亀戸＊=2.1 東京渋谷区宇田川町＊=2.1 東京中野区中央＊=2.1 東京板橋区高島平＊=2.1 町田市忠生＊=2.1 国分寺市戸倉=2.1 稲城市東長沼＊=2.1 東京千代田区富士見＊=2.1 東京中央区日本橋兜町＊=2.0 狛江市和泉本町＊=2.0 東大和市中央＊=2.0 多摩市関戸＊=2.0 東京江東区青海=2.0 東京中野区江古田＊=2.0 調布市小島町＊=1.9 小金井市本町＊=1.9 日野市神明＊=1.9 東村山市本町＊=1.9 国分寺市本多＊=1.9 東京千代田区麴町＊=1.9 東京港区白金＊=1.9 東京練馬区東大泉＊=1.9 東京練馬区光が丘＊=1.9 東京足立区中央本町＊=1.9 東京府中市朝日町＊=1.9 東京世田谷区中町＊=1.8 東京港区芝公園＊=1.8 東京港区南青山＊=1.8 東京新宿区西新宿=1.8 多摩市鶴牧＊=1.7 東京新宿区歌舞伎町＊=1.7 武蔵野市吉祥寺東町＊=1.7 八王子市石川町＊=1.6 武蔵野市緑町＊=1.6 三鷹市野崎＊=1.6 東京品川区広町＊=1.6 東京大田区蒲田＊=1.6 あきる野市伊奈＊=1.5 八王子市大横町=1.5 東京大田区大森東＊=1.5 東京府中市寿町＊=1.5 昭島市田中町＊=1.5 東京杉並区阿佐谷=1.5 1 東村山市美住町＊=1.4 国立市富士見台＊=1.4 清瀬市中清戸＊=1.4 武蔵村山市本町＊=1.4 青梅市日向和田＊=1.4 伊豆大島町差木地=1.2 伊豆大島町波浮港＊=1.2 伊豆大島町元町=1.1 立川市泉町＊=1.1 清瀬市中里＊=1.1 瑞穂町箱根ヶ崎＊=1.1 東京利島村東山=0.9 三宅村神着=0.8 福生市熊川＊=0.8 青梅市東青梅=0.8 日の出町平井＊=0.8 檜原村本宿＊=0.8 羽村市緑ヶ丘＊=0.7 新島村大原=0.6 三宅村坪田=0.6 3 横浜神奈川区神大寺＊=3.0 横浜青葉区榎が丘＊=3.0 横浜緑区十日市場町＊=2.9 川崎川崎区宮前町＊=2.9 横浜神奈川区広台太田町＊=2.8 愛川町角田＊=2.8 横浜港北区日吉本町＊=2.7 横浜旭区川井宿町＊=2.7 横浜青葉区市ヶ尾町＊=2.7 川崎中原区小杉町＊=2.7 相模原中央区上溝＊=2.7 横浜鶴見区末広町＊=2.6 横浜中区山下町＊=2.6 横浜保土ヶ谷区上菅田町＊=2.6 横浜緑区鴨居＊=2.6 横浜瀬谷区中屋敷＊=2.6 横浜瀬谷区三ツ境＊=2.6 横浜都筑区池辺町＊=2.6 横浜鶴見区馬場＊=2.5 横浜旭区今宿東町＊=2.5 2 横浜鶴見区鶴見＊=2.4 横浜中区山手町=2.4 横浜磯子区磯子＊=2.4 横浜戸塚区鳥が丘＊=2.4 川崎麻生区片平＊=2.4 茅ヶ崎市茅ヶ崎=2.4 三浦市城山町＊=2.4 厚木市中町＊=2.4 相模原南区相模大野＊=2.4 相模原緑区久保沢＊=2.4 川崎川崎区中島＊=2.3 藤沢市長後＊=2.3 大和市下鶴間＊=2.3 相模原中央区中央=2.3 相模原南区磯部＊=2.3 相模原緑区大島＊=2.3 相模原緑区橋本＊=2.3 横浜西区浜松町＊=2.2 横浜中区山吹町＊=2.2 横浜磯子区洋光台＊=2.2 横浜金沢区白帆＊=2.2 横浜港南区野庭町＊=2.2 横浜旭区大池町＊=2.2 横浜泉区岡津町＊=2.2 川崎川崎区千鳥町＊=2.2 川崎宮前区宮前平＊=2.2 横須賀市光の丘=2.2 寒川町富山＊=2.2 清川村姥ヶ谷＊=2.2 横浜金沢区釜利谷南＊=2.1 横浜港北区大倉山＊=2.1 横浜旭区上白根町＊=2.1 平塚市浅間町＊=2.1 藤沢市打戻＊=2.1 箱根町湯本＊=2.1 湯河原町中央=2.1 相模原中央区水郷田名＊=2.1 川崎幸区戸手本町＊=2.0 川崎宮前区野川＊=2.0 藤沢市辻堂西海岸＊=2.0 逗子市桜山＊=2.0 海老名市大谷＊=2.0 厚木市下津古久＊=2.0 中井町比奈窪＊=2.0 横浜中区日本大通＊=2.0 相模原緑区中野＊=2.0 横浜戸塚区平戸町＊=2.0 川崎中原区小杉陣屋町=1.9 横浜西区みなとみらい＊=1.9 二宮町中里＊=1.9 小田原市荻窪＊=1.9 神奈川大井町金子＊=1.9 横浜港北区綱島西＊=1.9 横浜港南区丸山台北部＊=1.9 横浜栄区小菅ヶ谷＊=1.9 横浜泉区和泉町＊=1.9 横浜都筑区茅ヶ崎＊=1.9 横須賀市坂本町＊=1.8 綾瀬市深谷中＊=1.8 秦野市曽屋=1.8 横浜戸塚区戸塚町＊=1.8 松田町松田惣領＊=1.8 横浜栄区桂台南＊=1.8 川崎高津区下作延＊=1.8 川崎多摩区登戸＊=1.8 小田原市久野=1.7 藤沢市大庭＊=1.7 横浜金沢区寺前＊=1.7 座間市相武台＊=1.7 葉山町堀内＊=1.7 横浜保土ヶ谷区神戸町＊=1.6 藤沢市朝日町＊=1.5 横浜青葉区美しが丘＊=1.5 秦野市平沢＊=1.5 山北町山北＊=1.5 1 横浜南区六ツ川＊=1.4 伊勢原市伊勢原＊=1.4 横浜南区大岡＊=1.3 川崎麻生区万福寺＊=1.3 鎌倉市御成町＊=1.3 大磯町月京＊=1.3 開成町延沢＊=1.1 真鶴町岩＊=1.1 相模原緑区小淵＊=1.1 相模原緑区与瀬＊=1.1 相模原緑区若柳=1.0 3 伊豆の国市長岡＊=2.5 2 東伊豆町奈良本＊=2.3 富士宮市野中＊=2.3 沼津市戸田＊=2.1 富士宮市弓沢町=2.1 伊豆市中伊豆グラウンド=2.0 熱海市網代=1.9 西伊豆町宇久須＊=1.8 函南町平井＊=1.8 河津町田中＊=1.7 沼津市西間門＊=1.6 御殿場市竈＊=1.6 熱海市中央町＊=1.5 伊豆の国市田京＊=1.5 富士市大淵＊=1.5 1 富士市吉永＊=1.4 小山町須走＊=1.4 東伊豆町稲取＊=1.3 熱海市泉＊=1.2 伊東市八幡野＊=1.2 御殿場市萩原=1.2 静岡清水区蒲原新栄＊=1.2 松崎町宮内＊=1.1 三島市東本町=1.1				
		東京都				
		神奈川県				
		静岡県				

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		静岡県清水町堂庭*=1.1 西伊豆町仁科*=1.0 沼津市高島本町*=1.0 富士市岩渕*=1.0 静岡県葵区駒形通*=1.0 南伊豆町下賀茂*=0.9 三島市大社町*=0.9 富士市永田町*=0.9 御殿場市茱萸沢*=0.9 長泉町中土狩*=0.9 静岡県葵区追手町市役所*=0.9 伊東市大原=0.8 沼津市原*=0.8 小山町藤曲*=0.8 静岡県葵区追手町県庁*=0.8 静岡清水区由比北田*=0.8 松崎町江奈*=0.7 富士市本市場*=0.7 伊豆市八幡*=0.6 裾野市石脇*=0.6 下田市加増野=0.6 2 市貝町市塙*=2.3 足利市大正町*=1.9 鹿沼市晃望台*=1.8 真岡市田町*=1.8 益子町益子=1.7 高根沢町石末*=1.7 下野市田中*=1.6 宇都宮市明保野町=1.6 栃木市岩舟町静*=1.6 佐野市高砂町*=1.6 真岡市荒町*=1.6 芳賀町祖母井*=1.6 壬生町壬生甲*=1.6 1 小山市神鳥谷*=1.4 下野市笹原*=1.4 鹿沼市口栗野*=1.3 日光市芹沼*=1.3 那須塩原市塩原庁舎*=1.3 栃木市旭町=1.3 佐野市葛生東*=1.2 佐野市田沼町*=1.2 日光市鬼怒川温泉大原*=1.2 栃木市藤岡町藤岡*=1.2 野木町丸林*=1.1 宇都宮市中里町*=1.1 日光市湯元*=1.1 茂木町茂木*=1.1 日光市瀬川=1.0 栃木市大平町富田*=1.0 栃木市西方町本城*=1.0 日光市藤原庁舎*=1.0 矢板市本町*=1.0 日光市足尾町中才*=0.9 日光市中宮祠=0.9 下野市大松山*=0.9 塩谷町玉生*=0.9 上三川町しらさぎ*=0.8 茂木町北高岡矢場*=0.8 鹿沼市今宮町*=0.8 栃木市万町*=0.7 日光市足尾町通洞*=0.6 栃木那珂川町小川*=0.6 佐野市中町*=0.6 宇都宮市塙田*=0.6 宇都宮市旭*=0.6 日光市黒部*=0.5 大田原市黒羽田町=0.5 群馬県 2 邑楽町中野*=1.9 渋川市赤城町*=1.8 千代田町赤岩*=1.8 大泉町日の出*=1.6 板倉町板倉=1.5 群馬明和町新里*=1.5 沼田市西倉内町=1.5 桐生市元宿町*=1.5 太田市西本町*=1.5 1 沼田市白沢町*=1.4 前橋市粕川町*=1.4 前橋市鼻毛石町*=1.4 伊勢崎市西久保町*=1.4 桐生市美原町=1.3 渋川市吹屋*=1.3 太田市浜町*=1.2 館林市城町*=1.2 みどり市大間々町*=1.2 前橋市堀越町*=1.2 前橋市富士見町*=1.2 太田市粕川町*=1.1 安中市安中*=1.1 桐生市黒保根町*=1.1 桐生市新里町*=1.1 伊勢崎市境*=1.0 太田市新田金井町*=1.0 伊勢崎市東町*=0.9 吉岡町下野田*=0.9 みどり市笠懸町*=0.9 沼田市下久屋町*=0.9 伊勢崎市今泉町*=0.8 太田市大原町*=0.8 高崎市新町*=0.8 高崎市吉井町吉井川*=0.8 渋川市伊香保町*=0.7 富岡市妙義町*=0.7 甘楽町小幡*=0.7 みどり市東町*=0.7 富岡市七日市=0.6 渋川市北橘町*=0.5 玉村町下新田*=0.5 藤岡市鬼石*=0.5 片品村鎌田*=0.5 高崎市高松町*=0.5 安中市松井田町*=0.5 群馬昭和村糸井*=0.5 山梨県 2 富士河口湖町長浜*=2.1 笛吹市境川町藤壘*=1.9 富士川町鯉沢*=1.8 上野原市役所*=1.8 忍野村忍草*=1.6 富士河口湖町船津=1.6 甲府市飯田=1.5 山梨北杜市長坂町*=1.5 1 大月市御太刀*=1.4 山中湖村山中*=1.4 甲府市下曽根町*=1.3 笛吹市八代町南*=1.3 中央市大鳥居*=1.3 都留市上谷*=1.3 甲府市相生*=1.1 甲斐市下今井*=1.1 笛吹市役所*=1.1 山梨北杜市明野町*=1.1 大月市大月=1.1 甲州市塩山上於曽*=1.0 中央市成島*=1.0 上野原市四方津=1.0 西桂町小沼*=1.0 鳴沢村役場*=1.0 昭和町押越*=1.0 笛吹市春日居町寺本*=1.0 甲州市役所*=0.9 甲州市勝沼町勝沼*=0.9 富士吉田市上吉田*=0.9 富士河口湖町役場*=0.8 甲州市塩山下於曽=0.8 大月市役所*=0.8 上野原市秋山*=0.8 道志村釜之前*=0.8 甲府市古閑町*=0.8 山梨市牧丘町窪平*=0.8 富士河口湖町勝山*=0.8 富士吉田市下吉田*=0.7 笛吹市御坂町夏目原*=0.7 山梨北杜市健康ランド須玉*=0.6 甲州市大和町初鹿野*=0.6 身延町大磯小磯=0.5 富士河口湖町本栖*=0.5 福島県 1 郡山市湖南町*=0.7 白河市新白河*=0.7 玉川村小高*=0.7 須賀川市八幡山*=0.6 新潟県 1 南魚沼市六日町=0.7 長野県 1 茅野市葛井公園*=1.2 長野南牧村海ノ口*=1.2 佐久市中込*=1.0 小海町豊里*=1.0 中川村大草*=0.7 諏訪市湖岸通り=0.6 軽井沢町追分=0.6 立科町芦田*=0.6 長野高森町下市田*=0.6 佐久市下小田切=0.5				
16	3 20 00	日向灘 大分県 宮崎県	32° 40.0' N	132° 05.2' E	42km	M: 3.3
		1 佐伯市本匠*=1.2 佐伯市鶴見*=1.1 佐伯市直川*=0.6 佐伯市春日町*=0.5 1 延岡市北川町川内名白石*=1.2 延岡市北浦町古江*=0.8 門川町平城東*=0.7				
17	3 20 16	千葉県北西部 埼玉県	35° 39.8' N	140° 11.7' E	71km	M: 4.5
		2 春日部市粕壁*=1.5 1 さいたま大宮区大門*=1.3 さいたま緑区中尾*=1.3 八潮市中央*=1.3 川口市中青木分室*=1.2 三郷市中央*=1.2 宮代町笠原*=1.2 川口市安行領家*=1.2 草加市中央*=1.2 さいたま南区別所*=1.1 蕨市中央*=1.1 加須市騎西*=1.0 吉川市きよみ野*=1.0 加須市大利根*=1.0 さいたま大宮区天沼町*=1.0 久喜市下早見=1.0 春日部市谷原新田*=1.0 白岡市千駄野*=0.9 春日部市金崎*=0.9 幸手市東*=0.9 久喜市青葉*=0.9 越谷市越ヶ谷*=0.9 さいたま見沼区堀崎*=0.9 さいたま浦和区高砂=0.9 志木市中宗岡*=0.9 和光市広沢*=0.9 川口市三ツ和*=0.8 さいたま中央区下落合*=0.8 狭山市入間川*=0.7 新座市野火止*=0.7 熊谷市大里*=0.7 富士見市鶴馬*=0.7 久喜市菖蒲*=0.7 戸田市上戸田*=0.7 上尾市本町*=0.6 久喜市鷲宮*=0.6 さいたま北区宮原*=0.6 朝霞市本町*=0.6 桶川市泉*=0.5 2 千葉中央区中央港=2.1 長南町長南*=1.8 千葉稲毛区園生町*=1.8 君津市久留里市場*=1.8 いすみ市岬町長者*=1.8 市原市姉崎*=1.7 千葉花見川区花島町*=1.7 東金市日吉台*=1.7 船橋市湊町*=1.6 千葉中央区千葉市役所*=1.6 白井市復*=1.6 山武市蓮沼ニ*=1.6 九十九里町片貝*=1.6 千葉美浜区ひび野=1.6 八千代市大和田新田*=1.5 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.5 長南町総合グラウンド=1.5 1 東金市東岩崎*=1.4 一宮町一宮=1.4 白子町関*=1.4 山武市塩谷*=1.4 千葉緑区おゆみ野*=1.4 千葉美浜区稲毛海岸*=1.4 習志野市鷲沼*=1.4 木更津市富士見*=1.4 芝山町小池*=1.3 松戸市西馬橋*=1.3 四街道市鹿渡*=1.3 富津市下飯野*=1.3 東金市東新宿=1.3 山武市殿台*=1.3 山武市蓮沼ハ*=1.3 千葉若葉区小倉台*=1.3 横芝光町宮川*=1.2 印西市笠神*=1.2 栄町安食台*=1.2 山武市松尾町富士見台=1.2 茂原市道表*=1.2 山武市松尾町五反田*=1.2 大網白里市大網奉*=1.2 多古町多古=1.2 睦沢町下之郷*=1.2 野田市鶴奉*=1.2 柏市旭町=1.2 市原市国分寺台中央*=1.2 鴨川市横渚*=1.1 横芝光町栗山*=1.1 浦安市日の出=1.1 浦安市猫実*=1.1 印西市大森*=1.1 木更津市太田=1.1 八街市八街*=1.0 富里市七栄*=1.0				

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		香取市役所※=1.0 成田市名古屋=1.0 成田市中台※=1.0 千葉佐倉市海隣寺町※=1.0 柏市柏※=1.0 南房総市富浦町青木※=0.9 南房総市谷向※=0.9 旭市南堀之内※=0.9 長柄町桜谷※=0.9 野田市東宝珠花※=0.9 成田国際空港=0.9 鴨川市八色=0.9 袖ヶ浦市坂戸市場※=0.9 我孫子市我孫子※=0.8 香取市佐原諏訪台※=0.8 館山市長須賀=0.7 勝浦市墨名=0.7 香取市佐原平田=0.7 勝浦市新官※=0.6 2 東京足立区神明南※=1.7 東京練馬区豊玉北※=1.6 東京葛飾区金町※=1.6 1 東京北区西ヶ原※=1.4 東京北区赤羽南※=1.4 東京葛飾区立石※=1.4 東京世田谷区三軒茶屋※=1.3 東京世田谷区成城※=1.3 東京杉並区桃井※=1.3 東京江戸川区鹿骨※=1.3 東京千代田区大手町=1.2 東京荒川区東尾久※=1.2 東京江戸川区中央=1.2 東京江戸川区船堀※=1.2 調布市西つつじヶ丘※=1.2 東京江東区森下※=1.1 東京板橋区相生町※=1.1 東京足立区伊興※=1.0 八王子市堀之内※=1.0 小平市小川町※=1.0 東京新宿区上落合※=1.0 東京新宿区百人町※=1.0 東京墨田区東向島※=1.0 東京江東区越中島※=1.0 東京中野区中野※=1.0 東京中央区勝どき※=0.9 西東京市中町※=0.9 東京文京区本郷※=0.9 東京文京区大塚※=0.9 東京台東区千束※=0.9 東京国際空港=0.9 東京世田谷区世田谷※=0.9 東京荒川区荒川※=0.9 東京文京区スポーツセンター※=0.8 東京板橋区板橋※=0.8 東京足立区千住中居町※=0.8 東京江東区枝川※=0.8 東京品川区北品川※=0.8 東京品川区平塚※=0.8 東京大田区本羽田※=0.8 町田市森野※=0.8 小金井市本町※=0.8 東京大田区多摩川※=0.8 国分寺市戸倉=0.8 東大和市中央※=0.8 稲城市東長沼※=0.8 東京千代田区富士見※=0.8 東京豊島区南池袋※=0.8 東京江東区亀戸※=0.7 狛江市和泉本町※=0.7 東京港区海岸=0.7 東京板橋区高島平※=0.7 東京目黒区中央町※=0.7 東京渋谷区宇田川町※=0.7 東京中野区江古田※=0.7 町田市忠生※=0.7 東京杉並区高井戸※=0.7 東京台東区東上野※=0.6 東京府中市朝日町※=0.6 調布市小島町※=0.6 東京港区白金※=0.6 東京新宿区西新宿=0.6 東京練馬区東大泉※=0.6 東京練馬区光が丘※=0.6 東京江東区青海=0.5 東京港区南青山※=0.5 東京足立区中央本町※=0.5 日野市神明※=0.5 神奈川県 2 横浜緑区十日市場町※=1.5 川崎川崎区宮前町※=1.5 三浦市城山町※=1.5 1 横浜神奈川区神大寺※=1.4 愛川町角田※=1.4 横浜神奈川区広台太田町※=1.3 横浜港北区日吉本町※=1.3 川崎中原区小杉町※=1.3 横浜鶴見区末広町※=1.2 横浜中区山下町※=1.2 横浜保土ヶ谷区上菅田町※=1.2 横浜旭区川井宿町※=1.2 横浜青葉区榎が丘※=1.2 川崎麻生区片平※=1.2 横浜中区山手町=1.1 横浜旭区今宿東町※=1.1 横浜瀬谷区中屋敷※=1.1 横浜青葉区市ヶ尾町※=1.1 清川村煤ヶ谷※=1.1 横浜緑区鴨居※=1.0 横浜都筑区池辺町※=1.0 横須賀市光の丘=1.0 大和市下鶴間※=1.0 厚木市中町※=1.0 相模原中央区上溝※=1.0 横浜鶴見区鶴見※=0.9 横浜鶴見区馬場※=0.9 横浜磯子区洋光台※=0.9 横浜瀬谷区三ツ境※=0.9 川崎宮前区宮前平※=0.9 相模原南区磯部※=0.9 横浜戸塚区平戸町※=0.8 川崎川崎区中島※=0.8 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.8 川崎多摩区登戸※=0.7 川崎宮前区野川※=0.7 湯河原町中央=0.7 川崎中原区小杉陣屋町=0.5 茨城県 1 河内町源清田※=1.4 坂東市岩井=1.1 龍ヶ崎市役所※=1.1 取手市寺田※=1.1 笠間市石井※=1.1 稲敷市結佐※=1.0 つくば市小釜※=1.0 稲敷市江戸崎甲※=1.0 稲敷市伊佐津※=1.0 つくばみらい市福田※=0.9 土浦市常名=0.9 筑西市舟生=0.9 小美玉市上玉里※=0.8 牛久市中央※=0.8 水戸市内原町※=0.8 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 小美玉市小川※=0.8 桜川市羽田※=0.8 常総市水海道諏訪町※=0.8 桜川市真壁※=0.7 石岡市柿岡=0.7 城里町小勝※=0.6 利根町布川=0.6 笠間市笠間※=0.6 土浦市藤沢※=0.6 筑西市海老ヶ島※=0.5 かすみがうら市上土田※=0.5 かすみがうら市大和田※=0.5 笠間市下郷※=0.5 石岡市若宮※=0.5 石岡市石岡※=0.5 筑西市門井※=0.5 栃木県 1 市貝町市塙※=1.0 益子町益子=0.5 宇都宮市明保野町=0.5 群馬県 1 渋川市赤城町※=0.6 千代田町赤岩※=0.6 邑楽町中野※=0.6 山梨県 1 富士河口湖町船津=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本※=1.0 伊豆の国市長岡※=0.9 富士宮市野中※=0.9 伊豆市中伊豆グラウンド=0.7 沼津市戸田※=0.7 熱海市網代=0.5 富士宮市弓沢町=0.5 富士市大淵※=0.5				
18	3 21 10	和歌山県南方沖 和歌山県	33° 21.1' N	135° 11.7' E	29km	M: 3.5
		1 日高川町土生※=1.1 御坊市湯川※=1.0				
19	4 03 57	千葉県南部 千葉県	35° 08.6' N	140° 05.0' E	17km	M: 4.2
		3 鴨川市横渚※=2.7 鴨川市八色=2.6 2 南房総市岩糸※=1.9 君津市久留里市場※=1.7 富津市下飯野※=1.7 長南町総合グラウンド=1.7 長南町長南※=1.6 大多喜町大多喜※=1.5 いすみ市国府台※=1.5 勝浦市墨名=1.5 1 勝浦市新官※=1.4 鴨川市天津※=1.4 鋸南町下佐久間※=1.3 南房総市谷向※=1.3 南房総市和田町※=1.1 館山市北条※=1.1 南房総市白浜町白浜※=1.0 一宮町一宮=1.0 市原市姉崎※=1.0 茂原市道表※=1.0 南房総市上堀=1.0 南房総市富浦町青木※=1.0 君津市久保※=0.9 館山市長須賀=0.8 鴨川市内浦=0.7 睦沢町下之郷※=0.6 千葉花見川区花島町※=0.6 千葉美浜区ひび野=0.5 東京都 1 東京千代田区大手町=0.6 東京品川区平塚※=0.5 神奈川県 1 横浜中区山手町=1.2 横須賀市光の丘=1.2 横浜旭区川井宿町※=1.1 横浜金沢区白帆※=1.0 藤沢市長後※=1.0 三浦市城山町※=1.0 横浜磯子区洋光台※=0.8				
20	4 05 16	千葉県南部 千葉県	35° 09.0' N	140° 04.9' E	17km	M: 3.7
		2 鴨川市八色=2.4 鴨川市横渚※=2.4 南房総市岩糸※=1.9 南房総市谷向※=1.7 富津市下飯野※=1.5 1 君津市久留里市場※=1.4 大多喜町大多喜※=1.4 長南町総合グラウンド=1.3 館山市北条※=1.3 南房総市富浦町青木※=1.3 いすみ市国府台※=1.2 南房総市上堀=1.2 鋸南町下佐久間※=1.2 南房総市白浜町白浜※=1.2 南房総市和田町※=1.2 勝浦市墨名=1.1 鴨川市天津※=1.1 館山市長須賀=1.0 長南町長南※=1.0 南房総市千倉町瀬戸※=1.0 勝浦市新官※=0.9 一宮町一宮=0.5 市原市姉崎※=0.5 君津市久保※=0.5 神奈川県 1 横浜中区山手町=1.1 横須賀市光の丘=1.1 三浦市城山町※=1.1 藤沢市長後※=0.9 横浜中区山吹町※=0.9 横浜金沢区釜利谷南※=0.8 横浜緑区十日市場町※=0.7 横浜磯子区洋光台※=0.7				

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		横浜港南区丸山台北部※=0.5				
21	4 15 45	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町※=1.2	37° 29.0' N	137° 10.7' E	13km	M: 3.1
22	4 19 50	宮城県沖 宮城県 2 石巻市北上町※=1.5 1 石巻市雄勝町※=1.2 気仙沼市笹が陣※=1.0 石巻市鮎川浜※=0.9 石巻市桃生町※=0.9 石巻市大街道南※=0.8 気仙沼市唐桑町※=0.7 南三陸町歌津※=0.6 気仙沼市赤岩=0.6 涌谷町新町裏=0.6 登米市中田町=0.6 登米市東和町※=0.6 岩手県 1 一関市千厩町※=1.2 一関市室根町※=1.2 一関市藤沢町※=0.9 住田町世田米※=0.8 大船渡市大船渡町=0.8 釜石市中妻町※=0.5 一関市大東町=0.5	38° 18.7' N	141° 53.5' E	46km	M: 4.0
23	4 20 51	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校※=0.8	36° 41.8' N	140° 34.9' E	10km	M: 2.7
24	5 09 48	奄美大島近海 鹿児島県 1 伊仙町伊仙※=0.7	27° 46.0' N	129° 04.0' E	16km	M: 3.0
25	5 14 49	宮城県沖 福島県 1 田村市大越町※=0.8	37° 52.4' N	141° 42.4' E	63km	M: 3.9
26	6 00 32	日向灘 宮崎県 1 宮崎市松橋※=1.2 川南町川南※=0.8 国富町本庄※=0.8 宮崎市田野町体育館※=0.6 宮崎市霧島=0.6	31° 42.6' N	131° 47.3' E	33km	M: 3.8
27	6 09 06	長野県南部 長野県 2 伊那市高遠町荊口=1.5 1 茅野市葛井公園※=0.6 諏訪市湖岸通り=0.5	35° 56.3' N	138° 06.1' E	5km	M: 2.7
28	6 13 23	北海道東方沖 北海道 3 根室市落石東※=2.8 2 根室市瑤瑤瑁※=2.1 根室市厚床※=1.9 釧路町別保※=1.8 厚岸町真栄※=1.8 別海町本別海※=1.6 釧路市黒金町※=1.6 別海町常盤=1.6 標津町北2条※=1.5 1 標茶町塘路※=1.4 根室市牧の内※=1.4 根室市弥栄=1.3 根室市豊里=1.2 白糠町西1条※=1.2 釧路市幸町=1.0 厚岸町尾幌=1.0 羅臼町岬町※=1.0 浜中町湯沸=0.9 標茶町川上※=0.8 鶴居村鶴居東※=0.7 斜里町本町=0.6 羅臼町緑町※=0.6 安平町早来北進※=0.6 十勝大樹町生花※=0.5	43° 14.8' N	146° 51.9' E	52km	M: 5.4
29	6 19 44	大分県中部 大分県 1 別府市鶴見=0.5	33° 17.2' N	131° 27.6' E	8km	M: 1.6
30	8 03 15	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島※=0.6	29° 16.6' N	129° 16.2' E	11km	M: 2.3
31	8 03 35	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島※=1.3	29° 15.5' N	129° 14.6' E	18km	M: 2.5
32	8 14 14	トカラ列島近海 鹿児島県 3 鹿児島十島村諏訪之瀬島※=2.5 2 鹿児島十島村悪石島※=1.8 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.9	29° 37.6' N	129° 45.7' E	8km	M: 3.6
33	8 17 38	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町※=1.0	37° 30.1' N	137° 12.6' E	13km	M: 3.0
34	9 02 38	宮古島近海 沖縄県 2 宮古島市下地※=1.6 1 宮古島市平良狩俣※=1.3 宮古島市上野支所※=1.3 宮古島市城辺福北=1.2 宮古島市平良西里※=1.1 宮古島市平良池間=1.0 宮古島市平良下里=0.9 宮古島市伊良部前里添=0.8	24° 49.2' N	125° 22.7' E	49km	M: 3.9
35	9 05 28	奄美大島近海 鹿児島県 1 瀬戸内町与路島※=0.9 瀬戸内町請島※=0.7	27° 58.6' N	129° 09.4' E	17km	M: 3.2
36	9 09 18	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町※=1.1 一関市室根町※=1.0 陸前高田市高田町※=0.8 釜石市中妻町※=0.8 一関市東山町※=0.7 一関市藤沢町※=0.6 住田町世田米※=0.6 大船渡市猪川町=0.5 宮城県 1 南三陸町歌津※=1.3 大崎市古川三日町=1.0 大崎市田尻※=1.0 石巻市桃生町※=1.0 登米市中田町=0.9 石巻市北上町※=0.9 大崎市古川旭※=0.9 涌谷町新町裏=0.8 仙台宮城野区苦竹※=0.8 気仙沼市笹が陣※=0.8 仙台宮城野区五輪=0.7 登米市東和町※=0.7 栗原市瀬峰※=0.7 気仙沼市唐桑町※=0.6 名取市増田※=0.6 東松島市矢本※=0.6 松島町高城=0.6 登米市津山町※=0.5 石巻市鮎川浜※=0.5 石巻市大街道南※=0.5	38° 27.3' N	141° 53.3' E	55km	M: 4.0
37	9 12 37	日向灘 宮崎県 2 宮崎市松橋※=2.0 日南市油津=1.6 宮崎市橘通東※=1.5 国富町本庄※=1.5	31° 42.4' N	131° 47.4' E	34km	M: 4.3

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模	
38	9 17 40	熊本市 鹿児島県				1 宮崎市高岡町内山※=1.4 日南市南郷町南町※=1.4 宮崎市田野町体育館※=1.3 高鍋町上江※=1.3 宮崎市霧島=1.3 西都市聖陵町※=1.2 川南町川南※=1.2 都城市山之口町花木※=1.2 日南市吾田東※=1.1 西都市上の宮※=1.1 小林市真方=1.0 宮崎美郷町田代※=1.0 都城市菖蒲原=0.9 木城町高城※=0.9 新富町上富田=0.8 小林市野尻町東麓※=0.8 高千穂町三田井=0.8 綾町南保健センター※=0.7 串間市奈留=0.6 日南市北郷町大藤=0.5 1 熊本美里町永富※=0.6 1 霧島市福山町牧之原※=1.2 鹿屋市新栄町=0.6 霧島市国分中央※=0.5 鹿児島市喜入町※=0.5	
		茨城県南部 茨城県	36° 11.1' N	140° 01.6' E	51km	M: 4.9	5強 城里町小勝※=5.1 4 筑西市舟生=3.7 常陸大宮市野口※=3.6 笠間市石井※=3.6 常陸大宮市北町※=3.6 坂東市馬立※=3.5 城里町石塚※=3.5 3 笠間市笠間※=3.4 城里町阿波山※=3.4 筑西市門井※=3.3 桜川市岩瀬※=3.3 日立市助川小学校※=3.3 笠間市中央※=3.3 土浦市常名=3.3 石岡市柿岡=3.2 石岡市八郷※=3.2 笠間市下郷※=3.2 水戸市内原町※=3.2 桜川市羽田※=3.2 坂東市役所※=3.1 常陸太田市町屋町=3.1 筑西市二木成※=3.1 茨城町小堤※=3.0 大子町池田※=3.0 坂東市山※=3.0 水戸市千波町※=3.0 日立市十王町友部※=3.0 取手市寺田※=2.9 桜川市真壁※=2.9 水戸市金町=2.9 土浦市藤沢※=2.9 常陸大宮市山方※=2.9 東海村東海※=2.9 下妻市本城町※=2.8 下妻市鬼怒※=2.8 小美玉市小川※=2.8 つくば市天王台※=2.8 茨城鹿嶋市鉢形=2.8 八千代町菅谷※=2.8 境町旭町※=2.8 小美玉市上玉里※=2.8 常陸太田市高柿町※=2.8 常陸大宮市高部※=2.8 かすみがうら市上土田※=2.8 筑西市海老ヶ島※=2.7 水戸市栗崎町※=2.7 那珂市福田※=2.7 土浦市田中※=2.7 那珂市瓜連※=2.7 つくば市研究学園※=2.7 常総市新石下※=2.7 常総市水海道諏訪町※=2.7 茨城古河市仁連※=2.7 常陸大宮市中富町=2.7 石岡市若宮※=2.7 常陸太田市金井町※=2.7 石岡市石岡※=2.7 稲敷市江戸崎甲※=2.7 稲敷市結佐※=2.7 結城市中央町※=2.7 日立市役所※=2.6 茨城古河市下大野※=2.6 坂東市岩井=2.6 かすみがうら市大和田※=2.6 行方市玉造※=2.6 ひたちなか市東石川※=2.6 小美玉市堅倉※=2.6 高萩市安良川※=2.6 鉾田市鉾田=2.5 鉾田市造谷※=2.5 茨城鹿嶋市宮中※=2.5 ひたちなか市南神敷台※=2.5 つくばみらい市福田※=2.5 五霞町小福田※=2.5 行方市麻生※=2.5 つくば市小茎※=2.5 2 美浦村受領※=2.4 守谷市大柏※=2.4 稲敷市伊佐津※=2.4 常陸太田市町田町※=2.3 常陸大宮市上小瀬※=2.3 鉾田市汲上※=2.3 常陸太田市大中町※=2.2 つくばみらい市加藤※=2.2 龍ヶ崎市役所※=2.2 取手市井野※=2.2 潮来市辻※=2.2 阿見町中央※=2.2 稲敷市須賀津※=2.1 神栖市溝口※=2.1 牛久市中央※=2.1 茨城古河市長谷町※=2.1 北茨城市巾着町※=2.0 潮来市堀之内=2.0 行方市山田※=2.0 北茨城市磯原町※=2.0 取手市藤代※=2.0 利根町布川=1.9 稲敷市役所※=1.9 河内町源清田※=1.8 ひたちなか市山ノ上町=1.8 高萩市本町※=1.8 大洗町磯浜町※=1.6 1 神栖市波崎※=1.3 4 白河市表郷※=3.7 3 白河市大信※=2.8 白河市新白河※=2.8 浅川町浅川※=2.6 棚倉町棚倉中居野=2.6 玉川村小高※=2.5 白河市東※=2.5 2 須賀川市八幡山※=2.4 須賀川市岩瀬支所※=2.4 鏡石町不時沼※=2.4 中島村滑津※=2.4 矢祭町東館※=2.4 矢祭町戸塚※=2.3 郡山市湖南町※=2.2 泉崎村泉崎※=2.2 白河市郭内=2.2 須賀川市八幡町※=2.2 いわき市三和町=2.1 西郷村熊倉※=2.1 古殿町松川新桑原※=2.1 田村市都路町※=2.1 田村市滝根町※=2.1 須賀川市長沼支所※=2.0 矢吹町一本木※=2.0 石川町長久保※=2.0 檜枝岐村上河原※=1.9 白河市八幡小路※=1.9 天栄村湯本支所※=1.9 いわき市小名浜=1.9 田村市大越町※=1.9 檜葉町北田※=1.9 川内村上川内早渡※=1.9 大熊町大川原※=1.9 いわき市平梅本※=1.8 小野町中通※=1.8 天栄村下松本※=1.8 いわき市錦町※=1.8 南会津町田島=1.7 田村市常葉町※=1.7 田村市船引町=1.7 二本松市針道※=1.7 東京板橋区板橋※=1.7 本宮市白岩※=1.7 郡山市朝日=1.6 平田村永田※=1.6 浪江町幾世橋=1.6 下郷町塩生※=1.6 二本松市油井※=1.6 塙町塙※=1.6 南会津町松戸原※=1.5 川俣町五百田※=1.5 小野町小野新町※=1.5 いわき市平四ツ波※=1.5 郡山市開成※=1.5 本宮市本宮※=1.5 福島広野町下北迫大谷地原※=1.5 棚倉町棚倉館ヶ丘※=1.5 1 鮎川村赤坂中野※=1.4 古殿町松川横川=1.4 福島広野町下北迫苗代替※=1.4 南相馬市小高区※=1.4 相馬市中村※=1.3 川内村下川内=1.3 葛尾村落合落合※=1.3 大玉村南小屋=1.3 福島伊達市霊山町※=1.3 南相馬市鹿島区西町※=1.2 川内村上川内小山平※=1.2 大熊町野上※=1.2 福島市五老内町※=1.2 飯館村伊丹沢※=1.2 福島昭和村下中津川※=1.1 南会津町滝原※=1.1 国見町藤田※=1.1 福島市飯野町※=1.1 大玉村玉井※=1.1 二本松市金色※=1.1 喜多方市高郷町※=1.1 福島市桜木町※=1.0 桑折町谷地※=1.0 猪苗代町城南=1.0 富岡町本岡※=1.0 南会津町界※=0.9 南会津町山口※=0.9 福島伊達市前川原※=0.9 磐梯町磐梯※=0.9 福島市松木町=0.8 下郷町高隣※=0.8 新地町谷地小屋※=0.8 福島伊達市月館町※=0.8 南相馬市原町区三島町=0.8 南相馬市原町区高見町※=0.8 福島伊達市梁川町※=0.8 会津美里町本郷庁舎※=0.7 只見町黒谷※=0.7 南会津町古町※=0.7 南相馬市鹿島区柗塚=0.6 三春町大町※=0.6 4 鹿沼市晃望台※=4.3 宇都宮市中里町※=3.9 宇都宮市中岡本町※=3.8 宇都宮市明保野町=3.8 壬生町壬生甲※=3.8 高根沢町石末※=3.8 栃木市旭町=3.7 小山市神鳥谷※=3.5 益子町益子=3.5 栃木市大平町富田※=3.5 3 佐野市葛生東※=3.4 真岡市田町※=3.4 下野市笹原※=3.4 栃木市岩舟町静※=3.3 真岡市荒町※=3.3 栃木さくら市氏家※=3.3 鹿沼市口栗野※=3.2 芳賀町祖母井※=3.2 栃木さくら市喜連川※=3.2 日光市鬼怒川温泉大原※=3.2 鹿沼市今宮町※=3.1 下野市田中※=3.1 宇都宮市旭※=3.1 下野市大松山※=3.1 野木町丸林※=3.1 茂木町茂木※=3.0 宇都宮市塙田※=3.0 栃木市万町※=2.9 那須烏山市大金※=2.9 栃木那珂川町小川※=2.9 佐野市中町※=2.9 足利市大正町※=2.9 市貝町市塙※=2.9 栃木市藤岡町藤岡※=2.9 栃木市西方町本城※=2.9 矢板市本町※=2.8 栃木那珂川町馬頭※=2.8 佐野市田沼町※=2.7 日光市芹沼※=2.7 日光市足尾町通洞※=2.7 栃木市都賀町家中※=2.7 佐野市高砂町※=2.6 塩谷町玉生※=2.6 上三川町しらさぎ※=2.6 日光市瀬川=2.5 日光市足尾町中才※=2.5 日光市藤原庁舎※=2.5

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		群馬県				2 那須町寺子*=2.4 那須塩原市あたご町*=2.4 那須塩原市塩原庁舎*=2.4 茂木町北高岡天矢場*=2.4 那須烏山市神長=2.3 日光市御幸町*=2.3 日光市黒部*=2.3 大田原市黒羽田町=2.3 日光市今市本町*=2.1 大田原市本町*=2.1 那須塩原市鍋掛*=2.0 那須塩原市共興社*=2.0 那須烏山市役所*=2.0 日光市湯元*=1.9 那須塩原市中塩原*=1.6 1 日光市中宮祠=1.4 那須塩原市薮沼=1.3 4 邑楽町中野*=3.5 3 太田市西本町*=2.9 板倉町板倉=2.9 大泉町日の出*=2.9 館林市上三林町*=2.8 館林市城町*=2.8 群馬明和町新里*=2.8 千代田町赤岩*=2.8 渋川市赤城町*=2.7 桐生市新里町*=2.7 太田市浜町*=2.5
		埼玉県				2 沼田市白沢町*=2.4 桐生市黒保根町*=2.4 片品村鎌田*=2.3 前橋市粕川町*=2.3 前橋市富士見町*=2.3 桐生市元宿町*=2.3 伊勢崎市西久保町*=2.3 沼田市西倉内町=2.2 太田市粕川町*=2.2 みどり市大間々町*=2.2 太田市新田金井町*=2.1 伊勢崎市今泉町*=2.1 前橋市堀越町*=2.0 みどり市笠懸町*=2.0 沼田市下久屋町*=2.0 神流町生利*=1.9 神流町神ヶ原*=1.9 みどり市東町*=1.9 前橋市鼻毛石町*=1.9 伊勢崎市東町*=1.9 太田市大原町*=1.9 渋川市吹屋*=1.9 桐生市美原町=1.8 高崎市吉井町吉井川*=1.7 藤岡市鬼石*=1.7 東吾妻町本宿*=1.7 渋川市伊香保町*=1.6 みなかみ町鹿野沢*=1.6 甘楽町小幡*=1.6 前橋市大手町*=1.6 伊勢崎市境*=1.6 東吾妻町奥田*=1.5 前橋市昭和町=1.5 沼田市尾瀬高等学校=1.5 高崎市高松町*=1.5 吉岡町下野田*=1.5 1 群馬昭和村糸井*=1.4 高崎市足門町*=1.4 渋川市北橋町*=1.4 玉村町下新田*=1.4 前橋市駒形町*=1.3 富岡市七日市=1.3 安中市安中*=1.3 高崎市新町*=1.2 渋川市有馬*=1.2 渋川市石原*=1.2 富岡市妙義町*=1.2 中之条町日影=1.2 榛東村新井*=1.2 中之条町中之条町*=1.2 安中市松井田町*=1.1 高崎市倉沢町*=1.1 渋川市村上*=1.1 高崎市箕郷町*=1.0 群馬高山村中山*=1.0 川場村谷地*=1.0 群馬上野村川和*=0.7 みなかみ町後閑*=0.7 高崎市下室田*=0.7 草津町草津*=0.6 東吾妻町原町=0.5 中之条町入山*=0.5 3 熊谷市大里*=3.2 熊谷市江南*=3.2 東松山市松葉町*=3.1 春日部市粕壁*=3.1 春日部市金崎*=3.0 羽生市東*=2.9 久喜市下早見=2.9 幸手市東*=2.9 久喜市菖蒲*=2.8 久喜市鷲宮*=2.8 埼玉美里町木部*=2.8 行田市本丸*=2.7 加須市大利根*=2.7 鴻巣市中央*=2.7 滑川町福田*=2.7 春日部市谷原新田*=2.7 北本市本町*=2.7 宮代町笠原*=2.7 深谷市川本*=2.6 久喜市青葉*=2.6 久喜市栗橋*=2.6 熊谷市宮町*=2.6 加須市三俣*=2.6 加須市北川辺*=2.6 桶川市泉*=2.5 さいたま岩槻区本丸*=2.5 鴻巣市吹上富士見*=2.5 2 加須市騎西*=2.4 東松山市市ノ川*=2.4 鴻巣市川里*=2.4 川越市新宿町*=2.4 上尾市本町*=2.4 蓮田市黒浜*=2.4 さいたま大宮区大門*=2.4 さいたま見沼区堀崎*=2.4 嵐山市杉山*=2.3 杉戸町清地*=2.3 さいたま北区宮原*=2.3 熊谷市桜町=2.3 本庄市児玉町=2.3 熊谷市妻沼*=2.2 行田市南河原*=2.2 深谷市仲町*=2.2 吉見町下細谷*=2.2 八潮市中央*=2.2 白岡市千駄野*=2.2 ときがわ町桃木*=2.1 草加市中央*=2.1 吉川市きよみ野*=2.1 さいたま中央区下落合*=2.1 さいたま浦和区高砂=2.1 さいたま南区別所*=2.1 長瀬町野上下郷*=2.1 越生町越生*=2.0 川島町下八ツ林*=2.0 さいたま西区指扇*=2.0 さいたま大宮区天沼町*=2.0 深谷市花園*=2.0 深谷市普濟寺*=2.0 皆野町皆野*=2.0 川口市中青木分室*=2.0 三郷市中央*=2.0 さいたま緑区中尾*=1.9 松伏町松伏*=1.9 伊奈町中央*=1.8 越谷市越ヶ谷*=1.8 和光市広沢*=1.8 さいたま桜区道場*=1.8 蕨市中央*=1.7 戸田市上戸田*=1.7 志木市中宗岡*=1.7 埼玉神川町下阿久原*=1.7 坂戸市千代田*=1.7 川越市旭町=1.7 秩父市近戸町*=1.7 長瀬町本野上*=1.7 狭山市入間川*=1.6 朝霞市本町*=1.6 小川町大塚*=1.6 富士見市鶴馬*=1.6 秩父市上町=1.6 毛呂山町中央*=1.6 鳩山町大豆戸=1.5 新座市野火止*=1.5 東秩父村御堂*=1.5 埼玉神川町植竹*=1.5 ふじみ野市福岡*=1.5 鶴ヶ島市三ツ木*=1.5 川口市安行領家*=1.5 1 上里町七本木*=1.4 ときがわ町玉川*=1.4 埼玉三芳町藤久保*=1.4 さいたま浦和区常盤*=1.4 秩父市吉田*=1.4 秩父市熊木町*=1.4 横瀬町横瀬*=1.4 秩父市中津川*=1.3 寄居町寄居*=1.3 川口市三ツ和*=1.2 所沢市北有楽町*=1.2 本庄市本庄*=1.2 入間市豊岡*=1.1 ふじみ野市大井*=1.0 秩父市荒川*=0.9 飯能市名栗*=0.9 日高市南平沢*=0.8 小鹿野町役場両神庁舎*=0.7 飯能市征矢町*=0.6 小鹿野町両神薄=0.5 所沢市並木*=0.5 飯能市下直竹=0.5 3 野田市鶴奉*=3.2 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=3.2 白井市復*=2.9 印西市大森*=2.7 香取市佐原諏訪台*=2.6 柏市旭町=2.6 香取市役所*=2.5 香取市仁良*=2.5 千葉花見川区花島町*=2.5 成田国際空港=2.5 八千代市大和田新田*=2.5 2 神崎町神崎本宿*=2.4 千葉稲毛区園生町*=2.4 野田市東宝珠花*=2.4 習志野市鷺沼*=2.4 印西市笠神*=2.4 印西市美瀬*=2.4 栄町安食台*=2.4 芝山町小池*=2.3 香取市佐原平田=2.3 香取市羽根川*=2.3 山武市埴谷*=2.3 千葉美浜区稲毛海岸*=2.3 松戸市西馬橋*=2.3 成田市中台*=2.3 千葉佐倉市海隣寺町*=2.3 柏市柏*=2.3 柏市大島田*=2.3 我孫子市我孫子*=2.3 船橋市湊町*=2.2 成田市名古屋=2.2 成田市松子*=2.1 浦安市日の出=2.1 多古町多古=2.1 四街道市鹿渡*=2.0 酒々井町中央台*=2.0 香取市岩部*=2.0 千葉美浜区ひび野=2.0 東金市日吉台*=1.9 匝瑳市八日市場ハ*=1.9 山武市蓮沼ニ*=1.9 成田市役所*=1.9 山武市松尾町富士見台=1.8 流山市平和台*=1.8 千葉若葉区小倉台*=1.8 千葉中央区中央港=1.7 八街市八街*=1.7 富里市七栄*=1.7 旭市南堀之内*=1.7 東金市東新宿=1.6 旭市高生*=1.6 旭市萩園*=1.6 旭市ニ*=1.6 長南町長南*=1.6 浦安市猫実*=1.6 市川市八幡*=1.6 松戸市根本*=1.6 長南町総合グラウンド=1.5 成田市猿山*=1.5 市原市姉崎*=1.5 千葉中央区千葉市役所*=1.5 1 茂原市道表*=1.4 横芝光町宮川*=1.4 横芝光町栗山*=1.4 山武市蓮沼ハ*=1.4 東金市東岩崎*=1.3 東庄町笹川*=1.3 山武市殿台*=1.3 山武市松尾町五反田*=1.3 千葉緑区おゆみ野*=1.3 一宮町一宮=1.2 君津市久留里市場*=1.1 九十九里町片貝*=1.1 木更津市富士見*=1.0 富津市下飯野*=1.0 袖ヶ浦市坂戸市場*=1.0 大多喜町大多喜*=1.0 いすみ市国府台*=1.0 匝瑳市今泉*=1.0 銚子市小畑新町=1.0 大網白里市大網*=1.0 銚子市若宮町*=0.9 南房総市谷向*=0.8 南房総市富浦町青木*=0.7 木更津市太田=0.7 銚子市川口町=0.7 館山市長須賀=0.6 2 東京江戸川区中央=2.4 東京板橋区高島平*=2.3 東京杉並区高井戸*=2.2 東京練馬区豊玉北*=2.2
		東京都				

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模			
		東京足立区神明南※=2.2 東京渋谷区本町※=2.1 東京中野区中野※=2.1 調布市西つつじヶ丘※=2.1 東京千代田区大手町※=2.0 東京板橋区相生町※=2.0 東京足立区伊興※=2.0 東京中野区江古田※=1.9 東京杉並区桃井※=1.9 東京練馬区光が丘※=1.9 東京葛飾区立石※=1.9 東京北区西ヶ原※=1.8 東京葛飾区金町※=1.8 東京江戸川区鹿骨※=1.8 町田市本町田※=1.8 東京港区南青山※=1.8 東京新宿区上落合※=1.8 東京文京区大塚※=1.8 東京世田谷区三軒茶屋※=1.8 東京荒川区東尾久※=1.7 東京江戸川区船堀※=1.7 東京中央区勝どき※=1.7 小平市小川町※=1.7 東京江東区越中島※=1.7 東京江東区森下※=1.7 東京品川区平塚※=1.6 東京世田谷区成城※=1.6 東京足立区千住中居町※=1.6 西東京市中町※=1.6 東大和市中央※=1.6 東京文京区本郷※=1.6 東京墨田区東向島※=1.6 東京江東区東陽※=1.6 東京練馬区東大泉※=1.5 東京千代田区富士見※=1.5 東京新宿区百人町※=1.5 東京文京区スポーツセンタ※=1.5 日野市神明※=1.5 東京渋谷区宇田川町※=1.5 東京荒川区荒川※=1.5 1 東京中央区築地※=1.4 東京中央区日本橋兜町※=1.4 東京港区海岸=1.4 東京港区白金※=1.4 東京台東区千束※=1.4 東京墨田区吾妻橋※=1.4 東京江東区亀戸※=1.4 東京江東区枝川※=1.4 東京品川区北品川※=1.4 東京大田区本羽田※=1.4 東京世田谷区世田谷※=1.4 東京板橋区板橋※=1.4 八王子市堀之内※=1.4 武蔵野市緑町※=1.4 小金井市本町※=1.4 東村山市本町※=1.4 国分寺市戸倉=1.4 国分寺市本多※=1.4 狛江市和泉本町※=1.4 稲城市東長沼※=1.4 東京品川区広町※=1.3 東京目黒区中央町※=1.3 東京世田谷区中町※=1.3 東京豊島区南池袋※=1.3 東京北区赤羽南※=1.3 東京足立区中央本町※=1.3 武蔵野市吉祥寺東町※=1.3 三鷹市野崎※=1.3 東京府中市朝日町※=1.3 町田市忠生※=1.3 町田市森野※=1.3 東京千代田区麴町※=1.3 多摩市関戸※=1.3 東京墨田区横川=1.3 東京大田区多摩川※=1.2 東京新宿区歌舞伎町※=1.2 東京台東区東上野※=1.2 東京江東区青海=1.2 東京府中市寿町※=1.1 調布市小島町※=1.1 東村山市美住町※=1.1 東京港区芝公園※=1.1 東京杉並区阿佐谷=1.1 武蔵村山市本町※=1.1 青梅市日向和田※=1.1 青梅市東青梅=1.0 あきる野市伊奈※=1.0 八王子市石川町※=1.0 東京大田区大森東※=1.0 東京新宿区西新宿=1.0 東京国際空港=0.9 清瀬市中清戸※=0.9 八王子市大横町=0.8 清瀬市中里※=0.8 瑞穂町箱根ヶ崎※=0.7 東京大田区蒲田※=0.6 檜原村本宿※=0.6 多摩市鶴牧※=0.5 羽村市緑ヶ丘※=0.5 2 川崎宮前区宮前平※=2.1 横浜神奈川区神大寺※=1.9 横浜港北区日吉本町※=1.9 横浜緑区十日市場町※=1.9 横浜青葉区市ケ尾町※=1.9 川崎宮前区野川※=1.8 横浜青葉区榎が丘※=1.7 横浜神奈川区広台太田町※=1.6 横浜中区山手町=1.6 横浜保土ヶ谷区上菅田町※=1.6 横浜旭区川井宿町※=1.6 横浜緑区鴨居※=1.6 相模原緑区中野※=1.6 相模原緑区久保沢※=1.6 横浜鶴見区末広町※=1.5 横浜中区山下町※=1.5 横浜中区山吹町※=1.5 横浜戸塚区鳥が丘※=1.5 横浜瀬谷区三ツ境※=1.5 川崎川崎区宮前町※=1.5 川崎中原区小杉町※=1.5 1 横浜西区浜松町※=1.4 横浜瀬谷区中屋敷※=1.4 相模原南区相模大野※=1.4 相模原緑区大島※=1.4 横浜中区日本大通※=1.3 横浜戸塚区戸塚町※=1.3 横浜旭区上白根町※=1.3 横浜都筑区池辺町※=1.3 川崎中原区小杉陣屋町=1.3 川崎高津区下作延※=1.3 厚木市中町※=1.3 相模原中央区上溝※=1.3 相模原中央区水郷田名※=1.3 相模原緑区橋本※=1.3 横浜磯子区洋光台※=1.2 横浜旭区今宿東町※=1.2 川崎川崎区千鳥町※=1.2 大和市下鶴間※=1.2 綾瀬市深谷中※=1.2 愛川町角田※=1.2 横浜金沢区白帆※=1.1 横浜港北区大倉山※=1.1 横浜港北区綱島西※=1.1 横浜戸塚区平戸町※=1.1 横浜港南区野庭町※=1.1 横浜旭区大池町※=1.1 横浜泉区和泉町※=1.1 川崎多摩区登戸※=1.1 川崎麻生区片平※=1.1 藤沢市長後※=1.1 三浦市城山町※=1.1 座間市相武台※=1.1 中井町比奈窪※=1.1 湯河原町中央=1.1 清川村煤ヶ谷※=1.1 相模原南区磯部※=1.1 川崎麻生区万福寺※=1.0 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.0 横浜鶴見区鶴見※=1.0 横浜鶴見区馬場※=1.0 川崎川崎区中島※=1.0 秦野市曽屋=0.9 横浜保土ヶ谷区神戸町※=0.9 川崎幸区戸手本町※=0.9 横浜金沢区益利谷南※=0.9 箱根町湯本※=0.8 山北町山北※=0.7 横須賀市光の丘=0.7 藤沢市朝日町※=0.6 秦野市平沢※=0.5 宮城県 1 岩沼市桜※=1.3 大河原町新南※=1.1 蔵王町円田※=0.9 角田市角田※=0.9 丸森町鳥屋※=0.9 山元町浅生原※=0.8 松島町高城=0.7 白石市亘理町※=0.5 新潟県 1 南魚沼市六日町=1.2 南魚沼市塩沢庁舎※=0.7 南魚沼市塩沢小学校※=0.6 山梨県 1 山梨北杜市長坂町※=1.4 富士川町鯉沢※=1.2 上野原市役所※=1.1 南アルプス市寺部※=1.0 笛吹市境川町藤壘※=1.0 甲州市塩山上於曽※=1.0 大月市御太刀※=1.0 甲府市飯田=0.7 甲府市相生※=0.7 甲州市塩山下於曽=0.7 大月市大月=0.7 富士河口湖町船津=0.7 丹波山村丹波※=0.5 長野県 1 長野南牧村海ノ口※=1.3 小海町豊里※=1.1 茅野市葛井公園※=0.9 佐久市中込※=0.9 佐久市下小田切=0.8 立科町芦田※=0.8 軽井沢町追分=0.5 佐久穂町高野町※=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本※=1.0 伊豆市中伊豆グラウンド=0.8 富士市吉永※=0.7 御殿場市萩原=0.7 富士宮市弓沢町=0.6 富士宮市野中※=0.6							
39	9 22 51	茨城県南部 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 神奈川県	36° 02.2' N 140° 05.4' E	63km M: 3.5		1 茨城古河市下大野※=1.0 取手市寺田※=0.8 筑西市門井※=0.8 桜川市岩瀬※=0.8 土浦市常名=0.8 城里町小勝※=0.8 つくば市小茎※=0.7 桜川市真壁※=0.7 笠間市石井※=0.7 石岡市柿岡=0.6 坂東市役所※=0.6 笠間市笠間※=0.6 筑西市海老ヶ島※=0.6 笠間市下郷※=0.5 かすみがうら市上土田※=0.5 下妻市本城町※=0.5 2 栃木市旭町=1.1 宇都宮市明保野町=1.0 壬生町壬生甲※=0.8 下野市笹原※=0.8 鹿沼市晃望台※=0.7 真岡市荒町※=0.7 栃木市大平町富田※=0.6 足利市大正町※=0.6 栃木市岩舟町静※=0.5 鹿沼市口栗野※=0.5 真岡市田町※=0.5 1 板倉町板倉=0.5 1 宮代町笠原※=0.7 春日部市粕壁※=0.6 東松山市松葉町※=0.5 1 野田市鶴奉※=0.5 1 横浜旭区上白根町※=0.6			
40	10 02 47	茨城県南部 茨城県	36° 11.4' N 140° 01.7' E	51km M: 3.4		2 城里町小勝※=2.2 1 笠間市下郷※=1.2 坂東市馬立※=1.2 筑西市門井※=1.1 坂東市役所※=1.1 桜川市岩瀬※=1.0 桜川市羽田※=1.0 笠間市石井※=1.0 土浦市藤沢※=0.9 水戸市内原町※=0.8 石岡市柿岡=0.8 笠間市笠間※=0.8 常陸大宮市北町※=0.7 かすみがうら市上土田※=0.6 日立市助川小学校※=0.6			

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		常陸太田市町屋町=0.6 水戸市千波町*=0.6 城里町石塚*=0.6 土浦市常名=0.6 筑西市海老ヶ島*=0.6 つくば市天王台*=0.5 つくば市研究学園*=0.5 筑西市二木成*=0.5 笠間市中央*=0.5 坂東市山*=0.5 石岡市石岡*=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.2 壬生町壬生甲*=1.2 栃木市旭町=1.1 小山市神鳥谷*=1.0 下野市笹原*=1.0 鹿沼市晃望台*=0.9 真岡市田町*=0.9 宇都宮市中里町*=0.7 栃木市大平町富田*=0.7 栃木市岩舟町静*=0.6 真岡市荒町*=0.5 埼玉県 1 春日部市粕壁*=0.7 熊谷市江南*=0.5 春日部市金崎*=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*=1.2				
41	10 09 50	和歌山県南部 和歌山県 1 白浜町日置*=1.1 田辺市中屋敷町*=0.9 御坊市湯川*=0.9 田辺市中辺路町栗栖川*=0.8 田辺市本宮町本宮*=0.8 湯浅町青木*=0.6 みなべ町芝*=0.6	33° 52.2' N	135° 28.9' E	46km	M: 3.3
42	10 10 22	千葉県東方沖 千葉県 2 銚子市小畑新町=1.5 1 銚子市若宮町*=1.4 旭市高生*=1.0 銚子市川口町=0.9 旭市萩園*=0.9 旭市ニ*=0.9 香取市仁良*=0.8	35° 32.2' N	141° 00.4' E	33km	M: 3.8
43	10 12 27	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町*=1.2	37° 29.7' N	137° 13.0' E	13km	M: 3.0
44	11 14 28	茨城県南部 36° 11.8' N 140° 01.3' E 52km M: 3.7 茨城県 3 城里町小勝*=2.6 2 笠間市下郷*=1.7 筑西市門井*=1.5 坂東市馬立*=1.5 1 笠間市石井*=1.4 土浦市藤沢*=1.4 桜川市岩瀬*=1.3 城里町石塚*=1.3 笠間市笠間*=1.3 坂東市役所*=1.3 常陸大宮市北町*=1.2 桜川市羽田*=1.2 水戸市内原町*=1.2 筑西市二木成*=1.1 東海村東海*=1.1 石岡市柿岡=1.1 土浦市常名=1.1 日立市助川小学校*=1.0 つくば市研究学園*=1.0 筑西市海老ヶ島*=0.9 石岡市石岡*=0.9 かすみがうら市上土田*=0.9 つくば市天王台*=0.9 笠間市中央*=0.9 水戸市千波町*=0.9 常陸大宮市野口*=0.8 城里町阿波山*=0.8 常陸太田市町屋町=0.7 石岡市若宮*=0.7 坂東市山*=0.7 小美玉市小川*=0.7 桜川市真壁*=0.6 常陸大宮市山方*=0.6 水戸市金町=0.6 下妻市本城町*=0.6 取手市寺田*=0.6 小美玉市上玉里*=0.5 稲敷市結佐*=0.5 栃木県 2 宇都宮市明保野町=1.7 小山市神鳥谷*=1.5 壬生町壬生甲*=1.5 1 栃木市旭町=1.4 下野市笹原*=1.4 鹿沼市晃望台*=1.3 真岡市田町*=1.2 栃木市大平町富田*=1.1 宇都宮市中里町*=1.0 鹿沼市今宮町*=1.0 真岡市荒町*=1.0 茂木町茂木*=1.0 栃木市岩舟町静*=1.0 栃木市万町*=0.8 益子町益子=0.7 下野市田中*=0.7 佐野市中町*=0.7 佐野市葛生東*=0.7 足利市大正町*=0.7 野木町丸林*=0.6 鹿沼市口栗野*=0.6 栃木市西方町本城*=0.6 芳賀町祖母井*=0.5 日光市鬼怒川温泉大原*=0.5 群馬県 1 邑楽町中野*=0.7 桐生市元宿町*=0.5 埼玉県 1 熊谷市江南*=1.0 滑川町福田*=1.0 春日部市粕壁*=0.8 東松山市松葉町*=0.6 千葉県 1 野田市鶴奉*=1.4 柏市旭町=0.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.6				
45	12 02 32	沖縄本島近海 鹿児島県 1 与論町茶花*=0.5 沖縄県 1 西原町与那城*=1.0 南城市知念久手堅*=1.0 国頭村辺土名*=0.8 那覇市港町*=0.7	25° 04.4' N	128° 52.1' E	57km	M: 5.2
46	12 03 02	小笠原諸島西方沖 東京都 1 小笠原村母島=0.8	27° 40.7' N	140° 38.6' E	462km	M: 4.9
47	12 16 27	岩手県内陸北部 岩手県 1 二戸市浄法寺町*=0.7	40° 08.3' N	141° 07.5' E	9km	M: 2.8
48	13 11 55	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町*=0.6	37° 31.6' N	137° 18.6' E	13km	M: 2.6
49	13 17 16	択捉島南東沖 北海道 1 標津町北2条*=1.0 別海町常盤=1.0 根室市落石東*=0.9 根室市瑛瑠瑠*=0.6 標茶町塘路*=0.5	44° 01.1' N	147° 48.8' E	0km	M: 5.0
50	14 06 14	千葉県南部 千葉県 1 鴨川市横渚*=1.3 鴨川市八色=1.2 君津市久留里市場*=1.1 大多喜町大多喜*=1.1 鴨川市天津*=0.8 いすみ市国府台*=0.8 長南町総合グラウンド=0.5 勝浦市墨名=0.5	35° 08.6' N	140° 08.2' E	15km	M: 2.9
51	14 06 29	千葉県南部 千葉県 1 鴨川市横渚*=1.0 大多喜町大多喜*=1.0 鴨川市八色=0.8 君津市久留里市場*=0.7	35° 08.2' N	140° 08.7' E	15km	M: 2.6
52	14 15 08	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東*=0.6	43° 15.7' N	146° 51.6' E	43km	M: 4.1
53	14 17 08	三重県南東沖 33° 50.4' N 137° 25.4' E 362km M: 6.4 福島県 4 根室市落石東*=3.8 浪江町幾世橋=3.7 3 大熊町大川原*=3.3 いわき市三和町=3.0 大熊町野上*=2.8 白河市東*=2.8 白河市表郷*=2.8 田村市大越町*=2.8 いわき市平梅本*=2.7 南相馬市小高区*=2.7 檜葉町北田*=2.7 玉川村小高*=2.7 中島村滑津*=2.6 いわき市小名浜=2.6 須賀川市八幡山*=2.6				

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		南相馬市鹿島区西町*2.6 いわき市錦町*2.6 古殿町松川新桑原*2.6 川内村上川内早渡*2.5 いわき市平四ツ波*2.5 須賀川市八幡町*2.5 福島広野町下北迫大谷地原*2.5 泉崎村泉崎*2.5 2 鏡石町不時沼*2.4 浅川町浅川*2.4 田村市滝根町*2.4 相馬市中村*2.4 富岡町本岡*2.4 矢吹町一本木*2.3 福島広野町下北迫苗代替*2.3 福島市松木町*2.3 国見町藤田*2.2 新地町谷地小屋*2.2 南相馬市原町区高見町*2.2 矢祭町東館*2.2 石川町長久保*2.2 田村市船引町*2.2 二本松市針道*2.2 田村市都路町*2.1 郡山市湖南町*2.1 福島伊達市前川原*2.1 白河市新白河*2.1 棚倉町棚倉中居野*2.1 白河市大信*2.1 川内村上川内小山平*2.1 須賀川市岩瀬支所*2.1 本宮市白岩*2.0 川俣町五百田*2.0 田村市常葉町*2.0 飯館村伊丹沢*2.0 猪苗代町千代田*2.0 西郷村熊倉*1.9 南相馬市原町区三島町*1.9 福島市五老内町*1.9 南相馬市原町区本町*1.9 二本松市油井*1.9 湯川村清水田*1.9 白河市郭内*1.9 天栄村下松本*1.9 平田村永田*1.9 白河市八幡小路*1.8 川内村下川内*1.8 葛尾村落合落合*1.8 郡山市朝日*1.8 南相馬市鹿島区栢窪*1.8 郡山市開成*1.8 小野町中通*1.7 小野町小野新町*1.7 桑折町谷地*1.7 矢祭町戸塚*1.7 塙町塙*1.7 大玉村玉井*1.7 猪苗代町城南*1.6 棚倉町棚倉館ヶ丘*1.6 会津坂下町市中三番甲*1.6 福島市桜木町*1.6 福島伊達市保原町*1.6 福島伊達市霊山町*1.6 本宮市本宮*1.6 大玉村南小屋*1.6 会津美里町新鶴庁舎*1.5 須賀川市長沼支所*1.5 1 二本松市金色*1.4 喜多方市塩川町*1.4 福島市飯野町*1.3 鮎川村赤坂中野*1.3 古殿町松川横川*1.3 福島伊達市梁川町*1.2 福島伊達市月館町*1.2 南会津町田島*1.2 三春町大町*1.1 天栄村湯本支所*0.9 只見町黒谷*0.8 会津美里町本郷庁舎*0.7 4 つくばみらい市福田*3.5 3 笠間市石井*3.1 笠間市中央*3.1 小美玉市上玉里*3.0 日立市十王町友部*2.9 茨城町小堤*2.9 日立市助川小学校*2.9 筑西市舟生*2.9 桜川市岩瀬*2.9 つくばみらい市加藤*2.9 常陸太田市金井町*2.8 北茨城市中郷町*2.8 小美玉市小川*2.8 水戸市内原町*2.8 石岡市石岡*2.8 石岡市柿岡*2.7 石岡市若宮*2.7 取手市井野*2.7 取手市藤代*2.7 笠間市笠間*2.7 筑西市門井*2.7 筑西市二本成*2.7 守谷市大柏*2.6 利根町布川*2.6 坂東市岩井*2.6 小美玉市堅倉*2.6 土浦市常名*2.6 かすみがうら市上土田*2.6 土浦市藤沢*2.6 鉾田市汲上*2.6 茨城古河市下大野*2.6 石岡市八郷*2.6 笠間市下郷*2.5 東海村東海*2.5 行方市玉造*2.5 城里町石塚*2.5 桜川市真壁*2.5 下妻市鬼怒*2.5 常総市新石下*2.5 常陸太田市高柿町*2.5 つくば市小釜*2.5 河内町源清田*2.5 坂東市馬立*2.5 稲敷市結佐*2.5 2 日立市役所*2.4 高萩市安良川*2.4 北茨城市磯原町*2.4 ひたちなか市南軒敷台*2.4 常陸大宮市野口*2.4 那珂市福田*2.4 那珂市瓜連*2.4 城里町阿波山*2.4 茨城古河市仁連*2.4 龍ヶ崎市役所*2.4 取手市寺田*2.4 筑西市海老ヶ島*2.4 常総市水海道諏訪町*2.4 下妻市本城町*2.3 潮来市堀之内*2.3 潮来市辻*2.3 美浦村受領*2.3 稲敷市伊佐津*2.3 行方市麻生*2.3 桜川市羽田*2.3 常陸大宮市北町*2.3 神栖市溝口*2.2 行方市山田*2.2 常陸大宮市山方*2.2 鉾田市造谷*2.2 城里町小勝*2.2 土浦市田中*2.2 結城市中央町*2.2 水戸市千波町*2.2 水戸市栗崎町*2.2 牛久市中央*2.2 つくば市天王台*2.2 つくば市研究学園*2.2 茨城鹿嶋市鉢形*2.2 茨城鹿嶋市宮中*2.2 高萩市本町*2.2 阿見町中央*2.2 境町旭町*2.2 坂東市山*2.2 坂東市役所*2.2 稲敷市役所*2.2 水戸市金町*2.1 鉾田市鉾田*2.1 五霞町小福田*2.1 大子町池田*2.1 稲敷市江戸崎甲*2.1 常陸大宮市中富町*2.1 かすみがうら市大和田*2.1 稲敷市須賀津*2.0 常陸太田市町屋町*2.0 茨城古河市長谷町*2.0 ひたちなか市東石川*2.0 常陸太田市町田町*1.9 八千代町菅谷*1.9 神栖市波崎*1.8 ひたちなか市山ノ上町*1.8 常陸大宮市上小瀬*1.7 常陸太田市大中町*1.7 常陸大宮市高部*1.6 1 大洗町磯浜町*1.4 3 岩沼市桜*2.8 丸森町鳥屋*2.5 2 角田市角田*2.4 亘理町悠里*2.4 大崎市田尻*2.3 宮城美里町木間塚*2.2 松島町高城*2.2 大河原町新南*2.2 東松島市矢本*2.1 山元町浅生原*2.1 涌谷町新町裏*2.0 石巻市大街道南*2.0 石巻市桃生町*2.0 登米市米山町*2.0 名取市増田*2.0 蔵王町円田*1.8 登米市中田町*1.8 利府町利府*1.8 大崎市松山*1.8 栗原市若柳*1.8 登米市南方町*1.8 登米市迫町*1.8 大崎市古川三日町*1.7 仙台空港*1.7 仙台宮城野区苦竹*1.7 大崎市鹿島台*1.7 石巻市相野谷*1.7 石巻市前谷地*1.6 大崎市古川旭*1.6 登米市登米*1.6 宮城加美町中新田*1.5 仙台若林区遠見塚*1.5 白石市亘理町*1.5 村田町村田*1.5 宮城川崎町前川*1.5 1 色麻町四竈*1.4 宮城美里町北浦*1.4 大郷町粕川*1.4 丸森町上滝*1.3 七ヶ浜町東宮浜*1.3 気仙沼市赤岩*1.3 気仙沼市笹が陣*1.2 柴田町船岡*1.2 仙台宮城野区五輪*1.2 仙台太白区山田*1.2 仙台泉区将監*1.2 栗原市築館*1.2 栗原市志波姫*1.1 石巻市北上町*1.1 東松島市小野*1.1 栗原市高清水*1.1 大衡村大衡*1.1 大崎市三本木*1.1 登米市石越町*1.0 塩竈市今宮町*1.0 仙台青葉区雨宮*1.0 仙台青葉区落合*1.0 宮城加美町小野田*1.0 大崎市岩出山*0.9 栗原市一迫*0.9 大和町吉岡*0.9 気仙沼市唐桑町*0.8 宮城加美町宮崎*0.8 富谷市富谷*0.8 石巻市泉町*0.8 石巻市鮎川浜*0.7 石巻市雄勝町*0.7 多賀城市中央*0.7 仙台青葉区大倉*0.7 栗原市金成*0.7 栗原市鶯沢*0.6 栗原市栗駒*0.6 南三陸町志津川*0.5 登米市東和町*0.5 女川町女川*0.5 3 高根沢町石末*3.2 宇都宮市明保野町*3.1 下野市田中*3.1 鹿沼市晃望台*3.0 益子町益子*2.9 下野市笹原*2.9 野木町丸林*2.8 壬生町壬生甲*2.7 宇都宮市中岡本町*2.7 栃木市岩舟町静*2.7 佐野市市沼町*2.6 小山市神鳥谷*2.6 栃木市藤岡町藤岡*2.6 栃木市旭町*2.5 栃木市大平町富田*2.5 2 宇都宮市旭*2.4 宇都宮市中里町*2.4 栃木市西方町本城*2.4 栃木市万町*2.4 佐野市葛生東*2.4 佐野市高砂町*2.4 鹿沼市口栗野*2.4 真岡市田町*2.4 真岡市荒町*2.4 上三川町しらさぎ*2.4 市貝町市塙*2.4 栃木さくら市氏家*2.4 芳賀町祖母井*2.3 栃木那珂川町小川*2.3 宇都宮市塙田*2.3 日光市芹沼*2.2 那須町寺子*2.2 栃木市都賀町家中*2.2 那須烏山市大金*2.2 下野市大松山*2.2 茂木町茂木*2.1 矢板市本町*2.1 塩谷町玉生*2.1 足利市大正町*2.1 佐野市中町*2.1				
		茨城県				
		宮城県				
		栃木県				

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		群馬県				栃木さくら市喜連川＊=2.0 日光市御幸町＊=1.9 大田原市本町＊=1.9 茂木町北高岡天矢場＊=1.9 那須塩原市鍋掛＊=1.8 那須塩原市共壘社＊=1.8 那須塩原市あたご町＊=1.8 那須塩原市塩原庁舎＊=1.8 那須烏山市神長=1.8 鹿沼市今宮町＊=1.8 日光市瀬川=1.7 日光市鬼怒川温泉大原＊=1.7 日光市湯元＊=1.7 栃木那珂川町馬頭＊=1.7 日光市足尾町中才＊=1.7 日光市中宮祠=1.5 日光市藤原庁舎＊=1.5 大田原市黒羽田町=1.5 1 日光市足尾町通洞＊=1.4 日光市今市本町＊=1.4 那須塩原市薹沼=1.4 那須烏山市役所＊=1.4 日光市黒部＊=1.3 那須塩原市中塩原＊=1.1 3 板倉町板倉=2.6 2 邑楽町中野＊=2.4 館林市上三林町＊=2.2 渋川市赤城町＊=2.2 群馬明和町新里＊=2.2 千代田町赤岩＊=2.1 大泉町日の出＊=2.1 沼田市白沢町＊=2.0 館林市城町＊=2.0 桐生市黒保根町＊=1.9 渋川市吹屋＊=1.9 安中市安中＊=1.9 前橋市富士見町＊=1.8 桐生市元宿町＊=1.8 吉岡町下野田＊=1.8 太田市西本町＊=1.7 伊勢崎市西久保町＊=1.6 太田市粕川町＊=1.6 富岡市妙義町＊=1.6 前橋市粕川町＊=1.6 桐生市美原町=1.6 渋川市北橋町＊=1.5 沼田市西倉内町=1.5 高崎市高松町＊=1.5 桐生市新里町＊=1.5 1 沼田山下久屋町＊=1.4 太田市浜町＊=1.4 富岡市七日市=1.4 安中市松井田町＊=1.4 みどり市大間々町＊=1.4 前橋市堀越町＊=1.3 高崎市箕郷町＊=1.3 高崎市吉井町吉井川＊=1.3 渋川市有馬＊=1.3 渋川市石原＊=1.3 群馬昭和村糸井＊=1.2 太田市新田金井町＊=1.2 太田市大原町＊=1.2 渋川市伊香保町＊=1.2 甘楽町小幡＊=1.2 高崎市新町＊=1.1 伊勢崎市今泉町＊=1.1 伊勢崎市境＊=1.1 伊勢崎市東町＊=1.1 藤岡市鬼石＊=1.1 みどり市東町＊=1.1 みどり市笠懸町＊=1.1 沼田市尾瀬高等学校=1.0 榛東村新井＊=1.0 神流町生利＊=1.0 玉村町下新田＊=1.0 前橋市駒形町＊=1.0 前橋市鼻毛石町＊=1.0 みなかみ町布施＊=0.9 高崎市足門町＊=0.9 高崎山下室田＊=0.8 片品村鎌田＊=0.7 前橋市昭和町=0.7 前橋市大手町＊=0.7 神流町神ヶ原＊=0.6 高崎市倉沢町＊=0.6 渋川市村上＊=0.6 みなかみ町後閑＊=0.6 東吾妻町奥田＊=0.6 群馬高山村中山＊=0.5 3 春日部市谷原新田＊=2.8 宮代町笠原＊=2.8 春日部市粕壁＊=2.7 加須市大利根＊=2.6 熊谷市大里＊=2.5 蕨市中央＊=2.5 富士見市鶴馬＊=2.5 吉川市きよみ野＊=2.5 2 鴻巣市吹上富士見＊=2.4 久喜市下早見=2.4 春日部市金崎＊=2.4 幸手市東＊=2.4 さいたま緑区中尾＊=2.4 川口市中青木分室＊=2.3 川口市安行領家＊=2.3 越谷市越ヶ谷＊=2.3 桶川市泉＊=2.3 伊奈町中央＊=2.3 川島町下八ツ林＊=2.3 さいたま北区宮原＊=2.3 さいたま大宮区天沼町＊=2.3 さいたま南区別所＊=2.3 さいたま岩槻区本丸＊=2.3 加須市騎西＊=2.3 加須市北川辺＊=2.3 八潮市中央＊=2.2 杉戸町清地＊=2.2 さいたま大宮区大門＊=2.2 さいたま見沼区堀崎＊=2.2 白岡市千駄野＊=2.2 鴻巣市中央＊=2.2 久喜市青葉＊=2.2 久喜市栗橋＊=2.2 吉見町下細谷＊=2.2 川口市三ツ和＊=2.1 狭山市入間川＊=2.1 草加市中央＊=2.1 戸田市上戸田＊=2.1 三郷市中央＊=2.1 松伏町松伏＊=2.1 さいたま中央区下落合＊=2.1 さいたま浦和区高砂=2.1 行田市本丸＊=2.1 行田市南河原＊=2.1 加須市三俣＊=2.1 久喜市菖蒲＊=2.1 朝霞市本町＊=2.0 鶴ヶ島市三ツ木＊=2.0 久喜市鷺宮＊=2.0 蓮田市黒浜＊=1.9 埼玉三芳町藤久保＊=1.9 毛呂山町中央＊=1.9 さいたま西区指扇＊=1.9 さいたま桜区道場＊=1.9 熊谷市妻沼＊=1.9 志木市中宗岡＊=1.9 和光市広沢＊=1.9 新座市野火止＊=1.9 東松山市市ノ川＊=1.9 東松山市松葉町＊=1.9 北本市本町＊=1.8 上尾市本町＊=1.8 ふじみ野市大井＊=1.8 秩父市上町=1.7 坂戸市千代田＊=1.7 埼玉美里町本部＊=1.7 入間市豊岡＊=1.7 本庄市児玉町=1.7 鴻巣市川里＊=1.7 秩父市近戸町＊=1.6 所沢市北有楽町＊=1.6 越生町越生＊=1.6 羽生市東＊=1.6 深谷市仲町＊=1.6 さいたま浦和区常盤＊=1.6 ふじみ野市福岡＊=1.6 熊谷市江南＊=1.6 深谷市川本＊=1.5 熊谷市桜町=1.5 熊谷市宮町＊=1.5 滑川町福田＊=1.5 嵐山町杉山＊=1.5 秩父市熊木町＊=1.5 ときがわ町桃木＊=1.5 ときがわ町玉川＊=1.5 川越市新宿町＊=1.5 1 深谷市花園＊=1.4 川越市旭町=1.4 日高市南平沢＊=1.4 秩父市荒川＊=1.3 深谷市普濟寺＊=1.3 小川町大塚＊=1.3 鳩山町大豆戸=1.3 埼玉神川町植竹＊=1.3 所沢市並木＊=1.2 横瀬町横瀬＊=1.2 長瀬町野上下郷＊=1.1 小鹿野町役場両神庁舎＊=1.1 寄居町寄居＊=1.1 埼玉神川町下阿久原＊=1.0 上里町七本木＊=1.0 飯能市下直竹=1.0 飯能市征矢町＊=1.0 飯能市双柳＊=1.0 東秩父村御堂＊=0.9 飯能市名栗＊=0.9 皆野町皆野＊=0.9 本庄市本庄＊=0.9 秩父市吉田＊=0.8 長瀬町本野上＊=0.8 3 市原市姉崎＊=3.1 印西市大森＊=2.9 野田市鶴奉＊=2.8 印西市笠神＊=2.7 木更津市富士見＊=2.7 香取市羽根川＊=2.6 千葉花見川区花島町＊=2.5 柏市柏＊=2.5 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=2.5 浦安市日の出=2.5 白井市復＊=2.5 南房総市岩糸＊=2.5 2 旭市南堀之内＊=2.4 香取市役所＊=2.4 千葉美浜区ひび野=2.4 船橋市湊町＊=2.4 松戸市西馬橋＊=2.4 我孫子市我孫子＊=2.4 いすみ市岬町長者＊=2.4 千葉佐倉市海隣寺町＊=2.3 流山市平和台＊=2.3 八千代市大和田新田＊=2.3 栄町安食台＊=2.3 君津市久留里市場＊=2.3 鋸南町下佐久間＊=2.3 東金市日吉台＊=2.2 長南町長南＊=2.2 千葉中央区中央港=2.2 成田市役所＊=2.2 習志野市鷺沼＊=2.2 柏市旭町=2.2 柏市大島田＊=2.2 浦安市猫実＊=2.2 君津市久保＊=2.2 館山市長須賀=2.1 館山市北条＊=2.1 鴨川市横渚＊=2.1 南房総市谷向＊=2.1 神崎町神崎本宿＊=2.1 多古町多古=2.1 山武市埴谷＊=2.1 大網白里市大網＊=2.1 千葉中央区千葉市役所＊=2.1 千葉稲毛区園生町＊=2.1 野田市東宝珠花＊=2.1 成田国際空港=2.1 成田市中台＊=2.1 銚子市若宮町＊=2.0 旭市高生＊=2.0 旭市ニ＊=2.0 印西市美瀬＊=2.0 長南町総合グラウンド=2.0 鴨川市八色=2.0 匝瑳市八日市場ハ＊=2.0 香取市佐原平田=2.0 香取市仁良＊=2.0 いすみ市国府台＊=2.0 山武市蓮沼ニ＊=2.0 千葉緑区おゆみ野＊=2.0 市川市八幡＊=2.0 東庄町笹川＊=1.9 睦沢町下之郷＊=1.9 木更津市太田=1.9 勝浦市墨名=1.9 香取市佐原諏訪台＊=1.9 富津市下飯野＊=1.9 香取市岩部＊=1.9 横芝光町栗山＊=1.9 山武市殿台＊=1.9 山武市蓮沼ハ＊=1.9 千葉若葉区小倉台＊=1.9 東金市東岩崎＊=1.9 四街道市鹿渡＊=1.9 茂原市道表＊=1.8 千葉美浜区稲毛海岸＊=1.8 東金市東新宿=1.8 成田市名古屋=1.8 旭市萩園＊=1.8 九十九里町片貝＊=1.8 芝山町小池＊=1.8 白子町関＊=1.8 八街市八街＊=1.8 富里市七栄＊=1.8 勝浦市新官＊=1.8 横芝光町宮川＊=1.8 山武市松尾町富士見台=1.8 山武市松尾町五反田＊=1.8 市原市国分寺台中央＊=1.7 銚子市川口町=1.7 酒々井町中央台＊=1.7 一宮町一宮=1.7 松戸市根本＊=1.7 袖ヶ浦市坂戸市場＊=1.7 大多喜町大多喜＊=1.7 御宿町須賀＊=1.7 長生村本郷＊=1.7 成田市松子＊=1.7 銚子市小畑新町=1.6 南房総市富浦町青木＊=1.6 南房総市千倉町瀬戸＊=1.6 長柄町桜谷＊=1.6 匝瑳市今泉＊=1.6 いすみ市大原＊=1.5 南房総市白浜町白浜＊=1.5 成田市猿山＊=1.5
		埼玉県				春日部市谷原新田＊=2.8 宮代町笠原＊=2.8 春日部市粕壁＊=2.7 加須市大利根＊=2.6 熊谷市大里＊=2.5 蕨市中央＊=2.5 富士見市鶴馬＊=2.5 吉川市きよみ野＊=2.5 2 鴻巣市吹上富士見＊=2.4 久喜市下早見=2.4 春日部市金崎＊=2.4 幸手市東＊=2.4 さいたま緑区中尾＊=2.4 川口市中青木分室＊=2.3 川口市安行領家＊=2.3 越谷市越ヶ谷＊=2.3 桶川市泉＊=2.3 伊奈町中央＊=2.3 川島町下八ツ林＊=2.3 さいたま北区宮原＊=2.3 さいたま大宮区天沼町＊=2.3 さいたま南区別所＊=2.3 さいたま岩槻区本丸＊=2.3 加須市騎西＊=2.3 加須市北川辺＊=2.3 八潮市中央＊=2.2 杉戸町清地＊=2.2 さいたま大宮区大門＊=2.2 さいたま見沼区堀崎＊=2.2 白岡市千駄野＊=2.2 鴻巣市中央＊=2.2 久喜市青葉＊=2.2 久喜市栗橋＊=2.2 吉見町下細谷＊=2.2 川口市三ツ和＊=2.1 狭山市入間川＊=2.1 草加市中央＊=2.1 戸田市上戸田＊=2.1 三郷市中央＊=2.1 松伏町松伏＊=2.1 さいたま中央区下落合＊=2.1 さいたま浦和区高砂=2.1 行田市本丸＊=2.1 行田市南河原＊=2.1 加須市三俣＊=2.1 久喜市菖蒲＊=2.1 朝霞市本町＊=2.0 鶴ヶ島市三ツ木＊=2.0 久喜市鷺宮＊=2.0 蓮田市黒浜＊=1.9 埼玉三芳町藤久保＊=1.9 毛呂山町中央＊=1.9 さいたま西区指扇＊=1.9 さいたま桜区道場＊=1.9 熊谷市妻沼＊=1.9 志木市中宗岡＊=1.9 和光市広沢＊=1.9 新座市野火止＊=1.9 東松山市市ノ川＊=1.9 東松山市松葉町＊=1.9 北本市本町＊=1.8 上尾市本町＊=1.8 ふじみ野市大井＊=1.8 秩父市上町=1.7 坂戸市千代田＊=1.7 埼玉美里町本部＊=1.7 入間市豊岡＊=1.7 本庄市児玉町=1.7 鴻巣市川里＊=1.7 秩父市近戸町＊=1.6 所沢市北有楽町＊=1.6 越生町越生＊=1.6 羽生市東＊=1.6 深谷市仲町＊=1.6 さいたま浦和区常盤＊=1.6 ふじみ野市福岡＊=1.6 熊谷市江南＊=1.6 深谷市川本＊=1.5 熊谷市桜町=1.5 熊谷市宮町＊=1.5 滑川町福田＊=1.5 嵐山町杉山＊=1.5 秩父市熊木町＊=1.5 ときがわ町桃木＊=1.5 ときがわ町玉川＊=1.5 川越市新宿町＊=1.5 1 深谷市花園＊=1.4 川越市旭町=1.4 日高市南平沢＊=1.4 秩父市荒川＊=1.3 深谷市普濟寺＊=1.3 小川町大塚＊=1.3 鳩山町大豆戸=1.3 埼玉神川町植竹＊=1.3 所沢市並木＊=1.2 横瀬町横瀬＊=1.2 長瀬町野上下郷＊=1.1 小鹿野町役場両神庁舎＊=1.1 寄居町寄居＊=1.1 埼玉神川町下阿久原＊=1.0 上里町七本木＊=1.0 飯能市下直竹=1.0 飯能市征矢町＊=1.0 飯能市双柳＊=1.0 東秩父村御堂＊=0.9 飯能市名栗＊=0.9 皆野町皆野＊=0.9 本庄市本庄＊=0.9 秩父市吉田＊=0.8 長瀬町本野上＊=0.8 3 市原市姉崎＊=3.1 印西市大森＊=2.9 野田市鶴奉＊=2.8 印西市笠神＊=2.7 木更津市富士見＊=2.7 香取市羽根川＊=2.6 千葉花見川区花島町＊=2.5 柏市柏＊=2.5 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=2.5 浦安市日の出=2.5 白井市復＊=2.5 南房総市岩糸＊=2.5 2 旭市南堀之内＊=2.4 香取市役所＊=2.4 千葉美浜区ひび野=2.4 船橋市湊町＊=2.4 松戸市西馬橋＊=2.4 我孫子市我孫子＊=2.4 いすみ市岬町長者＊=2.4 千葉佐倉市海隣寺町＊=2.3 流山市平和台＊=2.3 八千代市大和田新田＊=2.3 栄町安食台＊=2.3 君津市久留里市場＊=2.3 鋸南町下佐久間＊=2.3 東金市日吉台＊=2.2 長南町長南＊=2.2 千葉中央区中央港=2.2 成田市役所＊=2.2 習志野市鷺沼＊=2.2 柏市旭町=2.2 柏市大島田＊=2.2 浦安市猫実＊=2.2 君津市久保＊=2.2 館山市長須賀=2.1 館山市北条＊=2.1 鴨川市横渚＊=2.1 南房総市谷向＊=2.1 神崎町神崎本宿＊=2.1 多古町多古=2.1 山武市埴谷＊=2.1 大網白里市大網＊=2.1 千葉中央区千葉市役所＊=2.1 千葉稲毛区園生町＊=2.1 野田市東宝珠花＊=2.1 成田国際空港=2.1 成田市中台＊=2.1 銚子市若宮町＊=2.0 旭市高生＊=2.0 旭市ニ＊=2.0 印西市美瀬＊=2.0 長南町総合グラウンド=2.0 鴨川市八色=2.0 匝瑳市八日市場ハ＊=2.0 香取市佐原平田=2.0 香取市仁良＊=2.0 いすみ市国府台＊=2.0 山武市蓮沼ニ＊=2.0 千葉緑区おゆみ野＊=2.0 市川市八幡＊=2.0 東庄町笹川＊=1.9 睦沢町下之郷＊=1.9 木更津市太田=1.9 勝浦市墨名=1.9 香取市佐原諏訪台＊=1.9 富津市下飯野＊=1.9 香取市岩部＊=1.9 横芝光町栗山＊=1.9 山武市殿台＊=1.9 山武市蓮沼ハ＊=1.9 千葉若葉区小倉台＊=1.9 東金市東岩崎＊=1.9 四街道市鹿渡＊=1.9 茂原市道表＊=1.8 千葉美浜区稲毛海岸＊=1.8 東金市東新宿=1.8 成田市名古屋=1.8 旭市萩園＊=1.8 九十九里町片貝＊=1.8 芝山町小池＊=1.8 白子町関＊=1.8 八街市八街＊=1.8 富里市七栄＊=1.8 勝浦市新官＊=1.8 横芝光町宮川＊=1.8 山武市松尾町富士見台=1.8 山武市松尾町五反田＊=1.8 市原市国分寺台中央＊=1.7 銚子市川口町=1.7 酒々井町中央台＊=1.7 一宮町一宮=1.7 松戸市根本＊=1.7 袖ヶ浦市坂戸市場＊=1.7 大多喜町大多喜＊=1.7 御宿町須賀＊=1.7 長生村本郷＊=1.7 成田市松子＊=1.7 銚子市小畑新町=1.6 南房総市富浦町青木＊=1.6 南房総市千倉町瀬戸＊=1.6 長柄町桜谷＊=1.6 匝瑳市今泉＊=1.6 いすみ市大原＊=1.5 南房総市白浜町白浜＊=1.5 成田市猿山＊=1.5

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京都 1 南房総市上堀=1.4 南房総市和田町*=1.4 南房総市久枝*=1.3 鴨川市内浦=1.2 鴨川市天津*=1.2 3 東京千代田区大手町=3.2 東京北区西ヶ原*=2.6 東京江戸川区中央=2.6 東京中野区中野*=2.5 2 東京江東区越中島*=2.4 東京世田谷区三軒茶屋*=2.4 東京渋谷区宇田川町*=2.4 東京練馬区豊玉北*=2.4 東京中央区勝どき*=2.3 東京港区海岸=2.3 東京港区白金*=2.3 東京品川区平塚*=2.3 東京国際空港=2.3 東京足立区神明南*=2.3 東京足立区伊興*=2.3 東京葛飾区立石*=2.3 町田市本町田*=2.3 東京千代田区麹町*=2.2 東京新宿区百人町*=2.2 東京江東区森下*=2.2 東京江東区枝川*=2.2 東京渋谷区本町*=2.2 東京荒川区東尾久*=2.2 東京練馬区光が丘*=2.2 東京江戸川区船堀*=2.2 西東京市中町*=2.2 東京墨田区東向島*=2.1 東京品川区北品川*=2.1 東京荒川区荒川*=2.1 東京足立区千住中居町*=2.1 東京葛飾区金町*=2.1 調布市西つづじヶ丘*=2.1 小平市小川町*=2.1 東京大田区本羽田*=2.0 東京大田区多摩川*=2.0 東京世田谷区世田谷*=2.0 東京杉並区桃井*=2.0 東京板橋区高島平*=2.0 東京板橋区相生町*=2.0 東京練馬区東大泉*=2.0 東京江戸川区鹿骨*=2.0 東村山市本町*=2.0 東京中央区築地*=2.0 東京新宿区上落合*=2.0 東京文京区本郷*=2.0 東京台東区千束*=2.0 東京江東区青海=2.0 東京江東区東陽*=2.0 八王子市堀之内*=1.9 東京府中市朝日町*=1.9 小金井市本町*=1.9 東京千代田区富士見*=1.9 日野市神明*=1.9 東京中央区日本橋兜町*=1.9 東京新宿区歌舞伎町*=1.9 東京文京区大塚*=1.9 東京江東区亀戸*=1.9 東京世田谷区成城*=1.9 町田市忠生*=1.8 東京港区南青山*=1.8 東村山市美住町*=1.8 国分寺市本多*=1.8 東京文京区スポーツセンタ*=1.8 東大和市中央*=1.8 東京台東区東上野*=1.8 東京目黒区中央町*=1.8 東京世田谷区中町*=1.8 東京杉並区高井戸*=1.8 東京北区赤羽南*=1.8 東京港区芝公園*=1.7 八王子市石川町*=1.7 国分寺市戸倉=1.7 羽村市緑ヶ丘*=1.7 三鷹市野崎*=1.6 昭島市田中町*=1.6 東京品川区広町*=1.6 福生市熊川*=1.6 武蔵村山市本町*=1.6 多摩市関戸*=1.6 稲城市東長沼*=1.6 瑞穂町箱根ヶ崎*=1.6 東京中野区江古田*=1.6 東京中野区中央*=1.6 東京新宿区西新宿=1.6 東京足立区中央本町*=1.6 東京墨田区横川=1.6 東京墨田区吾妻橋*=1.6 青梅市日向和田*=1.5 神津島村金長=1.5 東京大田区大森東*=1.5 武蔵野市緑町*=1.5 武蔵野市吉祥寺東町*=1.5 町田市森野*=1.5 東京豊島区南池袋*=1.5 狛江市和泉本町*=1.5 清瀬市中清戸*=1.5 東京板橋区板橋*=1.5 1 東京杉並区阿佐谷=1.4 八王子市大横町=1.4 国立市富士見台*=1.4 清瀬市中里*=1.4 神津島村役場*=1.4 東京大田区蒲田*=1.3 東京府中市寿町*=1.3 調布市小島町*=1.3 あきる野市伊奈*=1.3 三宅村阿古*=1.3 立川市泉町*=1.2 多摩市鶴牧*=1.2 青梅市東青梅=1.2 新島村大原=1.2 新島村本村*=1.2 小笠原村母島=1.2 日の出町平井*=1.1 伊豆大島町差木地=1.1 伊豆大島町波浮港*=1.1 東京利島村東山=1.1 三宅村坪田=1.1 檜原村本宿*=1.0 伊豆大島町元町=1.0 新島村式根島=1.0 小笠原村父島三日月山=0.7 御蔵島村西川=0.5 神奈川県 3 横浜神奈川区神大寺*=2.8 横浜中区山吹町*=2.5 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=2.5 横浜戸塚区鳥が丘*=2.5 2 横浜中区山下町*=2.4 横浜港北区日吉本町*=2.4 横浜神奈川区広台太田町*=2.3 横浜中区山手町=2.3 川崎中原区小杉町*=2.3 二宮町中里*=2.3 厚木市中町*=2.3 川崎川崎区宮前町*=2.2 川崎川崎区千鳥町*=2.2 川崎宮前区宮前平*=2.2 川崎宮前区野川*=2.2 横浜西区浜松町*=2.1 横浜港南区野庭町*=2.1 横浜旭区川井宿町*=2.1 横浜緑区十日市場町*=2.1 横浜緑区鴨居*=2.1 横浜青葉区榎が丘*=2.1 海老名市大谷*=2.1 横浜鶴見区末広町*=2.0 横浜瀬谷区中屋敷*=2.0 横浜瀬谷区三ツ境*=2.0 横浜青葉区市ヶ尾町*=2.0 横浜都筑区池辺町*=2.0 藤沢市長後*=2.0 三浦市城山町*=2.0 寒川町宮山*=2.0 相模原南区相模大野*=2.0 横浜鶴見区鶴見*=1.9 横浜中区日本大通*=1.9 横浜磯子区磯子*=1.9 横浜金沢区釜利谷南*=1.9 横浜港南区丸山台北部*=1.9 横浜栄区小菅ヶ谷*=1.9 綾瀬市深谷中*=1.9 厚木市下津古久*=1.9 清川村煤ヶ谷*=1.9 相模原中央区上溝*=1.9 相模原中央区水郷田名*=1.9 相模原緑区橋本*=1.9 横浜鶴見区馬場*=1.8 横浜西区みなとみらい*=1.8 横浜南区六ツ川*=1.8 横浜戸塚区戸塚町*=1.8 横浜旭区今宿東町*=1.8 横浜泉区和泉町*=1.8 川崎川崎区中島*=1.8 藤沢市打戻*=1.8 小田原市荻窪*=1.8 神奈川大井町金子*=1.8 横浜港北区大倉山*=1.7 横浜港北区綱島西*=1.7 横浜旭区上白根町*=1.7 横浜泉区岡津町*=1.7 横浜青葉区美しが丘*=1.7 横浜都筑区茅ヶ崎*=1.7 川崎中原区小杉陣屋町=1.7 横須賀市光の丘=1.7 藤沢市大庭*=1.7 藤沢市辻堂西海岸*=1.7 秦野市曽屋=1.7 湯河原町中央=1.7 愛川町角田*=1.7 横浜磯子区洋光台*=1.7 横浜金沢区白帆*=1.7 平塚市浅間町*=1.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.6 横浜保土ヶ谷区神戸町*=1.6 伊勢原市伊勢原*=1.6 横浜旭区大池町*=1.6 川崎高津区下作延*=1.5 川崎多摩区登戸*=1.5 川崎麻生区片平*=1.5 横須賀市坂本町*=1.5 藤沢市朝日町*=1.5 横浜南区大岡*=1.5 大和市下鶴間*=1.5 座間市相武台*=1.5 秦野市平沢*=1.5 横浜戸塚区平戸町*=1.5 相模原緑区久保沢*=1.5 1 横浜金沢区寺前*=1.4 川崎幸区戸手本町*=1.4 鎌倉市御成町*=1.4 南足柄市関本*=1.4 中井町比奈窪*=1.4 松田町松田惣領*=1.4 相模原南区磯部*=1.4 相模原緑区中野*=1.4 川崎麻生区万福寺*=1.2 逗子市桜山*=1.2 横浜栄区桂台南*=1.1 大磯町月京*=1.1 山北町山北*=1.1 相模原緑区若柳=1.1 相模原緑区小淵*=0.9 箱根町湯本*=0.8 小田原市久野=0.6 青森県 2 階上町道仏*=1.5 1 八戸市南郷*=1.1 五戸町古館=0.7 おいらせ町中下田*=0.7 鶴田町鶴田*=0.7 六戸町犬落瀬*=0.7 東北町上北南*=0.7 八戸市内丸*=0.6 青森南部町平*=0.6 おいらせ町上明堂*=0.6 外ヶ浜町蟹田*=0.6 岩手県 2 普代村銅屋*=1.5 一関市千厩町*=1.5 1 釜石市中妻町*=1.4 矢巾町南矢幅*=1.4 一関市花泉町*=1.3 花巻市石鳥谷町*=1.2 奥州市水沢大鐘町=1.1 盛岡市藪川*=1.1 一関市室根町*=1.1 大船渡市大船渡町=1.0 宮古市田老*=1.0 盛岡市山王町=0.8 一関市藤沢町*=0.8 山田町大沢*=0.8 住田町世田米*=0.8 宮古市五月町*=0.7 北上市柳原町=0.7 遠野市青笹町*=0.7 山田町八幡町=0.6 一関市東山町*=0.5 大船渡市盛町*=0.5 山形県 2 中山町長崎*=1.8 1 上山市河崎*=1.4 村山市中央*=1.3 山形川西町上小松*=1.3 天童市老野森*=1.1 山辺町緑ヶ丘*=1.1 河北町谷地=1.1 河北町役場*=1.1 酒田市飛鳥*=1.0 三川町横山*=1.0 最上町向町*=1.0 西川町大井沢*=1.0 米沢市林泉寺*=1.0 南陽市三間通*=1.0 高島町高島*=1.0 白鷹町荒砥*=1.0 鶴岡市温海川=1.0 鶴岡市藤島*=1.0 酒田市亀ヶ崎=0.9 米沢市アルカディア=0.8				

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		山形小国町小国小坂町※=0.7 新潟県 2 加茂市幸町※=1.5 1 南魚沼市六日町=1.4 燕市秋葉町※=1.2 新潟中央区美咲町=1.2 新潟江南区泉町※=1.2 新潟西区寺尾東※=1.2 三条市西裏館※=1.1刈羽村割町新田※=1.1 新潟東区下木戸※=1.1 新潟南区白根※=1.1 三条市新堀※=1.0 田上町原ヶ崎新田※=1.0 村上市岩船駅前※=1.0 長岡市浦※=0.8 上越市中ノ俣=0.7 魚沼市須原※=0.5 石川県 2 輪島市鳳至町=1.6 1 七尾市本府中町=0.8 輪島市河井町※=0.8 山梨県 2 忍野村忍草※=2.0 山中湖村山中※=1.8 上野原市役所※=1.5 1 甲府市飯田=1.2 甲州市塩山下於曽=1.2 甲州市塩山上於曽※=1.2 大月市御太刀※=1.2 富士河口湖町長浜※=1.2 山梨北杜市長坂町※=1.1 甲州市勝沼町勝沼※=1.1 大月市大月=0.8 上野原市四方津=0.8 富士河口湖町船津=0.8 丹波山村丹波※=0.6 長野県 2 長野南牧村海ノ口※=2.1 佐久市中込※=1.7 諏訪市湖岸通り=1.6 1 諏訪市高島※=1.4 長野市豊野町豊野※=1.2 茅野市葛井公園※=1.2 軽井沢町追分=1.2 御代田町役場※=1.2 長野市箱清水=1.0 須坂市須坂※=1.0 信濃町柏原東裏※=1.0 軽井沢町長倉※=1.0 原村役場※=1.0 立科町芦田※=0.9 飯綱町芋川※=0.9 小諸市文化センター※=0.9 佐久市臼田※=0.9 佐久市甲※=0.8 千曲市杭瀬下※=0.8 長野市戸隠※=0.7 千曲市戸倉※=0.6 佐久市望月※=0.6 長野川上村大深山※=0.6 北相木村役場※=0.6 富士見町落合※=0.6 中野市豊津※=0.6 小布施町小布施※=0.6 小海町豊里※=0.5 南相木村見上※=0.5 坂城町坂城※=0.5 長野高山村高井※=0.5 静岡県 2 松崎町宮内※=1.7 伊東市大原=1.6 1 伊豆市中伊豆グラウンド=1.3 静岡清水町堂庭※=1.3 熱海市網代=1.2 伊豆の国市長岡※=1.2 御殿場市萩原=1.2 御殿場市竈※=1.2 函南町平井※=1.1 富士市吉永※=1.1 小山町須走※=1.1 東伊豆町奈良本※=1.0 沼津市高島本町※=1.0 焼津市石津※=1.0 三島市大社町※=0.9 裾野市佐野※=0.9 長泉町中土狩※=0.9 静岡菊川市赤土※=0.9 伊東市八幡野※=0.8 沼津市御幸町※=0.8 沼津市原※=0.8 御殿場市茱萸沢※=0.8 静岡清水区千歳町=0.8 浜松南区江之島町※=0.8 西伊豆町仁科※=0.7 伊豆の国市田京※=0.7 小山町藤曲※=0.7 静岡駿河区用宗※=0.7 静岡葵区追手町県庁※=0.7 掛川市三俣※=0.7 掛川市長谷※=0.7 御前崎市池新田※=0.7 伊豆市八幡※=0.6 富士宮市弓沢町=0.6 富士宮市野中※=0.6 河津町田中※=0.6 西伊豆町宇久須※=0.6 浜松浜北区西美茵※=0.6 島田市金谷代官町※=0.5 静岡菊川市堀之内※=0.5 浜松東区流通元町※=0.5 北海道 1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉※=1.1 函館市新浜町※=0.8 別海町常盤=0.6 中札内村東2条※=0.6 秋田県 1 井川町北川尻※=0.8 横手市大雄※=0.8 横手市中央町※=0.7 湯沢市川連町※=0.6 富山県 1 氷見市加納※=0.9 岐阜県 1 中津川市かやの木町=0.7 島根県 1 益田市常盤町※=0.7 香川県 1 土庄町淵崎=0.5				
54	14 22 27	石川県能登地方 石川県 4 珠洲市正院町※=3.8 3 珠洲市大谷町※=3.3 珠洲市三崎町=2.5 2 能登町松波※=2.4 輪島市鳳至町=1.8 1 能登町宇出津=1.4 輪島市河井町※=1.3 穴水町大町※=0.9 七尾市袖ヶ江町※=0.8 七尾市本府中町=0.7 輪島市舩倉島=0.5 新潟県 1 上越市大手町=0.7 上越市木田※=0.6 上越市名立区名立大町※=0.5 富山県 1 舟橋村仏生寺※=1.0 氷見市加納※=0.5	37° 31.1' N	137° 15.5' E	12km	M: 4.2
55	15 05 00	長野県北部 36° 57.1' N 138° 29.1' E 10km M: 2.2 新潟県 1 上越市安塚区安塚※=0.6				
56	15 06 21	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町※=0.6	37° 30.8' N 137° 14.8' E 11km M: 2.7			
57	15 08 09	福島県沖 37° 50.3' N 141° 36.7' E 50km M: 3.8 宮城県 1 石巻市桃生町※=0.9 角田市角田※=0.5 福島県 1 大熊町大川原※=0.8				
58	15 08 54	岩手県沿岸南部 39° 22.7' N 141° 53.1' E 57km M: 3.1 岩手県 1 一関市大東町=0.6 一関市室根町※=0.6				
59	15 10 55	富山湾 37° 26.2' N 137° 20.6' E 6km M: 1.4 石川県 1 珠洲市正院町※=0.5				
60	16 15 59	広島県南西部 34° 26.8' N 132° 40.7' E 31km M: 3.0 広島県 1 東広島市西条栄町※=1.2 東広島市河内町※=1.0 坂町役場※=1.0 東広島市福富町※=0.9 広島中区羽衣町※=0.8 北広島町川小田※=0.7 呉市二河町※=0.6 海田町上市※=0.6 熊野町役場※=0.6 東広島市黒瀬町=0.6 呉市広※=0.5 呉市郷原町※=0.5 広島安芸区中野※=0.5				
61	16 19 04	与那国島近海 24° 19.9' N 122° 59.0' E 47km M: 3.3 沖縄県 1 与那国町久部良=0.7				
62	16 23 26	宮崎県北部平野部 32° 09.3' N 131° 28.5' E 44km M: 2.5 宮崎県 1 西都市上の宮※=0.9				

令和 4 年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
63	17 06 03	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島※=0.5	29° 16.0' N	129° 11.94' E	15km	M: -. -
64	17 09 28	青森県東方沖 青森県 3 八戸市南郷※=3.3 階上町道仏※=3.2 八戸市内丸※=2.9 八戸市湊町=2.9 青森南部町苫米地※=2.8 六戸町犬落瀬※=2.7 五戸町古館=2.6 野辺地町野辺地※=2.6 青森南部町平※=2.6 野辺地町田狭沢※=2.5 2 おいらせ町中下田※=2.4 五戸町倉石中市※=2.3 三戸町在府小路町※=2.2 三沢市桜町※=2.2 東通村砂子又沢内※=2.1 おいらせ町上明堂※=2.0 むつ市大畑町中島※=2.0 青森南部町沖田面※=2.0 東北町上北南※=1.9 七戸町森ノ上※=1.9 外ヶ浜町蟹田※=1.8 八戸市島守=1.8 十和田市奥瀬※=1.7 むつ市金谷※=1.7 七戸町七戸※=1.7 平内町小湊=1.7 東北町塔ノ沢山※=1.6 むつ市金曲=1.6 六ヶ所村尾駈=1.6 平内町東田沢※=1.6 横浜町林ノ脇※=1.5 五所川原市栄町=1.5 1 十和田市西二番町※=1.4 十和田市西十二番町※=1.4 横浜町寺下※=1.4 六ヶ所村出戸=1.4 田子町田子※=1.4 むつ市川内町※=1.4 東通村白糠※=1.4 東通村砂子又蒲谷地=1.3 青森市花園=1.2 蓬田村蓬田※=1.2 つがる市市柏※=1.2 つがる市車力町※=1.1 佐井村長後※=1.1 つがる市木造※=1.1 むつ市脇野沢※=1.1 新郷村戸来※=1.0 青森市中央※=1.0 つがる市稲垣町※=0.9 中泊町中里※=0.9 五所川原市敷島町※=0.9 五所川原市相内※=0.9 つがる市森田町※=0.8 五所川原市金木町※=0.8 東通村尻屋※=0.8 今別町今別※=0.7 むつ市大畑町奥薬研=0.6 鯉ヶ沢町舞戸町鳴戸=0.5 岩手県 3 軽米町軽米※=3.0 盛岡市薮川※=2.7 二戸市浄法寺町※=2.5 2 岩手洋野町大野※=2.4 久慈市枝成沢=2.3 岩手洋野町種市=2.3 一戸町高善寺※=2.2 八幡平市田頭※=2.2 九戸村伊保内※=2.2 普代村銅屋※=2.1 八幡平市叭田※=2.1 盛岡市渋民※=2.1 二戸市石切所※=1.9 二戸市福岡=1.8 久慈市川崎町=1.8 矢巾町南矢幅※=1.8 葛巻町葛巻元木=1.7 岩手町五日市※=1.7 野田村野田※=1.7 宮古市区界※=1.7 滝沢市鶴飼※=1.7 宮古市五月町※=1.6 宮古市田老※=1.5 盛岡市山王町=1.5 紫波町紫波中央駅前※=1.5 遠野市青笹町※=1.5 1 久慈市長内町※=1.4 八幡平市大更=1.4 八幡平市野駄※=1.4 盛岡市馬場町※=1.3 葛巻町消防分署※=1.3 宮古市川井※=1.3 花巻市東和町※=1.3 一関市千厩町※=1.3 大船渡市大船渡町=1.2 釜石市中妻町※=1.2 住田町世田米※=1.2 宮古市鍛ヶ崎=1.2 花巻市大迫町=1.2 花巻市石鳥谷町※=1.2 遠野市宮守町※=1.2 一関市室根町※=1.2 奥州市胆沢※=1.2 山田町大沢※=1.1 田野畑村役場※=1.1 北上市相去町※=1.1 一関市藤沢町※=1.1 雫石町千刈田=1.1 久慈市山形町※=1.1 北上市柳原町=1.0 岩泉町岩泉※=1.0 花巻市材木町※=1.0 奥州市江刺※=1.0 山田町八幡町=0.9 西和賀町沢内川舟※=0.9 奥州市前沢※=0.8 花巻市大迫総合支所※=0.8 釜石市只越町=0.8 金ヶ崎町西根※=0.8 平泉町平泉※=0.8 岩泉町大川※=0.7 田野畑村田野畑=0.7 一関市大東町=0.7 奥州市衣川※=0.7 一関市東山町※=0.7 奥州市水沢大鐘町=0.6 雫石町西根上駒木野=0.5 奥州市水沢佐倉河※=0.5 北海道 2 函館市泊町※=2.4 函館市新浜町※=1.7 むかわ町松風※=1.5 1 函館市大森町※=1.3 千歳市若草※=1.2 安平町早来北進※=1.2 厚真町鹿沼=1.1 函館市日ノ浜町※=1.1 えりも町えりも岬※=1.0 函館市美原=1.0 苫小牧市末広町=0.9 新千歳空港=0.9 室蘭市寿町※=0.9 様似町栄町※=0.9 千歳市支笏湖温泉※=0.8 江別市緑町※=0.8 日高地方日高町門別※=0.8 新ひだか町静内山手町=0.8 浦河町潮見=0.8 千歳市北栄=0.8 浦河町築地※=0.7 恵庭市京町※=0.7 胆振伊達市大滝区本町※=0.7 標津町北2条※=0.7 安平町追分柏が丘※=0.7 福島町福島※=0.6 七飯町桜町=0.6 標茶町塘路※=0.6 壮瞥町滝之町※=0.6 十勝大樹町生花※=0.5 七飯町本町※=0.5 新ひだか町三石旭町※=0.5 根室市瑤瑤瑤※=0.5 宮城県 1 気仙沼市赤岩=1.1 気仙沼市笹が陣※=1.1 石巻市桃生町※=1.1 気仙沼市唐桑町※=1.0 登米市迫町※=1.0 登米市南方町※=0.9 登米市中田町=0.8 登米市登米町※=0.8 登米市米山町※=0.7 栗原市栗駒=0.7 石巻市大街道南※=0.6 大崎市古川三日町=0.5 登米市東和町※=0.5 秋田県 1 大館市桜町※=1.2 鹿角市花輪※=1.2 小坂町小坂砂森※=1.2 三種町森岳※=1.1 大仙市高梨※=0.9 井川町北川尻※=0.8 大館市比内町扇田※=0.8 北秋田市米内沢※=0.8 湯上市昭和久保※=0.7 北秋田市新田目※=0.7 北秋田市花園町=0.6 大館市比内町味噌内=0.5	40° 43.8' N 142° 25.2' E 64km M: 5.0			
65	17 16 05	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町※=1.4 一関市東山町※=1.0 一関市室根町※=1.0 住田町世田米※=0.7 一関市藤沢町※=0.7 一関市大東町=0.6 大船渡市大船渡町=0.5 宮城県 1 涌谷町新町裏=1.0 東松島市小野※=0.9 仙台宮城野区苦竹※=0.8 石巻市桃生町※=0.8 岩沼市桜※=0.8 石巻市泉町=0.7 名取市増田※=0.7 石巻市大街道南※=0.6 石巻市鮎川浜※=0.6 大衡村大衡※=0.6	38° 20.3' N 141° 51.8' E 62km M: 3.6			
66	17 21 43	千葉県西北部 東京都 3 調布市西つつじヶ丘※=2.5 2 小平市小川町※=2.4 東京足立区神明南※=2.1 東京渋谷区本町※=2.1 東京足立区伊興※=2.0 東京港区海岸=2.0 東京千代田区大手町=2.0 東京荒川区東尾久※=1.9 東京足立区中央本町※=1.9 東京中央区勝どき※=1.9 東京北区西ヶ原※=1.9 東京江東区越中島※=1.8 東京江戸川区中央=1.8 東京練馬区豊玉北※=1.8 東京足立区千住中居町※=1.8 東京渋谷区宇田川町※=1.7 町田市本町田※=1.7 東京文京区本郷※=1.6 東京江戸川区船堀※=1.6 東京品川区北品川※=1.6 東京品川区平塚※=1.6 西東京市中町※=1.6 東京大田区多摩川※=1.6 東京世田谷区三軒茶屋※=1.6 東京世田谷区成城※=1.6 東京杉並区桃井※=1.6 東京板橋区高島平※=1.5 東京新宿区上落合※=1.5 東京新宿区百人町※=1.5 東京文京区スポーツセンタ※=1.5 東京文京区大塚※=1.5 東京葛飾区立石※=1.5 東京葛飾区金町※=1.5 東京台東区千束※=1.5 東京国際空港=1.5 東京世田谷区世田谷※=1.5 東京中野区中野※=1.5 東京荒川区荒川※=1.5 1 東京千代田区富士見※=1.4 東京墨田区東向島※=1.4 東京江東区森下※=1.4 東京大田区本羽田※=1.4 東京豊島区南池袋※=1.4 東京板橋区相生町※=1.4 東京江戸川区鹿骨※=1.4 国分寺市市戸倉=1.4 稲城市東長沼※=1.4 東京千代田区麹町※=1.3 東京中央区築地※=1.3 東京港区白金※=1.3 東京江東区東陽※=1.3 東京江東区亀戸※=1.3 東京江東区枝川※=1.3 東京目黒区中央町※=1.3 東京北区赤羽南※=1.3 東京練馬区光が丘※=1.3 八王子市堀之内※=1.3 調布市小島町※=1.3	35° 39.5' N 140° 04.5' E 72km M: 4.3			

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
		町田市忠生＊=1.3 東村山市本町＊=1.3 多摩市関戸＊=1.3 町田市森野＊=1.2 小金井市本町＊=1.2 東京江東区青海=1.2 狛江市和泉本町＊=1.2 東京杉並区高井戸＊=1.2 東京練馬区東大泉＊=1.2 東京港区南青山＊=1.2 東京新宿区西新宿=1.1 東京品川区広町＊=1.1 東京中央区日本橋兜町＊=1.0 東京府中市朝日町＊=1.0 東京墨田区吾妻橋＊=1.0 国分寺市本多＊=1.0 東大和市中央＊=1.0 東京世田谷区中町＊=1.0 東京中野区江古田＊=1.0 東京大田区大森東＊=0.9 東京杉並区阿佐谷=0.9 東京港区芝公園＊=0.9 東京新宿区歌舞伎町＊=0.9 東京墨田区横川=0.9 清瀬市中清戸＊=0.8 東京板橋区板橋＊=0.8 武蔵野市吉祥寺東町＊=0.8 日野市神明＊=0.8 東京台東区東上野＊=0.7 武蔵村山市本町＊=0.7 三鷹市野崎＊=0.7 東京府中市寿町＊=0.7 青梅市日向和田＊=0.6 東京大田区蒲田＊=0.6 武蔵野市緑町＊=0.5				
		2 常総市水海道諏訪町＊=1.9 笠間市石井＊=1.8 坂東市岩井=1.7 取手市井野＊=1.7 取手市寺田＊=1.6 稲敷市結佐＊=1.6 稲敷市江戸崎甲＊=1.5				
		1 土浦市常名=1.4 つくば市研究学園＊=1.4 つくばみらい市福田＊=1.3 龍ヶ崎市役所＊=1.3 牛久市中央＊=1.3 石岡市柿岡=1.3 河内町源清田＊=1.3 守谷市大柏＊=1.3 筑西市舟生=1.3 石岡市石岡＊=1.2 筑西市門井＊=1.2 つくばみらい市加藤＊=1.2 笠間市中央＊=1.2 坂東市馬立＊=1.2 美浦村受領＊=1.1 かすみがうら市大和田＊=1.1 桜川市羽田＊=1.1 稲敷市役所＊=1.1 阿見町中央＊=1.1 つくば市天王台＊=1.0 石岡市八郷＊=1.0 鉾田市鉾田=1.0 坂東市役所＊=1.0 城里町小勝＊=1.0 稲敷市賀賀津＊=1.0 小美玉市堅倉＊=1.0 石岡市若宮＊=1.0 かすみがうら市上土田＊=1.0 土浦市田中＊=0.9 利根町布川=0.9 笠間市下郷＊=0.9 行方市玉造＊=0.8 城里町石塚＊=0.8 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 茨城町小堤＊=0.8 下妻市本城町＊=0.7 潮来市堀之内=0.5				
		2 草加市中央＊=1.8 八潮市中央＊=1.7 さいたま大宮区大門＊=1.7 宮代町笠原＊=1.6 川口市安行領家＊=1.6 春日部市粕壁＊=1.6 春日部市金崎＊=1.6 白岡市千駄野＊=1.5 富士見市鶴馬＊=1.5 三郷市中央＊=1.5 吉川市きよみ野＊=1.5 さいたま大宮区天沼町＊=1.5 春日部市谷原新田＊=1.5 さいたま南区別所＊=1.5				
		1 越谷市越ヶ谷＊=1.4 新座市野火止＊=1.4 幸手市東＊=1.4 さいたま浦和区高砂=1.4 さいたま緑区中尾＊=1.4 鴻巣市吹上富士見＊=1.3 川口市三ツ和＊=1.3 狭山市入間川＊=1.3 蕨市中央＊=1.3 さいたま見沼区堀崎＊=1.3 さいたま中央区下落合＊=1.3 さいたま北区宮原＊=1.2 久喜市下早見=1.2 川口市中青木分室＊=1.2 入間市豊岡＊=1.2 加須市大利根＊=1.2 さいたま緑区道場＊=1.1 朝霞市本町＊=1.1 和光市広沢＊=1.1 久喜市青葉＊=1.1 埼玉三芳町藤久保＊=1.1 久喜市栗橋＊=1.0 久喜市鷲宮＊=1.0 所沢市北有楽町＊=1.0 戸田市上戸田＊=1.0 加須市騎西＊=1.0 久喜市菖蒲＊=0.9 志木市中宗岡＊=0.9 蓮田市黒浜＊=0.9 松伏町松伏＊=0.9 上尾市本町＊=0.9 鴻巣市中央＊=0.8 さいたま浦和区常盤＊=0.8 伊奈町中央＊=0.8 川島町下八ツ林＊=0.8 さいたま西区指扇＊=0.8 桶川市泉＊=0.7 熊谷市大里＊=0.7 川越市旭町=0.7 鴻巣市川里＊=0.7 熊谷市江南＊=0.6 加須市北川辺＊=0.6 東松山市松葉町＊=0.6 北本市本町＊=0.5 所沢市並木＊=0.5 吉見町下細谷＊=0.5				
		2 船橋市湊町＊=2.1 千葉稲毛区園生町＊=2.0 千葉花見川区花島町＊=1.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=1.9 野田市鶴泰＊=1.8 千葉美浜区ひび野=1.8 松戸市西馬橋＊=1.8 白井市復＊=1.7 千葉中央区中央港=1.7 習志野市鷲沼＊=1.7 千葉緑区おゆみ野＊=1.6 千葉美浜区稲毛海岸＊=1.6 八千代市大和田新田＊=1.6 柏市旭町=1.5 流山市平和台＊=1.5 浦安市日の出=1.5 松戸市根本＊=1.5				
		1 千葉中央区千葉市役所＊=1.4 市原市姉崎＊=1.4 柏市柏＊=1.3 浦安市猫実＊=1.3 印西市大森＊=1.3 栄町安食台＊=1.3 木更津市富士見＊=1.3 長南町長南＊=1.3 山武市蓮谷＊=1.3 千葉若葉区小倉台＊=1.3 野田市東宝珠花＊=1.3 千葉佐倉市海隣寺町＊=1.2 君津市久留里市場＊=1.2 鋸南町下佐久間＊=1.2 市川市八幡＊=1.2 成田市名古屋=1.1 柏市大島田＊=1.1 我孫子市我孫子＊=1.1 四街道市鹿渡＊=1.1 印西市笠神＊=1.1 印西市美瀬＊=1.1 東金市日吉台＊=1.1 長南町総合グラウンド=1.1 富津市下飯野＊=1.1 香取市役所＊=1.1 八街市八街＊=1.0 山武市蓮沼ニ＊=1.0 神崎町神崎本宿＊=0.9 多古町多古=0.9 芝山町小池＊=0.9 成田国際空港=0.8 東金市東新宿=0.8 香取市佐原平田=0.8 香取市佐原諏訪台＊=0.8 木更津市太田=0.8 山武市松尾町富士見台=0.7 富里市七栄＊=0.6 一宮町一宮=0.5 館山市長須賀=0.5				
		2 横浜神奈川区神大寺＊=2.2 横浜神奈川区広台太田町＊=2.1 横浜港北区日吉本町＊=1.9 横浜青葉区市ケ尾町＊=1.9 川崎川崎区宮前町＊=1.9 三浦市城山町＊=1.9 横浜鶴見区馬場＊=1.8 相模原中央区上溝＊=1.8 横浜中区山手町=1.6 横浜緑区鴨居＊=1.6 清川村煤ヶ谷＊=1.6 横浜中区山下町＊=1.5 横浜保土ヶ谷区上菅田町＊=1.5 横浜戸塚区鳥が丘＊=1.5 川崎中原区小杉町＊=1.5 座間市相武台＊=1.5				
		1 横浜鶴見区末広町＊=1.4 横浜西区浜松町＊=1.4 横浜港南区野庭町＊=1.4 横浜旭区川井宿町＊=1.4 横浜瀬谷区中屋敷＊=1.4 大和市下鶴間＊=1.4 愛川町角田＊=1.4 相模原緑区大島＊=1.4 横浜中区山吹町＊=1.3 横浜旭区今宿東町＊=1.3 横浜緑区十日市場町＊=1.3 横浜青葉区榎が丘＊=1.3 川崎川崎区千鳥町＊=1.3 相模原緑区橋本＊=1.3 横浜都筑区池辺町＊=1.2 川崎宮前区宮前平＊=1.2 川崎宮前区野川＊=1.2 横浜磯子区磯子＊=1.1 横浜旭区大池町＊=1.1 横浜泉区和泉町＊=1.1 川崎多摩区登戸＊=1.1 横須賀市光の丘=1.1 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.1 厚木市中町＊=1.1 相模原中央区水郷田名＊=1.1 相模原南区相模大野＊=1.1 相模原南区磯部＊=1.1 相模原緑区中野＊=1.1 相模原緑区久保沢＊=1.1 横浜金沢区釜利谷南＊=1.0 横浜瀬谷区三ツ境＊=1.0 川崎川崎区中島＊=1.0 川崎高津区下作延＊=1.0 藤沢市長後＊=1.0 藤沢市辻堂西海岸＊=1.0 横浜中区日本大通＊=1.0 横浜磯子区洋光台＊=1.0 横浜栄区小菅ヶ谷＊=0.9 川崎幸区戸手本町＊=0.9 横浜鶴見区鶴見＊=0.9 川崎麻生区片平＊=0.9 逗子市桜山＊=0.9 横浜金沢区白帆＊=0.9 横浜旭区上白根町＊=0.9 川崎中原区小杉陣屋町=0.8 湯河原町中央=0.6 川崎麻生区万福寺＊=0.6 横須賀市坂本町＊=0.5 箱根町湯本＊=0.5				
		1 市貝町市塙＊=1.3 宇都宮市明保野町=1.1 壬生町壬生甲＊=1.0 芳賀町祖母井＊=0.9 下野市笹原＊=0.9 真岡市田町＊=0.9 真岡市荒町＊=0.9 益子町益子=0.8 宇都宮市中里町＊=0.8 佐野市高砂町＊=0.8 鹿沼市晃望台＊=0.8 栃木市岩舟町静＊=0.7 下野市田中＊=0.7 日光市鬼怒川温泉大原＊=0.7 栃木市旭町=0.7 茂木町茂木＊=0.6 小山市神鳥谷＊=0.6 茂木町北高岡天矢場＊=0.5				
		1 邑楽町中野＊=0.9 伊勢崎市西久保町＊=0.8 渋川市赤城町＊=0.8 大泉町日の出＊=0.8 板倉町板倉=0.7 沼田市白沢町＊=0.6 前橋市粕川町＊=0.6 桐生市元宿町＊=0.5 桐生市黒保根町＊=0.5 桐生市新里町＊=0.5				
		1 東伊豆町奈良本＊=1.2 熱海市網代=0.7 富士宮市野中＊=0.7 伊豆市中伊豆グラウンド=0.6				

令和 4 年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
67	18 02 35	宮城県沖 宮城県	富士宮市弓沢町=0.6 38° 08.8' N 141° 44.9' E 56km M: 4.1			
		岩手県	3 石巻市桃生町*=2.6 2 涌谷町新町裏=2.4 大崎市田尻*=2.1 宮城川崎町前川*=2.1 仙台泉区将監*=2.1 登米市豊里町*=2.1 岩沼市桜*=2.0 松島町高城=2.0 大崎市鹿島台*=2.0 仙台宮城野区苦竹*=1.8 栗原市一迫*=1.8 亘理町悠里*=1.8 名取市増田*=1.7 石巻市大街道南*=1.7 石巻市北上町*=1.7 大崎市古川旭*=1.7 大郷町粕川*=1.7 大崎市松山*=1.7 仙台青葉区作並*=1.7 宮城美里町北浦*=1.7 七ヶ浜町東宮浜*=1.6 宮城加美町中新田*=1.6 大衡村大衡*=1.6 仙台若林区遠見塚*=1.6 村田町村田*=1.6 登米市南方町*=1.6 石巻市泉町=1.5 仙台宮城野区五輪=1.5 栗原市瀬峰*=1.5 東松島市小野*=1.5 東松島市矢本*=1.5			
		福島県	1 栗原市栗駒=1.4 栗原市築館*=1.4 栗原市高清水*=1.4 登米市東和町*=1.4 大崎市古川三日町=1.4 仙台青葉区大倉=1.4 石巻市鮎川浜*=1.4 石巻市相野谷*=1.4 利府町利府*=1.4 大河原町新南*=1.3 山元町浅生原*=1.3 色麻町四竈*=1.3 登米市中田町=1.3 石巻市前谷地*=1.3 気仙沼市笹が陣*=1.3 女川町女川*=1.3 蔵王町円田*=1.3 石巻市雄勝町*=1.2 塩竈市今宮町*=1.2 柴田町船岡=1.2 登米市米山町*=1.2 栗原市金成*=1.2 大崎市三本木*=1.2 栗原市志波姫*=1.2 宮城美里町木間塚*=1.1 栗原市若柳*=1.1 白石市亘理町*=1.1 気仙沼市唐桑町*=1.1 多賀城市中央*=1.1 登米市迫町*=1.1 登米市石越町*=1.1 仙台空港=1.0 角田市角田*=1.0 仙台青葉区雨宮*=1.0 仙台太白区山田*=1.0 大和町吉岡*=0.9 栗原市鶯沢*=0.9 大崎市鳴子*=0.9 栗原市花山*=0.9 気仙沼市赤岩=0.8 富谷市富谷*=0.8 登米市登米町*=0.8 仙台青葉区落合*=0.8 宮城加美町小野田*=0.7 登米市津山町*=0.7 南三陸町歌津*=0.7 丸森町上滝=0.5 石巻市大瓜=0.5 丸森町烏屋*=0.5			
		山形県	2 一関市花泉町*=1.7 一関市藤沢町*=1.6 一関市東山町*=1.6 一関市室根町*=1.5 一関市千厩町*=1.5			
		福島県	1 平泉町平泉*=1.3 奥州市衣川*=1.2 住田町世田米*=1.1 奥州市胆沢*=1.1 奥州市前沢*=1.0 一関市竹山町*=1.0 北上市相去町*=1.0 大船渡市大船渡町=0.9 一関市大東町=0.9 北上市柳原町=0.6 釜石市中妻町*=0.6 一関市川崎町*=0.6 金ヶ崎町西根*=0.6			
		山形県	2 相馬市中村*=2.2 南相馬市鹿島区西町*=2.0 大熊町大川原*=1.9 飯館村伊丹沢*=1.8 田村市大越町*=1.6 国見町藤田*=1.5 川俣町五百田*=1.5 福島伊達市霊山町*=1.5			
		山形県	1 南相馬市原町区高見町*=1.4 田村市船引町=1.3 南相馬市原町区三島町=1.3 二本松市針道*=1.2 玉川村小高*=1.2 田村市常葉町*=1.2 笠間市中央*=1.2 葛尾村落合落合*=1.2 新地町谷地小屋*=1.2 桑折町谷地*=1.1 田村市都路町*=1.1 福島伊達市梁川町*=1.1 本宮市本宮*=1.1 浪江町幾世橋=1.1 南相馬市鹿島区枌窪=1.1 田村市滝根町*=1.0 福島伊達市前川原*=1.0 福島市松木町=1.0 檜葉町北田*=1.0 富岡町本岡*=1.0 福島市桜木町*=1.0 福島市五老内町*=0.9 須賀川市岩瀬支所*=0.9 二本松市油井*=0.9 福島伊達市保原町*=0.9 南相馬市小高区*=0.9 福島伊達市月館町*=0.8 小野町小野新町*=0.8 福島広野町下北迫大谷地原*=0.7 川内村下川内=0.7 小野町中通*=0.6 二本松市金色*=0.6 川内村上川内早渡*=0.6 大熊町野上*=0.6 須賀川市八幡山*=0.5 郡山市朝日=0.5 いわき市三和町=0.5			
68	18 03 33	根室半島南東沖 北海道	43° 09.8' N 146° 05.4' E 45km M: 3.3			
		北海道	1 根室市落石東*=0.6			
69	19 00 53	紀伊水道 和歌山県	34° 10.9' N 135° 08.9' E 5km M: 3.8			
		和歌山県	2 海南市下津*=2.3 湯浅町青木*=2.0 和歌山広川町広*=1.9 和歌山市一番丁*=1.8 和歌山市男野芝丁=1.8 有田市初島町*=1.7 有田川町下津野*=1.7 由良町里*=1.6 和歌山日高町高家*=1.5			
		大阪府	1 日高川町土生*=1.4 紀美野町下佐々*=1.4 有田市箕島=1.2 御坊市湯川*=1.2 日高川町川原河*=1.1 有田川町中井原*=1.0 紀の川市貴志川町神戸*=0.9 御坊市藪=0.8 日高川町高津尾*=0.7 古座川町高池=0.5			
		大阪府	1 大阪岬町深日*=0.6			
70	19 01 00	紀伊水道 和歌山県	34° 10.9' N 135° 09.0' E 5km M: 2.9			
		和歌山県	1 和歌山市一番丁*=1.2 和歌山市男野芝丁=1.1 海南市下津*=1.0 有田市初島町*=0.9 紀美野町下佐々*=0.7			
71	19 01 28	紀伊水道 和歌山県	34° 11.0' N 135° 09.1' E 5km M: 3.5			
		和歌山県	2 和歌山市男野芝丁=2.2 和歌山市一番丁*=2.1 紀美野町下佐々*=1.9 海南市下津*=1.8 1 有田市初島町*=1.4 和歌山広川町広*=1.3 湯浅町青木*=1.1 紀の川市貴志川町神戸*=1.1 海南市南赤坂*=0.9 和歌山日高町高家*=0.8 由良町里*=0.8 有田市箕島=0.8 紀の川市桃山町元*=0.8 岩出市西野*=0.8 日高川町土生*=0.7 有田川町下津野*=0.7 御坊市湯川*=0.7			
		大阪府	1 大阪岬町深日*=1.1			
72	19 02 34	富山湾 石川県	37° 26.1' N 137° 20.0' E 5km M: 1.6			
		石川県	1 珠洲市正院町*=0.6			
73	19 09 55	長野県中部 長野県	36° 18.5' N 138° 01.1' E 7km M: 2.2			
		長野県	1 松本市会田*=0.7			
74	19 13 21	富山湾 石川県	37° 26.2' N 137° 20.4' E 6km M: 1.8			
		石川県	1 珠洲市正院町*=1.2 珠洲市三崎町=0.9			

令和 4 年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
75	19 13 29	富山湾 石川県 1 珠洲市正院町*=0.9	37° 26.2' N	137° 20.3' E	5km	M: 1.7
76	19 13 35	熊本県阿蘇地方 熊本県 1 阿蘇市一の宮町*=0.5	33° 01.3' N	131° 08.4' E	7km	M: 2.6
77	19 15 30	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*=0.6	29° 17.0' N	129° 15.1' E	13km	M: 2.1
78	19 16 43	瀬戸内海中部 愛媛県 1 今治市吉海町*=0.7	34° 02.4' N	133° 03.0' E	15km	M: 2.9
79	19 20 51	千葉県東方沖 千葉県 1 大網白里市大網*=0.9 芝山町小池*=0.7 山武市蓮沼二*=0.5	35° 26.3' N	140° 27.7' E	56km	M: 3.0
80	19 21 34	福島県中通り 福島県 1 天栄村湯本支所*=1.1	37° 17.1' N	140° 00.0' E	9km	M: 2.3
81	19 22 44	富山湾 石川県 2 珠洲市正院町*=2.3 珠洲市三崎町=1.7	37° 26.4' N	137° 19.3' E	5km	M: 2.3
82	19 23 34	富山湾 石川県 3 珠洲市正院町*=2.7 2 珠洲市三崎町=1.9	37° 26.3' N	137° 19.7' E	6km	M: 2.5
83	20 02 55	徳島県南部 徳島県 1 那賀町和食*=1.3 美馬市木屋平*=0.5	33° 54.4' N	134° 22.9' E	7km	M: 2.7
84	20 12 06	島根県東部 島根県 2 安来市伯太町東母里*=2.0 鳥取県 1 日南町生山*=1.4 鳥取南部町法勝寺*=1.1 鳥取南部町天萬*=1.0 境港市東本町=0.9 日南町霞*=0.8 米子市東町*=0.7	35° 18.2' N	133° 17.8' E	8km	M: 3.1
85	20 17 34	和歌山県南部 三重県 2 熊野市紀和町板屋*=1.8 紀宝町神内*=1.6 1 三重紀北町相賀*=1.1 尾鷲市南浦*=0.9 紀宝町鶴殿*=0.7 三重紀北町十須=0.7 尾鷲市中央町*=0.6 津市美杉町八知*=0.6 奈良県 2 宇陀市大宇陀迫間*=1.5 1 桜井市初瀬=1.3 天川村洞川=1.3 天川村沢谷*=1.1 吉野町上市*=1.0 宇陀市菟田野松井*=1.0 大和郡山形北郡山町*=1.0 高取町観音寺*=0.9 野迫川村北股*=0.8 奈良川上村迫*=0.8 斑鳩町法隆寺西*=0.8 御杖村菅野*=0.8 東吉野村小川*=0.7 十津川村小原*=0.7 宇陀市榛原下井足*=0.6 奈良市二条大路南*=0.6 広陵町南郷*=0.5 天理市川原城町*=0.5 下北山村寺垣内*=0.5 黒滝村寺戸*=0.5 五條市大塔町辻堂*=0.5 京都府 1 木津川市加茂町里*=0.9 城陽市寺田*=0.9 大山崎町円明寺*=0.8 宇治市原町立川*=0.8 八幡市八幡*=0.8 京田辺市田辺*=0.7 井手町井手*=0.6 大阪府 1 交野市私部*=0.8 枚方市大垣内*=0.6 島本町若山台*=0.5 和歌山県 1 みなべ町芝*=1.4 田辺市本宮町本宮*=1.4 湯浅町青木*=1.3 田辺市中辺路町栗栖川*=1.3 日高川町土生*=1.2 日高川町高津尾*=1.2 田辺市鮎川*=1.2 有田川町清水*=1.1 御坊市湯川*=1.1 田辺市中屋敷町*=1.1 白浜町日置*=1.1 田辺市中辺路町近露=1.0 みなべ町土井=1.0 御坊市藺=1.0 紀美野町下佐々*=1.0 串本町串本*=1.0 田辺市龍神村西*=0.9 上富田町朝来*=0.9 すさみ町周参見*=0.9 有田川町下津野*=0.8 日高川町川原河*=0.7 由良町里*=0.7 和歌山日高町高家*=0.6 新宮市新宮=0.6 新宮市熊野川町日足*=0.6 串本町古座*=0.6 白浜町消防本部=0.5 和歌山印南町印南*=0.5 古座川町高池=0.5	33° 49.3' N	135° 39.7' E	53km	M: 3.9
86	20 18 17	釧路沖 北海道 3 釧路市黒金町*=3.4 標茶町塘路*=3.3 厚岸町尾幌=3.0 標茶町川上*=2.7 釧路市幸町=2.7 釧路町別保*=2.6 浜中町茶内*=2.6 鶴居村鶴居東*=2.6 別海町常盤=2.5 別海町西春別*=2.5 根室市厚床*=2.5 2 弟子屈町弟子屈*=2.2 釧路市阿寒町中央*=2.2 中標津町丸山*=2.2 別海町本別海*=2.2 浦幌町桜町*=2.1 根室市落石東*=2.1 標津町北2条*=2.0 厚岸町真栄*=2.0 釧路市音別町中園*=2.0 十勝大樹町生花*=1.9 白糠町西1条*=1.9 足寄町上螺湾=1.9 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=1.8 中標津町養老牛=1.8 根室市瑠璃瑠*=1.8 清里町羽衣町*=1.7 十勝池田町西1条*=1.7 弟子屈町美里=1.6 羅臼町緑町*=1.5 足寄町南1条*=1.5 1 浜中町湯沸=1.4 羅臼町岬町*=1.4 本別町向陽町*=1.3 新得町2条*=1.3 十勝清水町南4条=1.3 弟子屈町サワシチサップ*=1.2 大空町女満別西3条*=1.2 更別村更別*=1.2 根室市牧の内*=1.2 釧路市音別町尺別=1.1 斜里町本町=1.1 鹿追町東町*=1.1 本別町北2丁目=1.1 様似町栄町*=1.0 津別町幸町*=1.0 十勝大樹町東本通*=0.9 幕別町忠類錦町*=0.9 幕別町本町*=0.9 函館市新浜町*=0.9 訓子府町東町*=0.9 美幌町東3条=0.9 北見市留辺蘂町栄町*=0.8 標津町古多糠=0.8 湧別町栄町*=0.8 豊頃町茂岩本町*=0.8 陸別町陸別*=0.7 羅臼町春日=0.7 浦河町潮見=0.7 新ひだか町静内山手町=0.7 中札内村東2条*=0.6 斜里町ウトロ香川*=0.6 浦河町築地*=0.6 安平町早来北進*=0.6 北見市常呂町常呂*=0.6 網走市台町=0.5 広尾町並木通=0.5 標津町薫別*=0.5	42° 55.0' N	144° 43.1' E	57km	M: 4.8

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
87	21 05 09	根室半島南東沖 北海道	43° 24.6' N	146° 20.3' E	54km	M: 3.4
88	21 05 19	福島県沖 福島県	37° 03.9' N	141° 11.8' E	49km	M: 4.3
		3 川内村上川内早渡*=3.0 いわき市三和町=2.6 2 福島広野町下北迫大谷地原*=2.3 川内村上川内小山平*=2.3 檜葉町北田*=2.2 大熊町大川原*=2.2 いわき市平梅本*=2.1 田村市大越町*=2.0 白河市新白河*=1.9 福島広野町下北迫苗代替*=1.9 いわき市小名浜=1.9 いわき市錦町*=1.9 矢祭町戸塚*=1.9 田村市常葉町*=1.7 富岡町本岡*=1.6 いわき市平四ツ波*=1.6 玉川村小高*=1.6 標津町北2条*=1.6 川内村下川内=1.5 1 泉崎村泉崎*=1.4 中島村滑津*=1.4 古殿町松川新桑原*=1.4 小野町小野新町*=1.4 田村市都路町*=1.4 浪江町幾世橋=1.4 石川町長久保*=1.3 須賀川市岩瀬支所*=1.3 郡山市開成*=1.3 白河市大信*=1.3 田村市滝根町*=1.3 矢祭町東館*=1.3 大熊町野上*=1.2 白河市表郷*=1.2 浅川町浅川*=1.2 葛尾村落合落合*=1.1 飯館村伊丹沢*=1.1 棚倉町棚倉中居野=1.1 天栄村下松本*=1.1 西郷村熊倉*=1.1 白河市郭内=1.1 須賀川市八幡町*=1.1 南相馬市小高区*=1.0 小野町中通*=1.0 平田村永田*=1.0 郡山市朝日=0.9 二本松市針道*=0.9 鏡石町不時沼*=0.9 須賀川市八幡山*=0.9 郡山市湖南町*=0.9 田村市船引町=0.8 大玉村南小屋=0.7 川俣町五百田*=0.7 南相馬市原町区高見町*=0.6 本宮市本宮*=0.6 二本松市油井*=0.6 二本松市金色*=0.6 南相馬市原町区三島町=0.6 福島市松木町=0.5 茨城県 2 北茨城市磯原町*=1.6 大子町池田*=1.5 1 常陸大宮市野口*=1.3 日立市助川小学校*=1.2 笠間市石井*=1.2 常陸大宮市山方*=1.2 ひたちなか市南神敷台*=1.1 城里町小勝*=1.1 東海村東海*=1.0 水戸市千波町*=1.0 北茨城市中郷町*=1.0 水戸市金町=0.9 常陸大宮市北町*=0.9 城里町石塚*=0.9 高萩市安良川*=0.9 土浦市常名=0.9 高萩市本町*=0.8 ひたちなか市東石川*=0.8 日立市役所*=0.8 石岡市柿岡=0.8 鉾田市汲上*=0.8 笠間市下郷*=0.8 筑西市門井*=0.7 桜川市羽田*=0.7 笠間市中央*=0.7 稲敷市江戸崎甲*=0.6 小美玉市堅倉*=0.5 常陸太田市町屋町=0.5 美浦村受領*=0.5 宮城県 1 岩沼市桜*=0.6 角田市角田*=0.6 栃木県 1 栃木那珂川町小川*=1.2 宇都宮市明保野町=0.8 栃木那珂川町馬頭*=0.7 芳賀町祖母井*=0.6 宇都宮市中里町*=0.5				
89	21 13 25	鳥島近海 東京都	29° 12.6' N	139° 45.5' E	425km	M: 5.7
		1 小笠原村母島=1.1 小笠原村父島三日月山=0.9 小笠原村父島西町=0.8				
90	22 07 23	静岡県西部 静岡県	34° 43.9' N	137° 55.9' E	28km	M: 2.6
		1 掛川市長谷*=1.1 静岡菊川市堀之内*=0.5				
91	22 10 00	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 08.7' N	129° 08.1' E	12km	M: 3.0
		1 鹿児島十島村小宝島*=1.3				
92	22 10 24	豊後水道 愛媛県	33° 21.3' N	132° 12.1' E	46km	M: 3.7
		2 西予市三瓶町*=1.5 1 大洲市肱川町*=1.4 八幡浜市保内町*=1.2 愛南町柏*=1.2 伊方町湊浦*=1.1 大洲市長浜*=1.1 西予市明浜町*=1.0 大洲市大洲*=1.0 宇和島市丸穂*=1.0 西予市宇和町*=0.9 宇和島市三間町*=0.9 八幡浜市五反田*=0.8 松野町松丸*=0.5 西予市野村町=0.5 愛媛鬼北町近永*=0.5 宇和島市吉田町*=0.5 高知県 1 宿毛市桜町*=0.7 山口県 1 防府市西浦*=0.7 大分県 1 臼杵市臼杵*=1.1 大分市佐賀関*=0.8 国東市田深*=0.6				
93	22 12 03	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 09.0' N	129° 13.2' E	14km	M: 2.7
		1 鹿児島十島村小宝島*=0.7				
94	22 15 58	石川県能登地方	37° 30.1' N	137° 14.0' E	11km	M: 3.1
(注)	22 15 58	石川県能登地方 石川県	37° 30.1' N	137° 13.6' E	12km	M: 2.8
		1 珠洲市正院町*=1.2 珠洲市大谷町*=0.5				
95	22 16 32	長野県南部 長野県	35° 56.2' N	138° 06.0' E	5km	M: 2.8
		2 伊那市高遠町荊口=1.5 1 諏訪市湖岸通り=0.7 茅野市葛井公園*=0.7				
96	22 21 31	石川県能登地方 石川県	37° 27.6' N	137° 09.2' E	11km	M: 2.9
		1 珠洲市正院町*=0.7				
97	23 03 09	青森県津軽北部 青森県	40° 43.2' N	140° 49.2' E	5km	M: 3.3
		1 青森市中央*=1.4 野辺地町田狭沢*=1.4 平内町小湊=1.1 野辺地町野辺地*=1.0 十和田市奥瀬*=0.9 青森市花園=0.8 黒石市市ノ町*=0.6				
98	23 11 27	父島近海 東京都	27° 19.2' N	141° 16.0' E	150km	M: 3.6
		1 小笠原村母島=0.7				
99	23 11 33	父島近海 東京都	26° 51.9' N	142° 37.1' E	65km	M: -, -
		1 小笠原村母島=1.1				

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
100	23 15 56	福島県沖 宮城県 1	37° 52.5' N 山元町浅生原*=0.6	141° 37.7' E	49km	M: 3.8
101	23 17 32	徳島県北部 徳島県 1	33° 59.5' N つるぎ町半田*=0.5	134° 06.2' E	9km	M: 2.2
102	23 23 08	秋田県内陸北部 秋田県 2	40° 02.0' N 北秋田市阿仁水無*=2.0 仙北市西木町上桧木内*=1.4 大館市比内町扇田*=1.2 鹿角市花輪*=1.1 北秋田市新田目*=1.0 上小阿仁村小沢田*=0.7 北秋田市米内沢*=0.7 小坂町小坂砂森*=0.6 三種町森岳*=0.5	140° 32.8' E	8km	M: 3.5
103	24 00 27	根室半島南東沖 北海道 1	43° 05.2' N 根室市厚床*=0.6	145° 34.6' E	87km	M: 3.4
104	24 01 26	北海道西方沖 青森県 1	44° 12.7' N 階上町道仏*=1.0 八戸市湊町=0.5	140° 09.9' E	258km	M: 4.7
105	24 01 52	八丈島東方沖 宮城県 福島県 茨城県 栃木県 群馬県 千葉県 東京都 神奈川県 静岡県 1	33° 46.0' N 岩沼市桜*=1.0 蔵王町円田*=0.9 角田市角田*=0.7 玉川村小高*=1.4 田村市大越町*=1.2 古殿町松川新桑原*=1.1 白河市東*=1.1 田村市滝根町*=1.1 三種町森岳*=1.1 二本松市油井*=0.8 郡山市朝日=0.8 須賀川市八幡山*=0.8 川俣町五百田*=0.7 大熊町大川原*=0.7 福島市松木町=0.7 飯館村伊丹沢*=0.7 郡山市湖南町*=0.6 白河市新白河*=0.6 浪江町幾世橋=0.6 浅川町浅川*=0.5 天栄村下松本*=0.5 笠間市石井*=0.9 日立市助川小学校*=0.7 筑西市舟生=0.5 真岡市田町*=0.5 渋川市赤城町*=0.9 市原市姉崎*=1.0 長南町長南*=0.9 勝浦市墨名=0.6 鴨川市八色=0.5 東金市日吉台*=0.5 長南町総合グラウンド=0.5 館山市長須賀=0.5 東京千代田区大手町=1.1 調布市西つつじヶ丘*=0.7 御蔵島村西川=0.7 東京杉並区高井戸*=0.6 国分寺市本多*=0.5 厚木市中町*=0.9 横浜中区山手町=0.6 三浦市城山町*=0.5 東伊豆町奈良本*=0.5	141° 22.3' E	37km	M: 5.2
106	24 02 25	後志地方西部 北海道 3	42° 53.0' N 蘭越町蘭越*=2.5 2 岩内町清住*=1.9 共和町南幌似*=1.6 ニセコ町中央通*=1.6 1 岩内町高台=1.4 真狩村真狩*=0.5	140° 34.9' E	9km	M: 3.1
107	24 03 10	トカラ列島近海 鹿児島県 1	29° 14.8' N 鹿児島十島村小宝島*=0.6	129° 11.3' E	11km	M: 1.9
108	24 04 33	千葉県北西部 茨城県 1	35° 52.0' N 稲敷市江戸崎甲*=1.0 笠間市石井*=0.9 かすみがうら市大和田*=0.8 筑西市門井*=0.8 石岡市石岡*=0.7 取手市寺田*=0.7 土浦市常名=0.7 つくば市小茎*=0.6 小美玉市上玉里*=0.6 坂東市岩井=0.5 桜川市羽田*=0.5 小美玉市小川*=0.5 稲敷市伊佐津*=0.5 龍ヶ崎市役所*=0.5	140° 17.0' E	47km	M: 3.3
109	24 04 34	千葉県北西部 茨城県 2	35° 51.8' N 稲敷市江戸崎甲*=2.1 かすみがうら市大和田*=1.7 稲敷市伊佐津*=1.7 茨城鹿嶋市鉢形=1.5 1 小美玉市上玉里*=1.4 行方市玉造*=1.4 鉾田市汲上*=1.4 土浦市常名=1.3 龍ヶ崎市役所*=1.3 取手市寺田*=1.3 牛久市中央*=1.3 美浦村受領*=1.3 阿見町中央*=1.3 笠間市石井*=1.3 水戸市内原町*=1.3 つくばみらい市福田*=1.3 小美玉市小川*=1.2 稲敷市役所*=1.2 つくば市小茎*=1.2 桜川市岩瀬*=1.2 土浦市田中*=1.2 鉾田市造谷*=1.1 茨城町小堤*=1.1 河内町源清田*=1.1 石岡市柿岡=1.1 稲敷市結佐*=1.1 稲敷市須賀津*=1.1 筑西市舟生=1.1 筑西市門井*=1.1 石岡市石岡*=1.1 小美玉市堅倉*=1.1 鉾田市鉾田=1.1 つくばみらい市加藤*=1.0 石岡市若宮*=1.0 行方市麻生*=1.0 笠間市下郷*=1.0 坂東市岩井=1.0 取手市井野*=1.0 神栖市溝口*=1.0 潮来市辻*=0.9 土浦市藤沢*=0.9 桜川市羽田*=0.9 潮来市堀之内=0.9 笠間市笠間*=0.8 かすみがうら市上土田*=0.8 石岡市八郷*=0.8 行方市山田*=0.8 常総市水海道諏訪町*=0.8 茨城鹿嶋市宮中*=0.8 取手市藤代*=0.8 守谷市大柏*=0.8 利根町布川=0.7 城里町小勝*=0.7 城里町石塚*=0.6 桜川市真壁*=0.5 つくば市天王台*=0.5 千葉県 2 東金市日吉台*=1.9 八千代市大和田新田*=1.9 習志野市鷺沼*=1.8 香取市役所*=1.7 野田市鶴泰*=1.7 山武市埴谷*=1.6 芝山町小池*=1.6 印西市笠神*=1.6 香取市仁良*=1.5 印西市大森*=1.5 成田市中台*=1.5 印西市美瀬*=1.5 1 旭市南堀之内*=1.4 山武市松尾町富士見台=1.4 千葉花見川区花島町*=1.4 成田国際空港=1.4 成田市名古屋=1.4 市原市姉崎*=1.4 八街市八街*=1.4 白井市復*=1.4 栄町安食台*=1.4 東金市東岩崎*=1.3 多古町多古=1.3 香取市佐原諏訪台*=1.2 千葉稲毛区園生町*=1.2 千葉若葉区小倉台*=1.2 船橋市湊町*=1.2 東金市東新宿=1.2 柏市柏*=1.2 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.2 神崎町神崎本宿*=1.2 酒々井町中央台*=1.2 九十九里町片貝*=1.2 山武市蓮沼ニ*=1.1 山武市殿台*=1.1 千葉中央区中央港=1.1 千葉中央区千葉市役所*=1.1 千葉美浜区いひ野=1.1 千葉佐倉市海隣寺町*=1.1 長南町長南*=1.1 香取市佐原平田=1.1 横芝光町栗山*=1.1 富里市七栄*=1.1 成田市役所*=1.0 長南町総合グラウンド=1.0 柏市旭町=1.0 匝瑳市八日市場ハ*=1.0 千葉美浜区稲毛海岸*=1.0 松戸市西馬橋*=1.0 成田市松子*=0.9 香取市岩部*=0.9 四街道市鹿渡*=0.9 山武市蓮沼ハ*=0.9 成田市猿山*=0.9 柏市大島田*=0.8	140° 17.2' E	46km	M: 4.2

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		我孫子市我孫子※=0.8 千葉緑区おゆみ野※=0.8 浦安市日の出=0.8 横芝光町宮川※=0.8 君津市久留里市場※=0.8 一宮町一宮=0.8 大網白里市大網※=0.8 1 芳賀町祖母井※=0.7 益子町益子=0.7 1 吉川市きよみ野※=1.3 越谷市越ヶ谷※=0.9 宮代町笠原※=0.9 春日部市粕壁※=0.9 川口市安行領家※=0.8 春日部市谷原新田※=0.8 三郷市中央※=0.7 久喜市下早見=0.7 さいたま南区別所※=0.7 さいたま緑区中尾※=0.7 春日部市金崎※=0.7 八潮市中央※=0.6 草加市中央※=0.6 戸田市上戸田※=0.6 加須市騎西※=0.5 さいたま西区指扇※=0.5 さいたま北区宮原※=0.5 さいたま見沼区堀崎※=0.5 さいたま浦和区高砂=0.5 川口市三ツ和※=0.5 1 東京千代田区大手町=0.9 東京中央区勝どき※=0.9 東京江東区越中島※=0.8 東京江東区森下※=0.8 東京渋谷区本町※=0.8 東京江戸川区中央=0.8 東京品川区平塚※=0.7 東京板橋区相生町※=0.7 東京江戸川区船堀※=0.7 東京千代田区富士見※=0.6 東京中野区江古田※=0.6 東京足立区神明南※=0.6 東京葛飾区立石※=0.6 東京新宿区上落合※=0.6 調布市西つじヶ丘※=0.6 東京北区西ヶ原※=0.5 東京荒川区東尾久※=0.5 東京板橋区高島平※=0.5 東京文京区本郷※=0.5 東京江戸川区鹿骨※=0.5 東京文京区大塚※=0.5 東京江東区枝川※=0.5 1 横浜鶴見区末広町※=0.9 横浜中区山手町=0.6				
110	24 05 13	能登半島沖 石川県 2 珠洲市正院町※=2.3 1 珠洲市大谷町※=1.4 能登町松波※=1.4 珠洲市三崎町=1.3 穴水町大町※=0.9 輪島市鳳至町=0.9 輪島市舩倉島=0.6	37° 31.2' N	137° 12.6' E	13km	M: 3.9
111	24 10 08	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町※=0.7	37° 30.0' N	137° 13.2' E	13km	M: 2.7
112	24 13 51	秋田県内陸北部 秋田県 1 北秋田市阿仁水無※=0.7	40° 02.1' N	140° 32.4' E	7km	M: 2.7
113	24 20 20	熊本県熊本地方 熊本県 3 宇土市浦田町※=3.2 宇城市豊野町※=3.1 宇城市不知火町※=3.0 熊本南区城南町※=3.0 嘉島町上島※=2.8 大津町大津※=2.7 熊本高森町高森※=2.6 西原村小森※=2.6 2 南阿蘇村吉田※=2.4 甲佐町豊内※=2.4 熊本美里町馬場※=2.4 宇城市小川町※=2.4 氷川町島地※=2.4 熊本西区春日=2.4 御船町御船※=2.3 熊本南区富合町※=2.3 氷川町宮原※=2.2 山都町浜町※=2.1 八代市鏡町※=2.0 熊本中央区大江※=2.0 熊本美里町永富※=2.0 八代市千丁町※=2.0 八代市泉支所※=1.9 南阿蘇村河陰※=1.9 山都町今※=1.8 八代市平山新町=1.8 大津町引水※=1.8 菊陽町久保田※=1.8 八代市東陽町※=1.8 益城町惣領※=1.8 熊本東区佐土原※=1.7 菊池市旭志※=1.7 合志市竹迫※=1.7 南阿蘇村河陽※=1.7 八代市泉町=1.6 八代市新地町※=1.6 南阿蘇村中松=1.6 山鹿市鹿本町※=1.5 熊本北区植木町※=1.5 1 八代市坂本町※=1.4 山鹿市鹿央町※=1.4 菊池市隈府※=1.4 合志市御代志※=1.4 上天草市大矢野町=1.4 上天草市松島町※=1.3 山都町大平※=1.3 玉名市天水町※=1.3 山鹿市菊鹿町※=1.3 阿蘇市内牧※=1.2 五木村甲※=1.2 水上村岩野※=1.1 球磨村渡※=1.1 和水町江田※=1.1 天草市河浦町※=1.1 山鹿市鹿北町※=1.0 菊池市泗水町※=1.0 上天草市姫戸町※=1.0 玉名市横島町※=1.0 山鹿市老人福祉センター※=0.9 菊池市七城町※=0.9 芦北町田浦町※=0.9 阿蘇市波野※=0.9 芦北町芦北=0.8 阿蘇市一の宮町※=0.8 玉東町木葉※=0.8 多良木町上球磨消防署※=0.7 あさぎり町岡原※=0.7 人吉市蟹作町※=0.6 天草市牛深町=0.6 宇城市三角町※=0.6 湯前町役場※=0.5 玉名市中尾※=0.5 福岡県 2 八女市黒木町今※=1.5 1 みやこ町犀川本庄※=1.4 朝倉市堤※=1.4 朝倉市菩提寺※=1.4 朝倉市杷木池田※=1.2 筑前町新町※=1.2 嘉麻市大隈町※=1.2 八女市上陽町※=1.2 八女市矢部村※=1.1 久留米市北野町※=1.1 八女市黒木町北木屋=1.0 嘉麻市上臼井※=1.0 飯塚市立岩※=1.0 大刀洗町富多※=1.0 宮若市宮田※=1.0 久留米市津福本町=0.9 桂川町土居※=0.9 筑前町下高場=0.9 みやま市高田町※=0.8 飯塚市長尾※=0.8 小郡市小郡※=0.8 行橋市今井※=0.7 八女市吉田※=0.7 飯塚市川島=0.6 赤村内田※=0.6 大牟田市昭和町※=0.5 久留米市小森野町※=0.5 大分県 2 竹田市荻町※=1.5 1 津久見市宮本町※=1.3 九重町後野上※=1.2 日田市前津江町※=1.1 佐伯市宇目※=1.0 日田市田島※=1.0 豊後大野市清川町※=0.9 竹田市会々※=0.9 豊後大野市三重町=0.8 日田市中津江村栃野※=0.8 佐伯市春日町※=0.8 佐伯市役所※=0.7 豊後大野市緒方町※=0.7 佐伯市鶴見※=0.6 佐伯市蒲江蒲江浦=0.6 日田市大山町※=0.6 佐伯市弥生※=0.6 日田市上津江町※=0.5 竹田市竹田小学校※=0.5 津久見市立花町※=0.5 宮崎県 2 延岡市北川町川内名白石※=1.8 延岡市北方町卯※=1.7 高千穂町三田井=1.7 西都市上の宮※=1.5 宮崎美郷町田代※=1.5 1 川南町川南※=1.4 椎葉村総合運動公園※=1.4 高千穂町寺迫※=1.4 椎葉村下福良※=1.3 日向市東郷町山陰※=1.1 宮崎都農町役場※=1.1 諸塚村家代※=1.1 門川町平城東※=1.0 日之影町七折※=1.0 五ヶ瀬町三ヶ所※=1.0 延岡市北浦町古江※=0.9 延岡市天神小路=0.7 延岡市北川町総合支所※=0.7 国富町本庄※=0.7 西都市聖陵町※=0.7 高鍋町上江※=0.7 宮崎市霧島=0.6 宮崎美郷町神門※=0.5 山口県 1 下関市清末陣屋※=0.6 佐賀県 1 上峰町坊所※=0.7 長崎県 1 雲仙市小浜町雲仙=0.8 鹿児島県 1 長島町伊唐島※=0.9 長島町鷹巣※=0.8 長島町獅子島※=0.7	32° 38.2' N	130° 42.2' E	14km	M: 4.0
114	24 21 17	熊本県熊本地方 熊本県 1 甲佐町豊内※=0.6	32° 38.2' N	130° 42.3' E	14km	M: 2.5

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
115	25 01 14	熊本県熊本地方 熊本県	32° 38.6' N	130° 42.4' E	14km	M: 2.9 1 宇土市浦田町*=1.3 宇城市不知火町*=1.1 宇城市豊野町*=1.1 熊本南区城南町*=0.9
116	25 15 53	茨城県沖 茨城県	36° 25.5' N	141° 06.7' E	40km	M: 3.6 1 水戸市栗崎町*=0.7 水戸市内原町*=0.6 ひたちなか市南神敷台*=0.5
117	25 16 04	遠州灘 福島県 茨城県 栃木県 千葉県	34° 23.4' N	137° 36.1' E	330km	M: 4.8 1 浪江町幾世橋=1.0 大熊町大川原*=0.8 檜葉町北田*=0.6 1 笠間市石井*=0.7 日立市助川小学校*=0.6 城里町石塚*=0.6 城里町小勝*=0.6 1 宇都宮市明保野町=0.6 1 市原市姉崎*=0.5
118	26 02 01	茨城県沖 福島県	36° 10.7' N	141° 27.9' E	35km	M: 4.0 1 白河市新白河*=0.5
119	26 08 37	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 03.1' N	137° 31.5' E	6km	M: 2.2 1 高山市高根町*=0.7
120	26 11 20	大阪府北部 京都府 大阪府 奈良県	34° 53.0' N	135° 35.6' E	12km	M: 3.1 1 八幡市八幡*=1.2 大山崎町円明寺*=1.2 久御山町田井*=1.0 亀岡市余部町*=1.0 長岡京市開田*=0.9 京都西京区大枝*=0.8 井手町井手*=0.8 亀岡市安町=0.7 宇治市宇治琵琶=0.7 京田辺市田辺*=0.7 精華町南稲八妻*=0.5 城陽市寺田*=0.5 1 島本町若山台*=1.1 枚方市大垣内*=1.0 吹田市内本町*=0.7 高槻市立第2中学校*=0.7 交野市私部*=0.7 大阪東淀川区北江口*=0.6 高槻市桃園町=0.6 豊能町余野*=0.6 箕面市粟生外院*=0.6 大阪国際空港=0.5 高槻市消防本部*=0.5 1 大和郡山市北郡山町*=0.7
121	26 12 25	福島県沖 宮城県 福島県	37° 40.6' N	141° 39.4' E	61km	M: 4.0 1 山元町浅生原*=0.9 亘理町悠里*=0.8 石巻市桃生町*=0.7 岩沼市桜*=0.6 角田市角田*=0.5 1 相馬市中村*=1.3 田村市常葉町*=1.1 檜葉町北田*=1.1 川内村下川内=1.1 大熊町大川原*=1.1 浪江町幾世橋=0.9 新地町谷地小屋*=0.9 福島伊達市梁川町*=0.8 田村市船引町=0.7 南相馬市原町区三島町=0.7 南相馬市鹿島区西町*=0.7 福島広野町下北迫大谷地原*=0.6 いわき市三和町=0.6 南相馬市鹿島区柗窪=0.6 南相馬市原町区高見町*=0.6 田村市都路町*=0.6
122	26 14 43	父島近海 東京都	27° 47.2' N	142° 27.5' E	64km	M: 4.4 1 小笠原村父島三日月山=0.7
123	26 17 29	浦河沖 北海道	42° 02.2' N	142° 34.9' E	62km	M: 4.1 1 新ひだか町静内山手町=1.0 函館市新浜町*=0.7 新ひだか町静内御幸町*=0.7 浦河町築地*=0.7 浦河町野深=0.6 浦河町潮見=0.6 新ひだか町三石旭町*=0.6 恵庭市京町*=0.5 函館市川汲町*=0.5 安平町追分柏が丘*=0.5
124	26 18 32	長野県南部 長野県	35° 53.3' N	138° 07.5' E	8km	M: 2.8 1 伊那市高遠町荊口=0.6
125	26 20 12	根室半島南東沖 北海道	43° 25.1' N	146° 07.1' E	62km	M: 4.0 1 根室市瑠瑠瑠*=1.2 根室市牧の内*=1.1 根室市落石東*=0.5 標津町北2条*=0.5
126	26 21 58	能登半島沖 石川県 新潟県 富山県 長野県	37° 32.1' N	137° 13.7' E	13km	M: 4.2 3 珠洲市正院町*=2.9 2 珠洲市三崎町=2.0 珠洲市大谷町*=1.7 能登町松波*=1.5 1 七尾市本府中町=1.0 輪島市鳳至町=0.8 能登町宇出津=0.7 輪島市舩倉島=0.6 2 上越市大手町=1.8 1 上越市木田*=1.4 上越市名立区名立大町*=1.4 糸魚川市大野*=1.3 上越市牧区柳島*=1.2 糸魚川市青海*=1.1 妙高市田町*=1.1 上越市大潟区土底浜*=1.0 上越市吉川区原之町*=1.0 上越市安塚区安塚*=1.0 上越市中ノ俣=1.0 上越市頸城区百間町*=0.9 糸魚川市一の宮=0.9 上越市三和区井ノ口*=0.8 上越市板倉区針*=0.8 上越市柿崎区柿崎*=0.8 上越市浦川原区釜淵*=0.8 長岡市小国町法坂*=0.7 長岡市山古志竹沢*=0.7 妙高市栄町*=0.6 妙高市関山*=0.6 上越市中郷区藤沢*=0.5 上越市清里区荒牧*=0.5 糸魚川市能生*=0.5 1 射水市加茂中部*=1.0 射水市橋下条*=0.9 射水市二口*=0.7 滑川市寺家町*=0.6 富山市新桜町*=0.6 射水市本町*=0.5 氷見市加納*=0.5 1 小川村高府*=0.9 栄村北信*=0.6
127	27 01 06	千葉県東方沖 千葉県	35° 52.0' N	140° 54.7' E	31km	M: 3.0 1 銚子市小畑新町=0.5
128	27 08 57	熊本県熊本地方 熊本県	32° 39.4' N	130° 45.0' E	8km	M: 1.9 1 宇城市豊野町*=1.1
129	27 15 30	石川県能登地方 石川県	37° 30.9' N	137° 13.2' E	14km	M: 2.9 1 珠洲市正院町*=1.1

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
130	27 15 36	石川県能登地方 石川県 2 珠洲市正院町※=1.5	37° 30.9' N	137° 13.3' E	14km	M: 3.2
131	27 15 41	留萌地方南部 北海道 1 小平町達布※=0.8	44° 02.9' N	141° 45.7' E	4km	M: 2.3
132	27 19 03	茨城県沖 茨城県 1 水戸市千波町※=1.2 城里町小勝※=1.2 日立市助川小学校※=1.1 水戸市栗崎町※=1.0 水戸市金町=0.9 笠間市石井※=0.8 常陸大宮市野口※=0.7 常陸大宮市北町※=0.7 ひたちなか市南神敷台※=0.6 水戸市内原町※=0.5 常陸大宮市山方※=0.5	36° 26.0' N	140° 41.2' E	52km	M: 3.4
133	28 06 40	青森県東方沖 北海道 1 様似町栄町※=0.6 青森県 1 五戸町古館=0.7 野辺地町野辺地※=0.6 岩手県 1 盛岡市薮川※=0.7	41° 09.9' N	142° 54.1' E	34km	M: 4.6
134	28 11 02	能登半島沖 石川県 1 珠洲市正院町※=0.6	37° 32.1' N	137° 13.7' E	13km	M: 2.6
135	28 13 10	富山湾 石川県 1 珠洲市正院町※=0.9	37° 26.3' N	137° 20.2' E	6km	M: 1.6
136	28 16 25	岩手県沖 青森県 2 階上町道仏※=1.9 1 青森南部町苦米地※=0.9 八戸市内丸※=0.7 八戸市湊町=0.7 岩手県 2 九戸村伊保内※=1.6 1 岩手洋野町大野※=0.8 軽米町軽米※=0.8 久慈市枝成沢=0.6 岩手洋野町種市=0.6 葛巻町葛巻元木=0.5 八幡平市田頭※=0.5 久慈市川崎町=0.5	40° 20.6' N	142° 02.6' E	52km	M: 3.6
137	28 17 14	愛知県西部 愛知県 1 豊田市長興寺※=0.8 長久手市岩作城の内※=0.5	34° 58.8' N	137° 14.3' E	42km	M: 2.7
138	28 23 01	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.9	26° 29.8' N	142° 54.7' E	4km	M: 4.6
139	29 02 18	橘湾 長崎県 1 雲仙市南串山町※=0.5	32° 40.0' N	130° 03.0' E	14km	M: 2.0
140	29 08 20	富山県東部 長野県 1 大町市美麻※=0.6 岐阜県 1 高山市上宝町本郷※=1.4 高山市奥飛騨温泉郷栃尾※=0.9 飛騨市神岡町殿=0.8 飛騨市神岡町東町※=0.6	36° 27.7' N	137° 37.1' E	1km	M: 3.3
141	29 09 27	沖縄本島近海 沖縄県 1 国頭村辺土名※=0.5	26° 47.7' N	128° 07.7' E	12km	M: 2.8
142	30 00 57	沖縄本島近海 沖縄県 1 国頭村辺土名※=0.7	26° 24.2' N	129° 19.8' E	35km	M: 5.4
143 (注)	30 04 24 30 04 24	石川県能登地方 石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町※=1.1	37° 30.5' N 37° 30.6' N	137° 12.7' E 137° 12.8' E	11km 11km	M: 2.8 M: 2.7
144	30 06 34	福島県沖 福島県 2 檜葉町北田※=1.9 浪江町幾世橋=1.9 高山市奥飛騨温泉郷栃尾※=1.8 川内村下川内=1.8 南相馬市原町区高見町※=1.8 大熊町大川原※=1.7 相馬市中村※=1.7 富岡町本岡※=1.5 1 いわき市三和町=1.4 南相馬市原町区三島町=1.4 浅川町浅川※=1.3 田村市都路町※=1.2 川俣町五百田※=1.2 大熊町野上※=1.2 飯館村伊丹沢※=1.2 南相馬市原町区本町※=1.2 新地町谷地小屋※=1.1 田村市滝根町※=1.1 二本松市油井※=1.0 田村市船引町=1.0 田村市大越町※=1.0 福島広野町下北迫大谷地原※=1.0 川内村上川内早渡※=1.0 南相馬市鹿島区西町※=1.0 葛尾村落合落合※=0.9 いわき市平四ツ波※=0.9 田村市常葉町※=0.9 古殿町松川新桑原※=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.9 小野町中通※=0.7 二本松市針道※=0.7 福島伊達市梁川町※=0.6 玉川村小高※=0.6 天栄村下松本※=0.6 南相馬市鹿島区栃窪=0.6 白河市新白河※=0.6 小野町小野新町※=0.6 川内村上川内小山平※=0.5 古殿町松川横川=0.5 宮城県 1 岩沼市桜※=1.2 山元町浅生原※=0.9 角田市角田※=0.8 丸森町上滝=0.7 丸森町鳥屋※=0.7 亘理町悠里※=0.7 大崎市松山※=0.7 名取市増田※=0.7 石巻市桃生町※=0.6	37° 30.6' N	141° 20.2' E	52km	M: 4.2
145 (注)	30 12 45 30 12 46	福島県沖 福島県沖 福島県 3 いわき市三和町※=3.4 大熊町大川原※=2.5 2 檜葉町北田※=2.3 田村市滝根町※=2.1 南相馬市原町区高見町※=2.1 玉川村小高※=2.0 白河市新白河※=1.9 富岡町本岡※=1.9 いわき市平四ツ波※=1.9 福島広野町下北迫大谷地原※=1.9 田村市都路町※=1.8 大熊町野上※=1.8 泉崎村泉崎※=1.7 浪江町幾世橋=1.7 中島村滑津※=1.7 田村市大越町※=1.6 川内村下川内=1.6 いわき市錦町※=1.6 古殿町松川新桑原※=1.6	37° 16.9' N 37° 17.3' N	141° 39.3' E 141° 38.1' E	42km 37km	M: 5.1 M: 4.5

令和4年11月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		郡山市湖南町＊=1.5 いわき市小名浜=1.5 白河市表郷＊=1.5 須賀川市岩瀬支所＊=1.5 1 白河市東＊=1.4 須賀川市八幡山＊=1.4 天栄村下松本＊=1.4 田村市常葉町＊=1.4 本宮市本宮＊=1.4 福島広野町下北苗代替＊=1.4 川内村上川内早渡＊=1.4 南相馬市小高区＊=1.4 猪苗代町千代田＊=1.4 須賀川市八幡町＊=1.3 鏡石町不時沼＊=1.3 白河市郭内=1.3 浅川町浅川＊=1.3 小野町小野新町＊=1.3 南相馬市原町区高見町＊=1.2 矢祭町東館＊=1.2 平田村永田＊=1.2 国見町藤田＊=1.2 田村市船引町=1.2 白河市大信＊=1.2 本宮市白岩＊=1.2 いわき市平梅本＊=1.2 相馬市中村＊=1.2 西郷村熊倉＊=1.2 川内村上川内小山平＊=1.2 棚倉町棚倉中居野=1.2 葛尾村落合落合＊=1.2 飯館村伊丹沢＊=1.2 猪苗代町城南=1.1 小野町中通＊=1.1 福島市五老内町＊=1.1 郡山市朝日=1.0 大玉村南小屋=1.0 新地町谷地小屋＊=1.0 大玉村玉井＊=1.0 南相馬市原町区三島町=1.0 郡山市開成＊=1.0 南相馬市鹿島区西町＊=1.0 福島伊達市霊山町＊=1.0 矢祭町戸塚＊=1.0 石川町長久保＊=1.0 福島市松木町=0.9 二本松市金色＊=0.9 川俣町五百田＊=0.9 須賀川市長沼支所＊=0.8 二本松市油井＊=0.8 二本松市針道＊=0.7 福島市桜木町＊=0.7 福島伊達市月館町＊=0.7 南相馬市鹿島区栃窪=0.7 古殿町松川横川=0.6 福島伊達市梁川町＊=0.6 2 石巻市桃生町＊=1.6 岩沼市桜＊=1.5 登米市迫町＊=1.5 1 石巻市大街道南＊=1.4 丸森町鳥屋＊=1.3 涌谷町新町裏=1.3 宮城美里町木間塚＊=1.2 登米市南方町＊=1.2 登米市米山町＊=1.1 松島町高城=1.1 角田市角田＊=1.1 宮城川崎町前川＊=1.1 栗原市若柳＊=1.1 亘理町悠里＊=1.1 山元町浅生原＊=1.0 名取市増田＊=1.0 石巻市前谷地＊=1.0 登米市登米町＊=1.0 大河原町新南＊=1.0 蔵王町円田＊=0.9 大崎市古川三日町=0.9 仙台空港=0.9 利府町利府＊=0.8 登米市中田町=0.8 大崎市松山＊=0.8 東松島市矢本＊=0.8 大崎市田尻＊=0.8 白石市亘理町＊=0.7 色麻町四竈＊=0.7 大崎市鹿島台＊=0.6 石巻市北上町＊=0.6 仙台宮城野区五輪=0.5 栗原市高清水＊=0.5 2 水戸市内原町＊=2.1 日立市十王町友部＊=1.8 笠間市石井＊=1.8 大子町池田＊=1.8 笠間市中央＊=1.7 笠間市笠間＊=1.6 東海村東海＊=1.6 小美玉市堅倉＊=1.6 常陸太田市高柿町＊=1.5 高萩市安良川＊=1.5 北茨城市中郷町＊=1.5 城里町小勝＊=1.5 日立市助川小学校＊=1.5 1 常陸太田市金井町＊=1.4 常陸大宮市山方＊=1.4 那珂市瓜連＊=1.4 水戸市栗崎町＊=1.3 日立市役所＊=1.3 北茨城市磯原町＊=1.3 ひたちなか市南神敷台＊=1.3 土浦市常名=1.3 石岡市柿岡=1.3 筑西市舟生=1.3 桜川市羽田＊=1.3 水戸市千波町＊=1.2 高萩市本町＊=1.2 笠間市下郷＊=1.2 常陸大宮市北町＊=1.2 常陸大宮市野口＊=1.2 城里町石塚＊=1.2 小美玉市小川＊=1.2 土浦市藤沢＊=1.2 龍ヶ崎市役所＊=1.2 つくば市研究学園＊=1.2 鉾田市汲上＊=1.2 つくばみらい市福田＊=1.2 石岡市若宮＊=1.1 取手市寺田＊=1.1 茨城町小堤＊=1.1 筑西市門井＊=1.1 桜川市真壁＊=1.1 水戸市金町=1.1 茨城鹿嶋市宮中＊=1.0 鉾田市鉾田=1.0 那珂市福田＊=1.0 小美玉市上玉里＊=1.0 常陸太田市町屋町=0.9 鉾田市造谷＊=0.9 結城市中央町＊=0.9 つくば市天王台＊=0.9 つくば市小荃＊=0.9 美浦村受領＊=0.9 坂東市山＊=0.9 稲敷市江戸崎町＊=0.9 稲敷市伊佐津＊=0.9 筑西市二本成＊=0.9 かすみがうら市上土田＊=0.9 行方市山田＊=0.9 ひたちなか市東石川＊=0.8 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 常陸大宮市中富町=0.8 土浦市田中＊=0.8 石岡市八郷＊=0.8 石岡市石岡＊=0.8 城里町阿波山＊=0.8 潮来市堀之内=0.7 常陸大宮市高部＊=0.7 常陸太田市町田町＊=0.7 筑西市海老ヶ島＊=0.7 かすみがうら市大和田＊=0.6 ひたちなか市山ノ上町=0.5 坂東市岩井=0.5 岩手県 1 一関市千厩町＊=0.6 山形県 1 中山町長崎＊=0.9 米沢市林泉寺＊=0.9 栃木県 1 那須町寺子＊=1.3 市貝町市塙＊=1.3 宇都宮市明保野町=1.2 栃木那珂川町小川＊=1.2 益子町益子=1.1 芳賀町祖母井＊=1.1 大田原市黒羽田町=1.0 大田原市本町＊=1.0 高根沢町石末＊=1.0 鹿沼市晃望台＊=0.9 小山市神鳥谷＊=0.9 真岡市田町＊=0.9 茂木町茂木＊=0.9 下野市田中＊=0.9 下野市笹原＊=0.8 宇都宮市中里町＊=0.7 日光市鬼怒川温泉大原＊=0.7 日光市芹沼＊=0.7 那須烏山市神長=0.7 栃木那珂川町馬頭＊=0.7 壬生町壬生甲＊=0.6 那須塩原市鍋掛＊=0.6 那須塩原市中塩原＊=0.5 日光市瀬川=0.5 群馬県 1 渋川市赤城町＊=1.0 邑楽町中野＊=0.9 千代田町赤岩＊=0.8 前橋市富士見町＊=0.6 桐生市黒保根町＊=0.6 沼田市白沢町＊=0.5 埼玉県 1 宮代町笠原＊=1.0 久喜市下早見=0.9 春日部市粕壁＊=0.9 熊谷市大里＊=0.8 加須市大利根＊=0.8 加須市騎西＊=0.7 春日部市金崎＊=0.7 川島町下八ツ林＊=0.6 さいたま見沼区堀崎＊=0.6 久喜市青葉＊=0.6 行田市本丸＊=0.5 さいたま北区宮原＊=0.5 行田市南河原＊=0.5 白岡市千駄野＊=0.5 東松山市松葉町＊=0.5 羽生市東＊=0.5 鴻巣市中央＊=0.5 鴻巣市吹上富士見＊=0.5 春日部市谷原新田＊=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉＊=1.1 印西市大森＊=1.1 香取市役所＊=1.0 白井市復＊=0.9 香取市佐原平田=0.8 八千代市大和田新田＊=0.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=0.8 千葉美浜区ひび野=0.7 香取市佐原諏訪台＊=0.6 多古町多古=0.5 成田市名古屋=0.5 東京都 1 東京千代田区大手町=0.6 東京杉並区高井戸＊=0.6 東京北区西ヶ原＊=0.6				
146	30 16 14	栃木県北部 36° 44.5' N 139° 25.2' E 3km M: 2.6 栃木県 1 日光市湯元＊=0.7				
147	30 17 07	石川県能登地方 37° 27.2' N 137° 08.6' E 14km M: 4.4 石川県 3 珠洲市正院町＊=2.9 能登町松波＊=2.7 能登町宇出津=2.6 珠洲市大谷町＊=2.6 2 珠洲市三崎町=2.4 能登町柳田＊=2.4 輪島市鳳至町=2.2 穴水町大町＊=2.1 輪島市河井町＊=2.1 七尾市本府中町=1.9 1 七尾市袖ヶ江町＊=1.3 七尾市能登島向田町＊=1.3 輪島市門前町走出＊=1.3 羽咋市旭町＊=1.3 かほく市浜北＊=1.3 宝達志水町子浦＊=1.2 七尾市中島町中島＊=1.1 白山市別宮町＊=1.0 輪島市舩倉島=0.9 志賀町香能＊=0.8 羽咋市柳田町=0.7 小松市小馬出町=0.7 加賀市大聖寺南町＊=0.7 志賀町富来領家町=0.7 津幡町加賀爪=0.6 加賀市直下町=0.5 金沢市西念=0.5 新潟県 1 上越市木田＊=0.6 上越市吉川区原之町＊=0.5 上越市大手町=0.5 富山県 1 氷見市加納＊=1.2 射水市二口＊=1.0 立山町芦峯寺＊=1.0 富山市新桜町＊=0.9 小矢部市泉町=0.8 射水市本町＊=0.7 黒部市植木＊=0.7 射水市橋下条＊=0.6 魚津市釈迦堂=0.6 高岡市伏木=0.5 高岡市広小路＊=0.5 高岡市福岡町＊=0.5				

令和 4 年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）	経度	深さ	規模
		福井県	1	あわら市市姫*=0.7 あわら市国影*=0.6	

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
〈令和3年（2021年）12月～令和4年（2022年）11月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和3年（2021年）											
12月	316	119	30	6	2	1				474	3日 山梨県東部・富士五湖（震度5弱） 3日 紀伊水道（震度5弱） 9日 トカラ列島近海（震度5強） トカラ列島近海の地震活動 （12月中：震度5強：1回、震度4：2回、震度3：15回、震度2：85回、震度1：205回） 伊豆大島近海の地震活動 （4日から17日の期間：震度2：7回、震度1：18回）
令和4年（2022年）											
1月	108	43	14			2				167	4日 父島近海（震度5強） 父島近海の地震活動 （4日以降31日現在：震度5強：1回、震度2：3回、震度1：10回） 22日 日向灘（震度5強） 日向灘の地震活動 （22日以降31日現在：震度5強：1回、震度3：5回、震度2：8回、震度1：28回） 石川県能登地方の地震活動 （1月中：震度2：3回、震度1：3回）
2月	85	51	8	1						145	石川県能登地方の地震活動 （2月中：震度3：1回、震度2：1回、震度1：4回） 沖縄本島北西沖の地震活動 （9日以降28日現在：震度2：5回、震度1：8回） トカラ列島近海の地震活動 （13日以降28日現在：震度3：1回、震度2：5回、震度1：6回）
3月	172	71	19	8	1	1		1		273	16日 福島県沖（震度6強） （3月中：震度6強：1回、震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：10回、震度2：26回、震度1：68回） 18日 岩手県沖（震度5強） 石川県能登地方の地震活動 （3月中：震度4：2回、震度3：3回、震度2：6回、震度1：11回） 沖縄本島北西沖の地震活動 （3月中：震度3：1回、震度2：7回、震度1：9回）
4月	113	45	9	7	1					175	19日 茨城県北部（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （4月中：震度4：2回、震度3：1回、震度2：8回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震4回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （4月中：震度2：4回、震度1：12回） 福島県沖の地震活動 （4月中：震度4：1回、震度2：4回、震度1：13回、宮城県沖で発生した地震3回を含む）
5月	97	31	17	3	1					149	22日 茨城県沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （5月中：震度3：3回、震度2：1回、震度1：11回、能登半島沖で発生した地震1回を含む） 福島県沖の地震活動 （5月中：震度3：1回、震度2：6回、震度1：11回、宮城県沖で発生した地震2回を含む） 京都府南部の地震活動 （5月中：震度4：1回、震度2：1回、震度1：5回）
6月	121	44	13	3	1	1	1			184	19日 石川県能登地方（震度6弱） （6月中：震度6弱：1回、震度5強：1回、震度4：1回、震度3：3回、震度2：9回、震度1：30回、能登半島沖で発生した地震5回を含む） 26日 熊本県熊本地方（震度5弱） 福島県沖の地震活動 （6月中：震度3：2回、震度2：3回、震度1：13回、宮城県沖で発生した地震5回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （6月中：震度2：4回、震度1：8回） 京都府南部の地震活動 （6月中：震度2：1回）
7月	89	35	9	2						135	石川県能登地方の地震活動 （7月中：震度2：1回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震2回を含む） 福島県沖の地震活動 （7月中：震度2：3回、震度1：4回、宮城県沖で発生した地震4回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （7月中：震度2：4回、震度1：1回）
8月	106	30	14	5	1	1				157	11日00時35分 上川地方北部（震度5弱） 11日00時53分 上川地方北部（震度5強） （8月中：震度5強：1回、震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：4回、震度1：17回） 石川県能登地方の地震活動 （8月中：震度3：1回、震度2：2回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震5回を含む） 福島県沖の地震活動 （8月中：震度4：2回、震度2：1回、震度1：3回、宮城県沖で発生した地震1回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （8月中：震度1：1回）
9月	102	35	13	2						152	石川県能登地方の地震活動 （9月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：12回、能登半島沖で発生した地震2回を含む） トカラ列島近海（平島・諏訪之瀬島付近）の地震活動 （9月中：震度3：1回、震度2：2回、震度1：13回）
10月	96	29	12		2					139	2日 大隅半島東方沖（震度5弱） 21日 福島県沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （10月中：震度1：10回、能登半島沖で発生した地震2回を含む） トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）の地震活動 （10月中：震度3：4回、震度2：2回、震度1：5回）
11月	104	23	17	2		1				147	9日 茨城県南部（震度5強） 石川県能登地方の地震活動 （11月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：3回、震度1：18回、富山湾で発生した地震7回、能登半島沖で発生した地震3回を含む）
2022年計	1193	437	145	33	7	6	1	1	0	1823	
過去1年計	1509	556	175	39	9	7	1	1	0	2297	（令和3年12月～令和4年11月）

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数
 〈令和3年(2021年)12月～令和4年(2022年)11月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和3年(2021年)								
12月	604	134	12	2		752	148	9日 トカラ列島近海 (M6.1) 26日 宮古島近海 (M6.1)
令和4年(2022年)								
1月	400	80	2	3		485	85	3日 台湾付近 (M6.3) 4日 父島近海 (M6.1) 22日 日向灘 (M6.6)
2月	388	79	10			477	89	
3月	957	168	24	2	1	1152	195	16日23時34分 福島県沖 (M6.1) 16日23時36分 福島県沖 (M7.4) 23日 台湾付近 (M6.6)
4月	491	124	22	1		638	147	24日 千島列島 (M6.2)
5月	459	76	18	3		556	97	9日 与那国島近海 (M6.6) 22日 茨城県沖 (M6.0) 23日 八丈島東方沖 (M6.1)
6月	441	96	12	2		551	110	20日 台湾付近 (M6.4) 21日 父島近海 (M6.1)
7月	383	71	12			466	83	
8月	449	107	28	1		585	136	7日 北海道東方沖 (M6.0)
9月	467	104	18	3	1	593	126	17日22時41分 台湾付近 (M6.6) 17日23時45分 台湾付近 (M6.0) 18日15時44分 台湾付近 (M7.3) 18日17時09分 沖縄本島北西沖 (M6.0)
10月	382	74	12			468	86	
11月	334	85	12	1		432	98	14日 三重県南東沖 (M6.4)
2022年計	5151	1064	170	16	2	6403	1252	
過去1年計	5755	1198	182	18	2	7155	1400	(令和3年12月～令和4年11月)

注) 日本及びその周辺: 原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和4年11月に長周期地震動階級※1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～令和4年11月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和3年 (2021年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和4年 (2022年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0		8

長周期地震動階級関連解説表

	長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
	長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
	長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらないうと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
	長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
	長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和3年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/monthly/202112/202112furoku_10.pdf

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和4年11月に緊急地震速報（警報）を発表した地震は1回であった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は66回であった。

令和4年11月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード（M）	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間（秒）
令和4年11月14日22時27分	石川県能登地方	4.2	4	5弱	10.1

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（警報）で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第1報発表までの経過時間（秒）を示す。

震度5弱以上を観測し、緊急地震速報（警報）を発表しなかった地震

地震発生日時	震央地名	マグニチュード（M）	最大震度	予想最大震度
令和4年11月9日17時40分	茨城県南部	5.0	5強	4

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（予報）の最終報で発表した予想震度の最大値を示す。

平成19年10月～令和4年11月に発表した緊急地震速報の月別回数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年（2007年）										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年（2008年）	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年（2009年）	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年（2010年）	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年（2011年）	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年（2012年）	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年（2013年）	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年（2014年）	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年（2015年）	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年（2016年）	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年（2017年）	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年（2018年）	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年/令和元年（2019年）	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年（2020年）	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年（2021年）	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年（2022年）	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)	1(64)	0(68)	1(65)	1(66)		15(841)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（ ）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

1. 令和4年11月14日22時27分 石川県能登地方の地震

発生した地震の概要（暫定値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
令和4年11月14日 22時27分58.8秒	石川県能登地方	37° 31.1′	137° 15.5′	12km	4.2	4

緊急地震速報の詳細

提供時刻等		経過 時間	震源要素					予測震度
地震波 検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	22時28分06.1秒	4.4	石川県能登地方	37.4	137.2	10km	5.0	予測震度なし
第2報	22時28分09.2秒	7.5	能登半島沖	37.6	137.3	10km	4.9	※1
第3報	22時28分11.8秒	10.1	能登半島沖	37.6	137.3	10km	4.9	※1
第4報	22時28分11.8秒	10.1	石川県能登地方	37.5	137.3	10km	5.0	※2
第5報	22時28分15.5秒	13.8	石川県能登地方	37.5	137.3	20km	5.0	※3
第6報	22時28分17.7秒	16.0	石川県能登地方	37.5	137.3	10km	5.0	※2
第7報	22時28分30.5秒	28.8	石川県能登地方	37.5	137.3	10km	4.8	※3
第8報	22時28分31.8秒	30.1	石川県能登地方	37.5	137.3	10km	4.8	※3
第9報	22時28分51.1秒	49.4	石川県能登地方	37.5	137.3	10km	4.8	※3
第10報	22時28分57.4秒	55.7	石川県能登地方	37.5	137.3	10km	4.8	※3

※1 震度4程度以上 石川県能登

※2 震度5弱程度 石川県能登

※3 震度4程度 石川県能登

警報第1報発表から主要動到達までの
時間及び警報発表対象地域の分布図

★：震央

緊急地震速報(警報)を発表した地域

